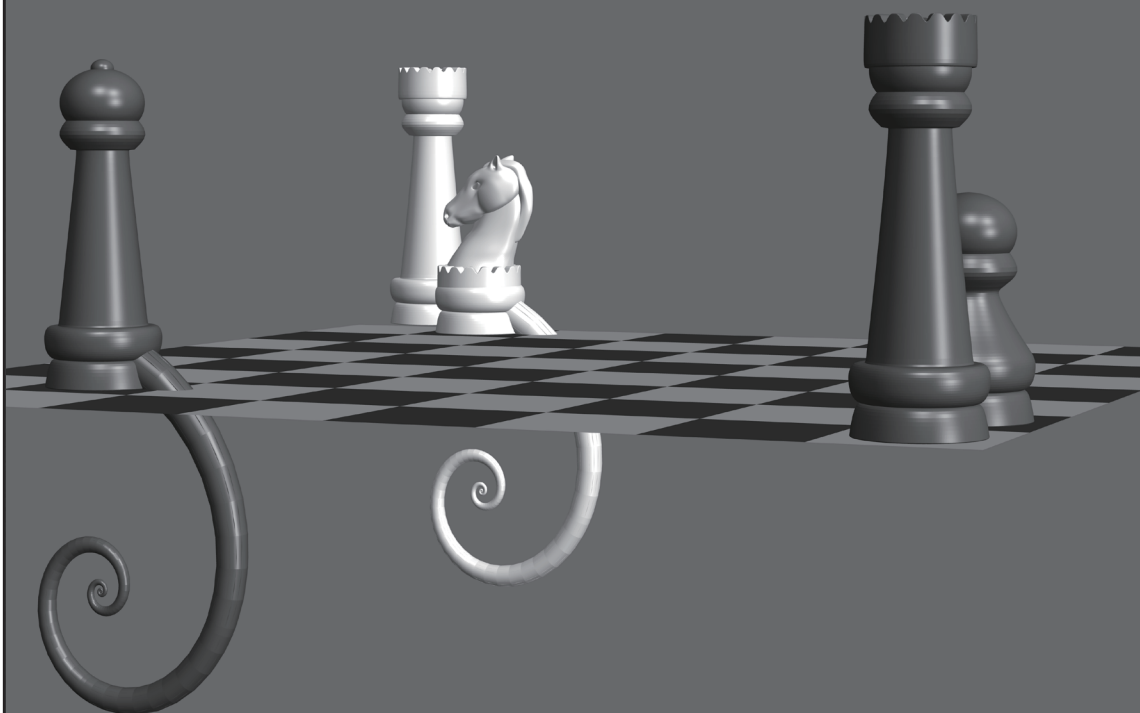


PROBLEM PARADISE

Issue 98

Vol.25

April-June 2022



Journal of Japanese Chess Problem Society

Contents

Orthodox	……1
Endgame	……9
Helpmate	……16
Selfmate	……27
Fairy	……30
Retro	……45
Shogi	……49
Informal Tourney Awards	
(Retro 2008-2009/Helpmate 2019/Endgame 2021/Helpmate 2021)	……52
出口信男の世界 (5) (泰永三二郎)	……77
Definitions	……85
第 96 号解答成績 /93-96 号通算解答成績	……88
Tadashi Wakashima-70 JT Announcement	……表紙 3

各セクションごと、および全体で、1 題 5 点として成績を集計します。オーソドックスの #2 以外の作品については、主要変化と思われるものをすべて記入してください。短評大歓迎。各セクションごとに別紙を使用し、それぞれに氏名を記入すること。締め切りは **2022 年 7 月 31 日** 消印有効。宛先は Solution Editor の若島まで。また、作品の投稿は直接に担当者へ。

All solutions should be sent to the Solution Editor Tadashi Wakashima (Niina 7-8-13, Minoh-shi, Osaka 562-0005, Japan) before **July 31, 2022**. Please write down your solutions of each section in separate sheets. Solutions and comments by e-mail (tadashi@hcn.zaq.ne.jp) are most welcome. All originals should be submitted to the sub-editors. Their names and (e-mail) addresses are given on the back cover. Computer-tested problems are indicated by C+.

第 98 号をお届けします。この号も、97 号に続いて 88 ページと大部になりました。

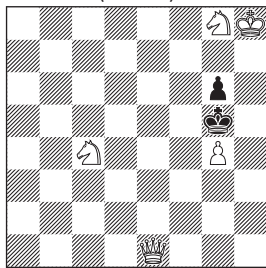
Zoom で開催している、プロブレムと詰将棋の会合「プロバラ会」は、プロバラ本体の発行スケジュールに合わせて、2、5、8、11 月の第 1 日曜に開催しています。通常なら次回は 8 月になりますが、わたしが 9 月に引っ越しを予定しているため、その準備で 8 月はお休みさせていただき、次が 11 月 6 日 (日) の午後 1 時から 6 時までになります。新しく参加を希望される方は、若島までメールなどでご連絡ください。

ロシアのウクライナ侵略への WFCC の対応は、公式 HP に掲載されているとおりですが、個々の対応は各国に任されることになりました。本誌では、ロシアおよびベラルーシの作家の作品を締め出すことはせず、従来どおりにさせていただきます。

前号でお知らせしたとおり、本誌は紙媒体の発行を 100 号までとし、以降についてはウェブマガジンとして存続することになりました。現在、新しい HP の立ち上げ作業を進行させているところです。お披露目になりましたら、こちらでご案内させていただきますので、楽しみにお待ちください。

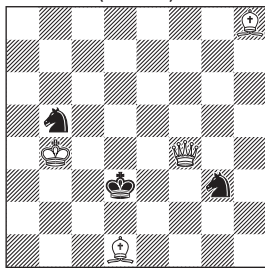
なお、これまでお納めいただいている会費の扱いについては、別紙でご連絡をさしあげています。どうぞよろしく願いいたします。

D623 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



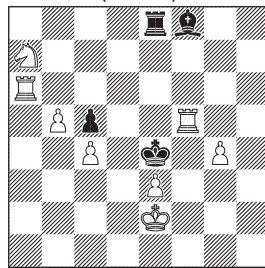
#2 (5+2)

D624 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



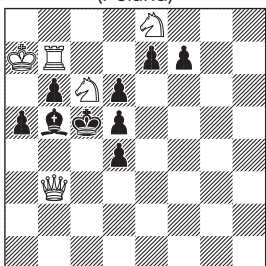
#2 (4+3)

D625 Marian Frańk
C+ (Poland)



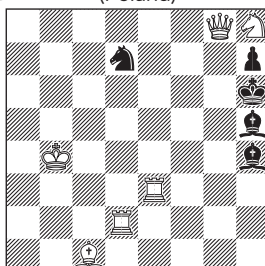
#2 (8+4)

D626 Marian Frańk
C+ (Poland)



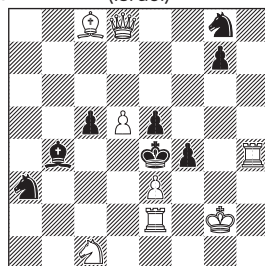
#2 (5+9)

D627 Bogusz Piliczewski
C+ (Poland)



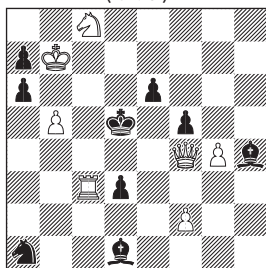
#2 vv (6+5)

D628 Leonid Makaronez
C+ (Israel)



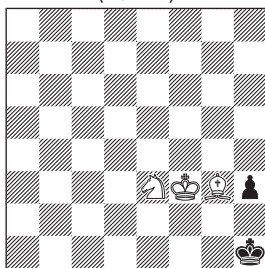
#3 (8+8)

D629 Leonid Makaronez
C+ (Israel)



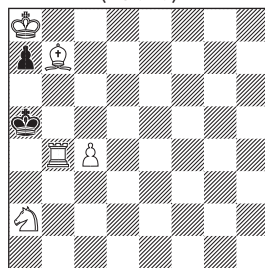
#3 (7+9)

D630 Marian Frańk
C+ (Poland)



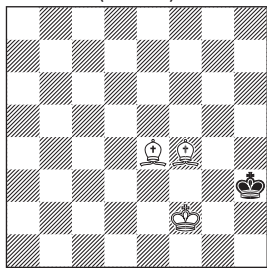
#4 (3+2)

D631 Marian Frańk
C+ (Poland)



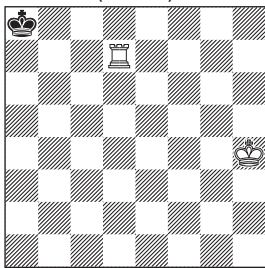
#4 (5+2)

D632 Marian Frař (Poland)
C+



#6 (3+1)

D633 Marian Frař (Poland)
C+



#7 (2+1)

Orthodox

Orthodox Editor

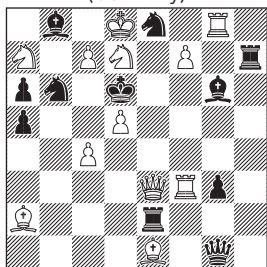
Yuji Kikuta (菊田裕司)

Judge 2022-2023

To be announced

Issue 96 (D586-600)

D586 Udo Marks (Germany)
C+



#1 17tries (12+11)

1. Qa3+? Qc5! 1. Qxb6+? Qxb6!
1. Qc5+? Qxc5! 1. Qe5+? Rxe5!
1. Qe6+? Rxe6! 1. Qe7+? Qxe7!
1. Qf4+? Re5! 1. Rf6+? Sxf6!
1. Rxg6+? Sf6! 1. Bb4+? axb4!
1. Bxg3+? Qxg3! 1. Sb5+? axb5!
1. Sc8+? Sxc8! 1. cxb8=Q+? Sc7!
1. c8=S+? Sxc8! 1. f7xe8=S+? Bxe8!

1. f8=Q+? Re7!

1. c5#!

Author: theme: Lot of attempts to checkmate.

黒川：駒が多くて混乱する。

九尾：3番目が4番目で当たりを引きました。

藤原：最初に見えたのが作意だった。

須川：これがすごいのかどうかかわからないがすごい。

水野：17個の紛れを作れるのはすごいですね。

塩見：1手詰めで紛れの個数は最大いくつにできるのか、興味深い。

太刀岡：最多だったらすごいかもしれないが、BとQへの成を切り分けられていないのは微妙。

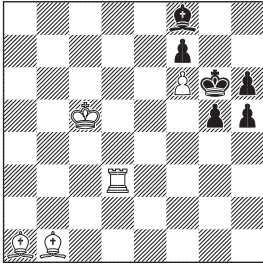
☆紛れが17個ある1手詰。これが新記録なのかはわかりません。もう少しできそうな気がするのですが・・・Pの成りがBとQで切り分けられないのはやむを得ません。

☆無解が4名も。メイトだけの解答でも構わなかったのですが、紛れを全部書かなければならないと思わせてしまったとしたらごめんなさい。

[○12△0×0-4]

D587 Udo Marks

C+ (Germany)



#1 (5+6)

b-i) f8B→c8/a8/a4/a3/d1/g1/h1/h3

- a) 1.Rd6# b) 1.Rd7# c) 1.Rd5# d) 1.Rb3#
 e) 1.Rxa3# f) 1.Rxd1# g) 1.Re3# h)
 1.Rf3# i) Rxb3#

Author: theme: White blocks one diagonal and opens the diagonal b1-h7! A Nonet!
 (= 9 Problems)

須川：駒 1 枚の移動でこれだけ完成しているのはすごい。

水野：R の移動の最大値になっているんですね。

Oikawa: 限定移動 9 種。9 types of limited movement.

黒川：同じ意味合いのものもあるが、バリエーションは豊富。

九尾：駒を取っての 1 手詰と考えると新鮮。

井上：流石に散漫な印象を受ける。

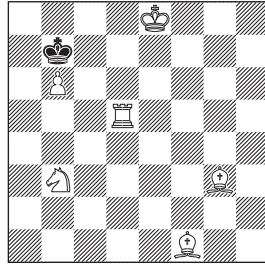
藤原：足し算を繰り返しても何も得られない。

☆すべてラインを塞ぐというのではなく、駒取りが入ってしまっているのが残念です。駒取りを許すならもういくつかできるだけに、なおさらそう感じます。

[○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D588 David Mealor

C+ (UK)



#2 (6+1)

- 1.Rb5! waiting
 1...Ka6/Ka8/Kc6/Kc8
 2.Sc5/Bg2/Sa5/b7#

宮嶋：ポーンを取られてはいけない。

九尾：渋滞しそうなのでちょっと見えにくい移動場所。

水野：スターフライトにするというよりは b6 の P を取られないようにするという感じですね。

藤原：いつもの Star-flight.

井上：軽いスターフライト。

内田：左右に跳ねる

原岡：ナイトの威力

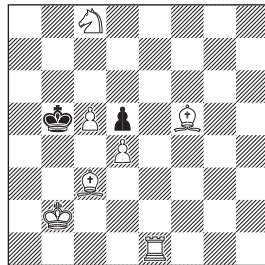
Oikawa: B の睨みが効いている。Bishop's glares is working.

☆キーがほぼ絶対ですね。全員正解でした。

[○ 16 △ 0 × 0 - 0]

D589 David Mealor

C+ (UK)



#2 (7+2)

- 1.Re7! waiting
 1... Ka4/Ka6/Kc4/Kc6

2.Bd7/Bd3/Sd6/Sa7

Oikawa: 退路封鎖で解決。Solved by blocking the escape route.

水野: Kが7段目に逃げられないようにすればいいですね。

九尾: Re6 でないのはうまいところ。

原岡: ビショップの威力

黒川: 意外にもルークで詰ます変化がない。

須川: 端を使わないと難しいのか。

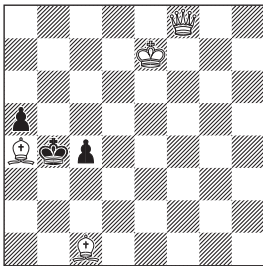
藤原: 前作もそうだが、初めから4か所とも空いているようでは意外性皆無。

井上: 淡泊なスターフライト

☆うーん、これもキーがほぼ絶対ですね。

[○15△0×0-1]

D590 David Mealor
C+ (UK)



#2 (4+3)

1.Qf4! waiting

1...Kxa4/Kc3/Kc5

2.Qxc4/Qd2/Qd6#

黒川: c4のポーンを取れる位置にクイーンを動かしたいがどこか悩ましい。

須川: c4に利かす初手は分かりやすい。

水野: c4Pをピンする初手ではあまり面白くないですね。

井上: キーが一番有利な手に感じる。

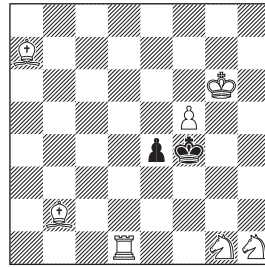
Oikawa: これは平凡かなあ。It feels mediocre.

九尾: 白Kの位置が大きなヒント。

藤原: いつものY-pattern.

[○15△0×0-1]

D591 David Mealor
C+ (UK)



#2 (7+2)

1.Rd4! waiting

1...Ke3/Ke5/Kg4

2.Bc1/Bb8/Rxe4#

水野: 成駒があるのはさすがにマイナス要因ですね。

藤原: 自明成駒。没にすべきでしょう。

☆同色にBがあってどちらかが成駒です。不可能局面と違って不完全というわけではないですが、大きな減価事項です。そうしなければ表現できない狙いというのでもなければ避けるべきものです。気づいて没にしたはずでしたが、なぜか紛れ込んでしまいました。

黒川: Kg4への対処が問題。

九尾: Re1から考えました。

須川: 開き王手準備の初手みたいだが、違いましたね。

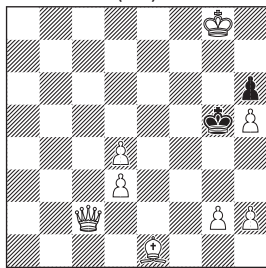
井上: 2枚のBを遮る狙いのキーだが他に手もないか

真鍋: 初手は異形のビショップ配置からすぐ見えると言うよりも、Kg4の変化に備えるにはこの一手。

Oikawa: 焦点移動。Move to focal point.

[○14△0×0-2]

D592 David Mealor
C+ (UK)

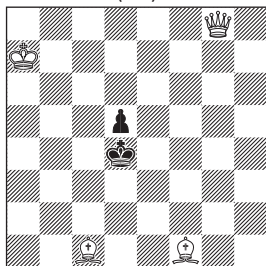


#2 (8+2)

- 1.Qc8! waiting
- 1...Kf4/Kf6/Kxh5
- 2.Bd2/Bh4/Qf5#

須川：Bの使い方の勉強になりました。
 九尾：Bd2が見えるので容易でした。
 黒川：Kxh5に対する形はD590と同じ。
 水野：不利感があまりない初手ですね。
 Oikawa：これも平凡。This also seemed mediocre.
 藤原：さっきと同じ。もっと厳選してほしいです。
 [○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D593 David Mealor
C+ (UK)



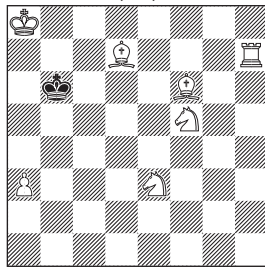
#2 (4+2)

- 1.Qb8! waiting
- 1...Kc3/Kc5/Ke4
- 2.Qb2/Qb6/Qf4#

Oikawa：Q繰りの問題。The problem that moves Queen.
 九尾：右から押さえたいになるので、Qb8は意

外でした。
 須川：初手が絶妙のQの位置でした。
 藤原：紛れがあってシリーズの中では1番良い。
 水野：前問と同じく不利感があまりないですね。
 黒川：手は広いが詰む形は限られているか。
 [○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D594 David Mealor
C+ (UK)



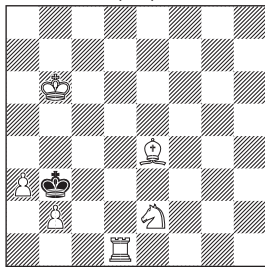
#2 (7+1)

- 1.Bc3! waiting
- 1...Ka6/Kc5/Kc7
- 2.Rh6/Bd4/Ba5#

内田：誘手が多い
 九尾：Rを動かしたくなるので苦勞。これが一番時間がかかったかも。
 黒川：Kc5に対してBd4と戻るのがやりづらい。
 藤原：またまたどう見てもY-pattern。
 須川：遠いRを忘れてました
 水野：初手でKの逃げ道を減らすのは印象が良くないですね。
 Oikawa：全手順、Bで仕留められたらなあ。
 I wish I could have check-mated them all with the Bishop.
 [○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D595 David Mealor

C+ (UK)



#2

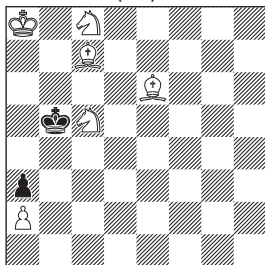
(6+1)

- 1.Rb1 waiting
 1...Ka2/Ka4/Kc4
 2.Sc1/Bc2/b3#

須川：これは色々な手筋を勉強できました
 九尾：改めて見ると 588 に似てますね。
 水野：b2P を守るだけです。
 藤原：3/4 star-flight. だんだん修行みたいになってきました。
 Shiomi: 2.Sc1# is pretty.
 Oikawa: 初手が全て。The first move is everything.
 ☆たしかに D588 と同じ感じで失礼しました。
 初形を b1R、c3S にして、1.Se2! にしたほうが 2x flight giving key になって少しマシかもしれませぬ。
 [○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D596 David Mealor

C+ (UK)



#2

(6+2)

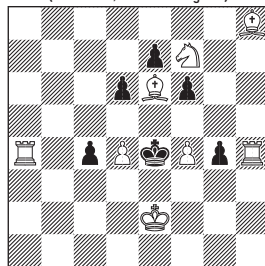
- 1.Sa6! waiting
 1...Ka4/Kxa6/Kc6
 2.Bd7/Bc4/Sa7#

須川：これは苦戦しました
 藤原：1.Sd3 があるからまだマシな部類。
 黒川：Bb6 も魅力的。
 水野：c7B を取られないように。
 井上：B が落ちないようにと考えて解けた
 Oikawa: 不動の B が司令塔。The non-moving Bishop is a playmaker.
 九尾：今回、唯一 R と Q が無い作。気軽に楽しめる作品群でした。
 [○ 14 △ 0 × 0 - 2]

D597 Miroslav Svitek

Vidadi Zamanov

C+ (Czech, Azerbaijan)



(****) #2vvv

(8+6)

- 1...Kxf4 (a) 2.Rxg4# (A)
 1...Kxd4 (b) 2.Rxc4# (B)
 1...g3 2.f5 # (C)
 1...c3 2.d5 # (D)
 1.Rxc4 (B) ? threat: 2.d5# (D)
 1...Kxf4 (a) 2.Rxg4# (A)
 But 1...d5!
 1.d5 (D) ? threat: 2.Rxc4# (B)
 1...Kxf4 (a) 2.Rxg4 # (A)
 But 1...Kd4(b)!
 1.f5 (C) ? threat: 2.Rg4#(A)
 1...Kxd4 (b) 2.Rxc4#(B)
 But 1...Kf4 (a)!
 1.Rxg4! (A) ! threat: 2.f5#(C)
 1...Kxd4 (b) 2.Rxc4#(B)
 1...f5 2.Sg5#

Authors: 2x Pseudo Salazar theme, 4x Urania theme, Dombrovskis theme, ex-

change defense and refutation.

藤原:やりたいことは分かるけど、シメトリックすぎる。

須川: 全てひっくるめて面白い作品です

水野: セット、トライ、本手順がうまく絡んでいますね。

Oikawa: 手の相関関係が上手く描かれていると思います。I think the move correlation is well represented.

太刀岡: Try と解が Set に対応。

☆ Salazaar theme とは、

1.X? (2.A#) 1...a 2.Y#

1.Y! (2.B#) 1...a 2.X#

という key と mate が入れ替わるパターンで、本作では変化が 1...a/b となっているので Pseudo (疑似) ということなんでしょうか。

Urania theme とは白のあるムーヴが、初手 (Try またはキー)、threat、メイトに出てくるというもので、本局ではそれが 4 つ出てきます。

Dombrovskis theme は、

1.X? (2.A#) 1...a!

1.Y? (2.B#) 1...b!

1.Z! 1...a/b 2.A/B#

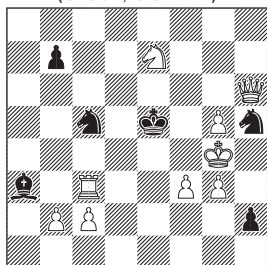
というものです。

本作はそのパターンになっていないように思うのですが・・・。

☆藤原さんのコメントにあるように、左右対称に近いのがすっきりしない感じがします。

[○ 10 △ 0 × 0 - 6]

Alexander Fica
D598 Zoltan Labai
C+ (Czech, Slovakia)



#3

(9+6)

1...b6/b5 2.Qc6 (3.Qd5#) Sf4/f6 3.Q(x)
f6#

1.Qb6 ! (2.Re3+ Kd4/Se4 3.Re4/Rxe4#)

1... Bxb2 2.Rxc5+ Kd4 3.Sf5#

1...Sd3 2.Rxd3 Bxe7/Sf6+ 3.Qe3/

Qxf6#

1...Se4 2.f4+ Sxf4 3.gxf4#

須川: よく読めば初手が見えてくる

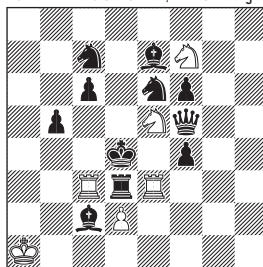
太刀岡: ピンメイトを狙う。

藤原: Key は一目だし変化も面白くない。

☆狙いがちょっとわかりませんでした。

[○ 4 △ 2 × 1 - 9]

Bosko Miloskeski
D599C+ Vidadi Zamanov
(North Macedonia, Azerbaijan)



#11

(6+11)

1.Sxc6+ Kd5 2.Sxe7+ Kd4 3.Sxf5+ Kd5

4.Se7+ Kd4 5.Sc6+ Kd5 6.Sb4+ Kd4

7.Sxc2+ Kd5 8.Sb4+ Kd4 9.Rxd3+ Ke4

10.Sd6+ Ke5 11.Sc6#.

Authors: Kozhakin theme; Switchback.

☆ Kozhakin theme とは白の 1 手目と最終手が同じマス目の着手であることです。

須川: 回転の向きを変えるのが楽しめる趣向作
井上: 珍しい連続王手の軽趣向。収束まで S の手で統一されている

真鍋: 楽しいパズル。

太刀岡: たくさん取れて楽しい。

藤原: 収束に悩んだ。

☆駒を取りまくる軽趣向作。収束はちょっとだけ考えさせられます。

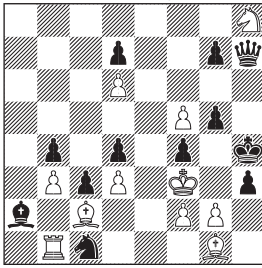
☆ 2.Sb4? とこちらから入ってしまった誤解 1 名。2...Bxb4! があります。

[○ 6 △ 0 × 1 - 9]

D600

Udo Marks

(Germany)



#22

(11+12)

Dedicated to Elisey Mysin
(*28/10/2010 -, Russian pianist)

1.g3+ Kh5 (fxg3 2.fxg3+ Kh5 3.g4+ Kh4/Kh6 4.Bf2/Sf7#) 2.g4+ Kh4 3.Bh2 (4.Bg3+ fxg3 5.Fxg3#) Se2 (3...Qxf5 4.Sg6+ Qxg6 5.Bg3+) 4.Sg6+ Qxg6 5.fxg6 Bxb1 (5...Bxb3 6.Bxb3 c2 7.Rc1) 6.Bxb1 Sg1+ 7.Bxg1 h2 8.Bxh2 Kh3 9.Bg1 Kh4 10.Bc2 Kh3 11.Bd1 c2 (11...Kh4 12.Kg2 c2 13.f3 cxd1=S 14.Kh2 S~~ 15.Bf2# / 12...f3+ 13.Bxf3 c2 14.Bh2)12. Bxc2 Kh4 13.Bd1 Kh3 14.Be2 Kh4 15.Kg2 f3+ 16.Kxf3 Kh3 17.Bd1 Kh4 18.Bh2 Kh3 19.Be5 Kh4 20.Be2 Kh3 21.Bf1 Kh4 22.Bg3#

☆ まず は 1.g3+~2.g4+~3.Bh2 で 4.Bg3+ fxg3 fxg3# のメイトを狙います。これをずっと狙い続けます。やむを得ない 3...Sd2 に 4.Sg6+ から Q を取り、6.Bxb1 で手を渡します。6...c2 はメインラインに早く合流するので、6...Sg1+ から 7...h2 と抵抗しますが、10.Bc2 から 11.Bd1 と B を活用して、11...Kh4 なら 12.Kg2~13.f3~14.Bf2# を狙います。

ここで 11...c2 と抵抗します (先ほど 6...c2 なら白の B の動きが少ないので早く詰みます)。これを取って、もう一度 B を d1 から e2 に持ってきて、やっと 15.Kg2 が実現し、あとは 17.Bd1 のテンポから 18.Bh2~19.Be5 とし、20.Be2~21.Bf1 とすればやっと 22.Bg3 が実現して詰みます。B の細かい動きで手数が増えるところがうまくできています。

☆ 献呈については以下のコメントがありません。

Author: Elisey Mysin as a guest after the chess tournament of the "Tal Memorial Rapid 2018" in Moscow. Little Elisey Mysin shows Grandmaster level on the piano.

☆ その時の模様がこちら。

<https://www.youtube.com/watch?v=Zb3AdjKIXA&authuser=0>

☆ さらに詩まで捧げられています。

Gedicht

Udo Marks

Gewidmet Elisey Mysin

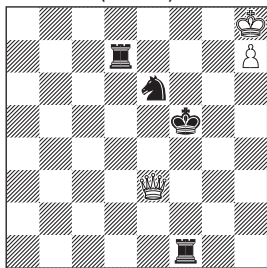
Piano Virtuoso!

Schwebt praxisnah am Klavier
dem Glanze lyrischem Traum,
malerisch träumst liebste Zier
apart spriebt Symphonie ersann.

Zauberei Melancholie
fein Memory stimuliert,
in geschmeidiger Magie
streife absolut liiert.
Sanft Melodie ein Reigen
es schwingt Klaviatur zart,
in Harmonien kreisen
eifrig Finger selbst jongliert.

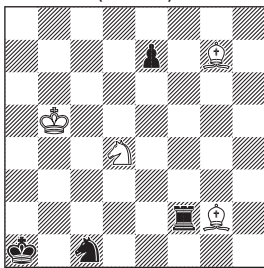
Einstimmen in Oktave
tief hohe Play Sounds Klänge,
liebst ströme Atmosphäre
hinein sacht Rhythmus schwenke.
Pulsiert formschön Musikus
sprudelte physischer Geist,
in Angemessne der Lust
starke Sinfonie umschreibt!

E194 Valery Kalashnikov
(Russia)



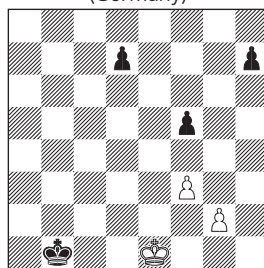
Draw (3+4)

E195 Jan Rusinek
(Poland)



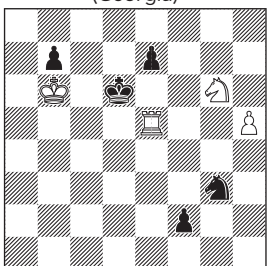
Win (4+4)

E196 Rainer Staudte
Michael Schlosser
(Germany)



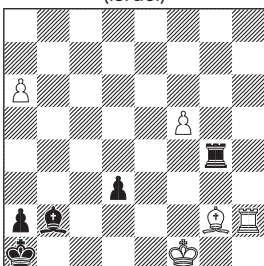
Draw (3+4)

E197 David Gurgenzidze
(Georgia)



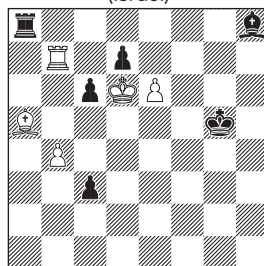
Draw (4+5)

E198 Michael Pasman
(Israel)



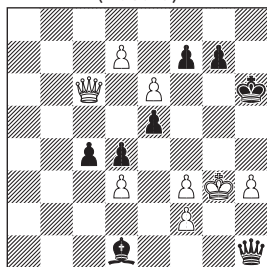
Draw (5+5)

E199 Michael Pasman
(Israel)



Draw (5+6)

E200 Peter Krug
(Austria)



Win (8+8)

Endgame

Endgame Editor

Hiroshi Manabe (真鍋 浩)

Judge 2022

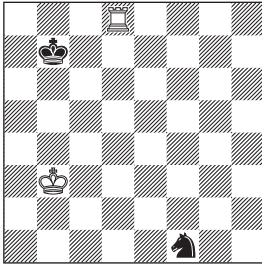
Mario G. Garcia (Argentina)

今号は7問の出題です。E194 はクイーンを活かしてドローに持ち込みます。E195 は細かい手に気をつけながらメイティングアタックを続けてください。E196 は手は限られていますが正解を探してください。E197 は前半と後半でテーマが変わり意外な収束になります。E198 は細かいやり取りからこれも意外な収束になります。E199 も細かいやり取りを読み切ってください。E200 は双方のクイーンが大

活躍しますが、途中で諦めずに勝手順を見つけてください。

Issue 96 (E177-188)

E177 Vladimir Kuzmichev
(Russia)



Win (2+2)

1.Kc4 Se3+ 2.Kc5 Kc7 3.Rf8 Sg4 4.Rf7+ Kd8 5.Rf4 Sh6 6.Rf6 Sg4 7.Re6 Kd7 8.Kd5 Win

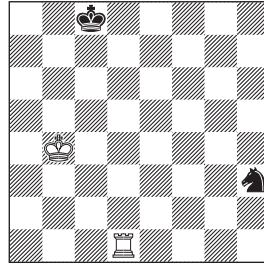
☆最小駒数の出題図です。最初に基本的な知識として、RvsSのエンドゲームは、KがSに近づいて守ることができればドロー、R側はそうならないようにSの行動を制約してKに近づけない(Cut off)ということの基本とします。

☆ 1.Kc4 Se3+ 2.Kc5 Kc7 は自然な導入ですが、ここで 3.Re8? という直接手ではなく、3.Rf8 として Sf5-Se7 と S を近付ける手を防いでおくのがポイントです。

☆ 3...Sg4 とこちらから S の脱出を図りますが、4.Rf7+ Kd8 と K を遠ざけてから、一転 5.Rf4 Sh6 6.Rf6 Sg4 と直接手で S を追いかけて、7.Re6 Kd7 8.Kd5 とすれば、S は K に近づくことができず、白勝ちとなります。

[○1△1×1]

E178 Vladimir Kuzmichev
(Russia)



Win (2+2)

1.Kc5 Sg5 2.Kd6 Sf7+ 3.Ke7 Se5 4.Rc1+ Kb7 5.Kd6 Sf7+ 6.Ke6 Sg5+ 7.Kf6 Sf3 8.Rd1 Kb6 9.Rd3 Se1 10.Rc3 Kb5 11.Ke5 Kb4 12.Kd4 Win

☆これも同じく RvsS。1.Kc5 に対して 1...Kc7 は 2.Rf1 Kd7 3.Kd5 Ke7 4.Rf5 として白勝ちです。

☆ 1...Sg5 に は 2.Kd6 Sf7+ 3.Ke7 Se5 4.Rc1+ Kb7 5.Kd6 と左辺での争いになります。

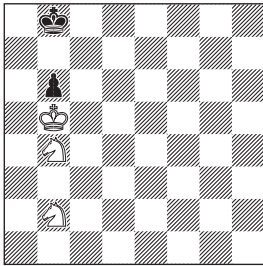
☆ 黒 は 5...Sf7+ 6.Ke6 Sg5+ 7.Kf6 Sf3 とチェックを絡めて抵抗しますが、8.Rd1 がピッタリの手。8...Kb6 9.Rd3 Se1 10.Rc3 と網を絞り、以下 10...Kb5 11.Ke5 Kb4 12.Kd4 がちょうど間に合って白勝ちとなります。

塩見：E177～E179のような tablebase そのもののポジションは、どこまで「作品」とみなすのが難しそう。

☆その通りですね。機械的な手順や、似たような作品の連作になりがちであり、作者側と解答者側で意見が分かれるところだと思います。

[○1△1×1]

E179 Rainer Staudte
Michael Schlosser
(Germany)



Win (3+2)

1.Kc6 b5 2.Sd1 Kc8 3.Se3 Kd8 4.Kd6 Ke8
5.Ke6 Kf8 6.Sf5 Kg8 7.Ke7 Kh7 8.Kf7 Kh8
9.Sd5 b4 10.Sf6 b3 11.Sh4 b2 12.Sg6#
Win

☆これも最小駒数の構成。今度は SSvsP のパターンですが、基本的な考え方として、黒は P を捨ててしまえばドロー。白は黒 P を捨てさせないように、なるべく P を止めておきつつ、2 枚の S で K を隅に追い込んでメイティングネットを作り、最後は黒が P を動かしている間に S2 枚のメイト形にする、というプロセスになります。

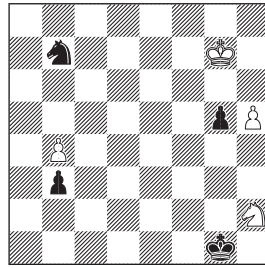
☆言うは易し・・・1.Kc6 b5 はほぼ必然。ここで自然な 2.S2d3? では、以下 2...Kc8 3.Sf4 Kd8 4.Kd6 Ke8 5.Ke6 Kf8 6.Kf6 Ke8 でドローです。

☆ 2.Sd1 が先を見越した好手。先の手順と同様に 2...Kc8 3.Se3 Kd8 4.Kd6 Ke8 5.Ke6 Kf8 と進んだ局面で 6.Sf5 がピッタリで K を捕まえることができます。

☆ 6...Kg8 7.Ke7 Kh7 8.Kf7 Kh8 と K を隅に追い込んでから、最後の仕上げ、9.Sd5 から 2 つの S でメイトになります。

[○0△1×2]

E180 Vladislav Tarasiuk
(Ukraine)



Win (4+4)

1.h6! Kf2! 2.Sf1! Ke2 3.Sg3+ Ke3 4.Se4
Kd3 5.Sf2+ Kd2 6.Sd3 Kxd3 7.h7 b2
8.h8=Q Sd6 9.Qh7+ Kc3 10.b5 Sxb5
11.Qh3+ Kb4 12.Qg4+ Ka5 13.Qf5 Win

☆ポーンレースがテーマですが、白ナイトをどのように活用するか。

☆いきなり 1.Sf3+? は 1...Kf2 2.Sd2 g4 とされてドローなので、1.h6! とします。黒が 1...b2 と応じるのは 2.Sf3+ Kf2 3.Sd2 Ke2 4.Sb1 で白勝ちなので、黒は 1...Kf2 と先に受けます。

☆ 2.Sf3 を消されて困ったようですが、2.Sf1! が上手い手。2...b2 3.Sd2 の受けを用意しつつ、2...Kxf1 と取るのは、3.h7 b2 4.h8=Q b1=Q 5.Qh1+ で白勝ちです。

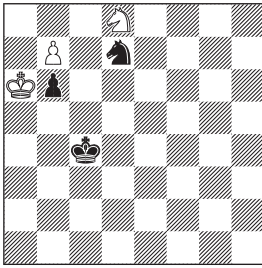
☆ 2...Ke2 に対して 3.Sg3+ Ke3 4.Se4 が同様の狙いを持った手で、b ポーンを受けつつ K で取ると後に Qh7+ が生じます。4...Kd3 5.Sf2+ Kd2 6.Sd3 と再度ナイトを押し売りすると 6...Kxd3 と取るしかありません。

☆ 7.h7 b2 8.h8=Q Sd6 9.Qh7+ Kc3 の局面で 10.b5 と捨てるのが上手い手で、以下 10...Sxb5 11.Qh3+ Kb4 12.Qg4+ Ka5 13.Qf5 で白勝ちになります。

[○1△1×1]

E181 Peter Krug

(Austria)



Win (3+3)

1.Ka7 Kd5 2.Sf7 b5 3.Sg5 b4 4.Sh7!! Se5 5.Sf6+ Kc5 6.Se4+ Kd5 7.Ka8! Sc6 8.Sd2 Kc5 9.Sb3+ Kd5 10.Sa5 Sxa5 11.b8=Q Win

☆初手 1.Ka7 に対して 1...b5 なら、2.Se6 b4 3.Sf8 で白勝ちです。このラインでこの作品のテーマ、黒ナイトの b8 への効きを如何に外すか、が明らかになります。

☆ 1...Kd5 に対しては、2.Sf7 b5 3.Sg5 b4 4.Sh7!! とわざわざナイトを遠ざけるのが、次に 5.Sf8 を見せた好手順。

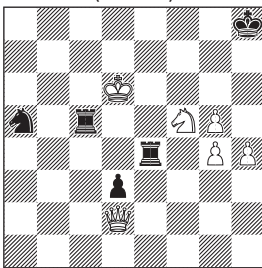
☆黒はやむを得ず 4...Se5 とナイトを繰り返して掛かりますが、今度は 5.Sf6+ Kc5 6.Se4+ Kd5 とナイトを近づけてから 7.Ka8! と予めチェックを躲します。

☆ 7...Sd7 には 8.Sf6+ があるので黒はやむなく 7...Sc6 としますが、8.Sd2 Kc5 9.Sb3+ Kd5 10.Sa5 Sxa5 とついにナイトの効きを外すことに成功し、11.b8=Q で勝ちになります。

[○ 0 △ 2 × 1]

E182 Peter Krug

(Austria)



Win (6+5)

1.Qxd3! Sb7+ 2.Kd7 Rxf5 3.Qxe4 Sc5+ 4.Ke7 Rf7+ 5.Ke8! Sxe4 6.Kxf7 Sd6+ 7.Kf8 Kh7 8.h5 Kh8 9.g6 Sf5 10.h6! Sxh6 11.g7+ Kh7 12.g5 Sg8 13.g6+ Kxg6 14.Kxg8 Win

☆初手 1.Qb2+? といきなり行くのは 1...Rce5 2.Kc7 Sc4 3.Qb8+ Re8 4.Qb5 Se3 5.Qb2+ R4e5 6.Sxe3 R8e7+ となってパーペチュアルでドローです。

☆正解は 1.Qxd3!。これに対して、1...Ree5 2.Se7 Sc4+ 3.Qxc4 Rxc4 4.Sg6+ Kg7 5.Nxe5 は白勝ちなので、1...Sb7+ 2.Kd7 Rxf5 と進めます。

☆ 3.Qxe4 とルークが落ちますが、3...Sc5+ 4.Ke7 Rf7! が狙いすました手。5.Kxf7? Sxe4 6.g6 Sg5+ はドローなので、5.Ke8! といったん躲してから、5...Sxe4 6.Kxf7 と取ります。

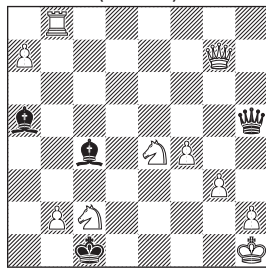
☆実はこの局面が mutual Zugzwang。先ほどの 5.Kxf7? Sxe4 と比べて手番が入れ替わっているため、黒は 6...Sd6+ 7.Kf8 Kh7 8.h5 Kh8 9.g6 と進めざるを得ません。

☆ここで 9...Sf5 がステイルメイトを狙った最後の抵抗ですが、10.h6! とポーンを捨てるのが冷静な一手で、以下 10...Sxh6 11.g7+ Kh7 12.g5 Sg8 13.g6+ Kxg6 14.Kxg8 で白勝ちです。

[○ 0 △ 1 × 2]

E183 Peter Krug

(Austria)



Win (10+4)

1.Se1!! Bxe1 2.Rb3! Qd1 3.Qg4! Qxg4 4.a8=Q Qe2 5.Qa1+ Kc2 6.Rc3+ Bxc3 7.Qb1+ Kxb1 8.Sxc3+ Kxb2 9.Sxe2 Bxe2 10.Kg2 Kc3 11.Kh3 Kd4 12.Kh4 Kd5 13.f5

Kd6 14.Kg5 Ke7 15.Kg6 Bg4 16.h4 Kf8
17.h5 Kg8 18.h6 Bd1 19.h7+ Kh8 20.f6
Bc2+ 21.Kf7 Bg6+ 22.Ke7 Kxh7 23.f7
Bxf7 24.Kxf7 Kh6 25.Kf6 Kh5 26.Kf5 Kh6
27.g4 Kh7 28.Kf6 Kh6 29.g5+ Kh7 30.Kf7!
Kh8 31.Kg6! Kg8 32.Kh6 Win

☆駒割りは白が圧倒的に有利ですが、まずはメイトを防ぐことが先決です。

☆ 1.h4? と脱出を図るのは、1...Qd1+ 2.Kh2 Qe2+! 3.Kh3 Be6+ 4.g4 Qf1+ 5.Kg3 Qd3+ 6.Kf2 Qxc2+ 7.Ke3 Bd2+ 8.Kd4 Bxf4 9.Rc8 Qxc8 10.Sc5 Qd8+ 11.Ke4 Qd5+ 12.Kxf4 Qd2+ 13.Ke5 Qxb2+ 14.Kxe6 Qxg7 15.a8=Q Qxg4+ と手順は長いですがドローになります。

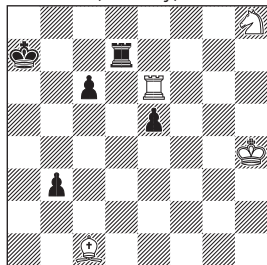
☆ 正解は 1.Se1!! Bxe1 2.Rb3 とナイトを犠牲に f3 を守る手です。1...Qd1 には 2.Qd4! Qxd4 3.a8=Q Bd5 4.Rb4!! Qd2 5.Qc8+ Kb1 6.Qc2+ と物量作戦で白勝ちです。

☆ 2...Qd1 に対しても 3.Qg4! Qxg4 4.a8=Q とプロモーションします。ここで 4...Ba5 の抵抗には 5.Rc3+ Bxc3 6.Sxc3 Kxb2 7.Kg2! Kxc3 8.Qf3+ Qxf3+ 9.Kxf3 で白勝ちです。

☆ 4...Qe2 とメイトを狙って抵抗しますが、5.Rc3? は手順前後で 5...Kb1! 6.h4 Qf1+ 以下ドローです。正解は 5.Qa1+ Kc2 6.Rc3+ Bxc3 7.Qb1+ Kxb1 8.Sxc3+ Kxb2 9.Sxe2 Bxe2 10.Kg2 で、以下は手順は長くなりますが、白勝ちとなります。

[○ 0 △ 0 × 3]

E184 Jarl Henning Ulrichsen (Norway)



Win (4+5)

1.Sg6! Rd2! 2.Bxd2 b2 3.Be3+ Kb7

4.Re7+ Kc8 5.Re8+ Kc7 6.Bb6+! Kb7
7.Ba7! Kxa7 8.Se7 b1=Q 9.Sxc6+ Ka6
10.Ra8+ Kb6 11.Rb8+ Kxc6 12.Rxb1 Win

☆初手 1.Rxe5 と取るのは、1...Rh7+ 2.Rh5 Rg7 3.Rh6 Rg2 4.Kh3 b2 5.Be3+ Kb7 6.Kxg2 b1=Q でドローです。

☆作意は 1.Sg6! ですが、1...Rd2! が好手の切り返し。2.Bxd2 b2 と進んで、今度は b1=Q をどのように阻止するかがポイントになります。

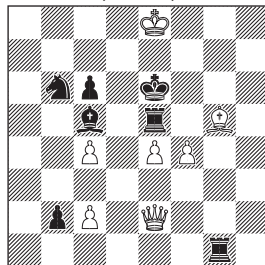
☆とりあえずチェックを続けて、3.Be3+ Kb7 4.Re7+ Kc8 5.Re8+ Kc7 6.Bb6+! のところで 6...Kb7 と躲かれて策が尽きたように思えます。

☆ここで 7.Ba7! が絶妙手。7...Kxa7 と取るしかありませんが、更に 8.Se7 とポーンを取らない手が好手。間違っても 8.Sxe5? と取ってしまうと 8...b1=Q 9.Sxc6+ Kb6 10.Rb8+ Ka6 11.Rxb1 でステイルメイトです。

☆ 8...b1=Q には、同様に 8...b1=Q 9.Sxc6+ Ka6 10.Ra8+ Kb6 11.Rb8+ Kxc6 12.Rxb1 として白勝ちになります。

[○ 0 △ 2 × 1]

E185 Andrzej Jasik (Poland)



Win (7+7)

1.Qh5! Kd6+! 2.Kd8! Bf2! 3.Be7+! Rxe7
4.c5+! Bxc5 5.Qh6+ Rg6! 6.Qxg6+ Re6
7.e5+ Kd5 8.Qd3+ Bd4 9.c3! c5 10.c4+!
Sxc4 11.Qf3# Win

☆黒には b1=Q があるので、白は速い手で迫らないといけません。1.Qh5! のメイティングアタックに 1...Kd6+ とチェックで躲します

が、2.fxe5+? Kc7の深追いは失敗です。2.Kd8!
が網を絞る冷静な手です。

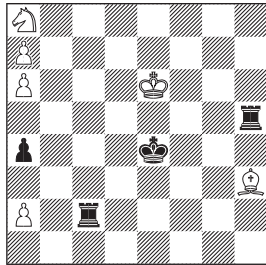
☆ 黒は2...Bf2!と逃げ道を作りますが、
3.Be7+! (3.Qh8? Sd7 4.fxe5+ Kc5) Rxe7
4.c5+! Bxc5と黒Bを呼び戻して逃げ道を塞ぎます。

☆ 5.Qh6+として5...Re6 6.Qf8+ Re7
7.Qxe7#で簡単なのですが、黒は5...Rg6!
6.Qxg6 Re6とルークを捨てクイーンの筋を変えて粘ります。

☆ ここで7.Qf5? Sd7 8.e5+ Sxe5 9.fxe5+
Kd5 10.c4+ Kd4 11.Qxe6 b1=Qはドロー。
7.e5+ Kd5 8.Qd3+とクイーンを転じるのが
良い手で、以下8...Bd4 9.c3! c5 10.c4+
Sxc4 (10...Kc6 11.Qe4+ Sd5 12.Qxd5+
Kb6 13.Qxe6+) 11.Qf3#で綺麗なメイトに
なります。

[○ 0 △ 2 × 1]

E186 Sergey Osintsev
(Russia)



Win (6+4)

1.Sc7! Rc6+ 2.Kd7 Rxa6! 3.Bg2+! Kd4
4.Sxa6 Rh7+ 5.Kc6! Rxa7 6.Sc7! Ra5
7.Sb5+ Kc4 8.Bd5+! Kb4 9.a3# Win

☆ a8でのプロモーションがテーマですが、初
手 1.Sb6? は1...Rh6+! 2.Kd7 Rh7+でa7
のポーンを取られて失敗です。

☆ 作意の1.Sc7に対して、同様に1...Rh6+
とするのは2.Kd7 Rd2+ 3.Ke7! Rh7+ 4.Ke6!
Rh6+ 5.Kf7 Rh7+ 6.Kg8で白勝ちなので、
1...Rc6+ 2.Kd7 Rxa6!と黒はこちらのルーク
で抵抗します。

☆ 単に3.Sxa6?と取ると3...Rh7+ 4.Kc8
Rxa7 5.Bg2+ Kd4 6.Bb7 Kc3 7.Kb8 Rxb7+

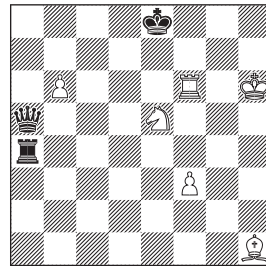
8.Kxb7 Kb2 9.Sb4 Ka3でドロー。3.Bg2+!
が好手で、以下3...Kd4 4.Sxa6 Rh7+ 5.Kc6!
とこちらに逃げ、5...Rxa7 6.Sc7と戻ると、
黒ルークが危なくなります。なお、3...Ke5の
変化は4.Sxa6 Rh7+ 5.Kc8! Rxa7 6.Bb7!
Kd4 7.Kb8 Rxb7+ 8.Kxb7 Kc3 9.Kb6 Kb2
10.Sb4 Ka3 11.Kb5で先程の紛れと一手違い
で今度は白勝ちになっています。

☆ 黒はルークを救出すべく6...Ra5と逃げま
すが、7.Sb5+ Kc4から最後は8.Bd5+! Kb4
9.a3#と綺麗なメイトになります。

☆ 手数は短いですが、プロモーション→ルーク
のトラップ→メイトと狙いが移っていく作品で
した。

[○ 0 △ 2 × 1]

E187 Michael Pasman
(Israel)



Win (6+3)

1.f4! Rxf4! 2.Re6+! Kf8 3.Bc6! Kg8 4.b7
Qd2! 5.Rg6+! Kh8 6.b8=Q+! Rf8+ 7.Rg5!
Qh2+ 8.Rh5 Qxh5+ 9.Kxh5 Rxb8 10.Kh6!
Kg8 11.Bd5+ Kf8 12.Sd7+ Win

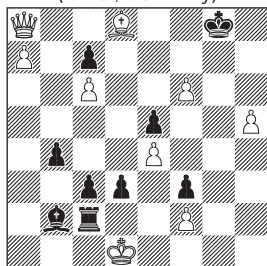
☆ 初手 1.f4! はBの筋を通してこの一手。
1...Rxf4と取らせてから2.Re6+とするのが
作意で、初手から1.Re6+? Kf8 2.f4と手順前
後するのは2...Qd2! 3.Rf6+ Kg8 4.b7 Rb4
でドローとなる Thematic Try です。

☆ 2...Kf8 3.Bc6! が狙いの一手。この手で
3.Sg6+? は3...Kf7 4.Sxf4 Qf5 5.Re4 Qf6+
でドローです。3...Kg8 (3...Qxe5 4.Rxe5
Rf6+ 5.Kg5 Rxc6 6.Rb5) には4.b7と進めま
す。

☆ 4...Qd2! がディスカバードチェックを狙っ
た最強の抵抗ですが、5.Rg6+! Kh8を挟ん

でから、6.b8=Q+ Rf8+ と敢えてディスカバードチェックに掛かり、以下7.Rg5! Qh2+ 8.Rh5 Qxh5+ 9.Kxh5 Rxb8 10.Kh6! Kg8 11.Bd5+ Kf8 12.Sd7+ とフォークを掛ければ、B+Sのエンディングで勝ちになります。
[○0△2×1]

E188 Amatzia Avni
Martin Minski
(Israel, Germany)



Draw (9+9)

1.f7+! Kxf7 2.Bg5 Rd2+! 3.Ke1! Rd1+!
4.Kxd1 c2+ 5.Ke1 d2+! 6.Bxd2 Bc3!
7.Qe8+! Kxe8 8.a8=Q+ Ke7 9.Qa1! Bxa1
10.Bxb4+ Ke6 11.Kd2 Draw

☆ 1.f7+! Kxf7 2.Bg5 で舞台が整います。
2...Rd2+! に対して 3.Bxd2? と取るのは
3...c2+ 4.Ke1 Bc3 として黒勝ちです。この
ポジションが重要なテーマになっています。

☆ 3.Ke1! と逃げる手に対して、3...Re2+
4.Kf1 d2 とするのは、5.Qe8+! Kxe8
6.a8=Q+ Kf7 7.Qa2+ Kg7 8.h6+ Kf8
9.Qa8+ Kf7 10.Qa2+ でパーペチュアル
チェックです。また、3...c2 とするのは、
4.Qe8+! Kxe8 5.a8=Q+ Kf7 6.Qa2+ Kg7
7.h6+ Kf8 8.Qa8+ Kf7 9.Qa2+ でこれも
パーペチュアルチェックです。

☆黒は 3...Rd1+ と捨てる手が最強で、4.Kxd1
c2+ 5.Ke1 d2+! 6.Bxd2 Bc3! と先程と似た
局面が出現します。違いは Pd3 が無くなって
いることです。

☆ 7.Qe8+! Kxe8 8.a8=Q+ とした時にその
違いが現れ、8...Kf7? 9.Qa2+ は白勝ちなの
で、黒は 8...Ke7 と逃げます。

☆この局面で 9.Qa1! が全てを解決する手。

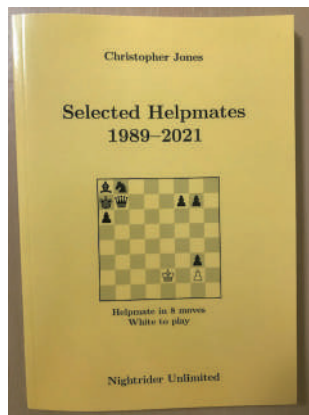
9...Bxa1 10.Bxb4+ がチェックとなるので、
10...Ke6 11.Kd2 としてドローが確定します。
[○0△1×2]

【総評】

塩見：今回も難問が多くて苦戦しました。
則内：相変わらず勝手読みで恐縮です。何卒ご
容赦下さい。
中嶋：Endgame もなかなか上達しないですが、
毎号楽しみにしています。
☆毎号、解答をお寄せいただき、大変ありがた
うございます。

新刊紹介

Christopher Jones, *Selected Helpmates* 1989-2021



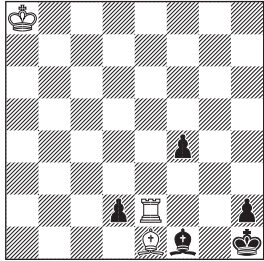
本誌でもおなじみ、Jones さんの helpmate
自選作品集です。119 ページ、英語。

JCPS で販売中、1部 2000 円 (送料込み)。

お申し込みは郵便振替で JCPS まで。

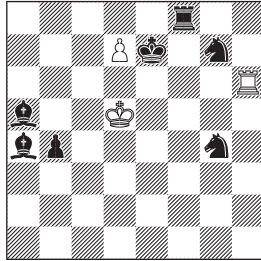
なお、次号で書評を掲載する予定です。

H1337 Marian Fraĝ (Poland)
C+



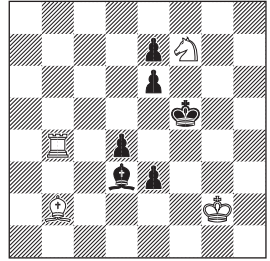
H#2 2sols (3+5)

H1338 Jozef Ložek (Slovakia)
C+



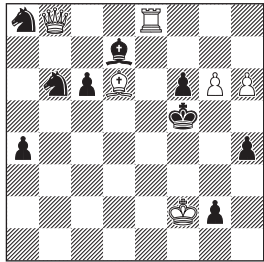
H#2 2sols (3+7)

H1339 Hiroaki Maeshima (前嶋啓彰)
C+



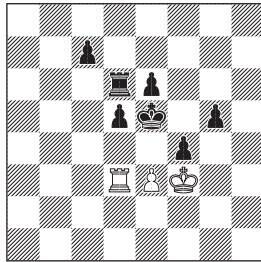
H#2 2sols (4+6)

H1340 Fadil Abdurahmanović (Bosnia Hercegovina)
C+



H#2 4sols (6+9)

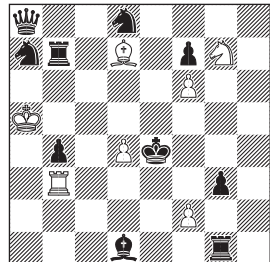
H1341 Mihaiu Cioflanca (Romania)
C+



H#2.5 zero position (3+7)

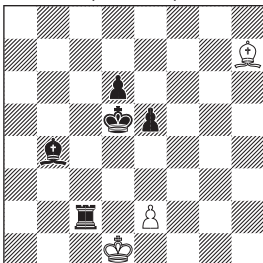
- a) Kf3→f8
- b) Pd5→d4
- c) Pc7→d2
- d) Pc7→h2

H1342 Abdelaziz Onkoud (France)
C+



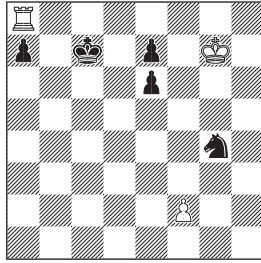
H#2.5 2sols (7+10)

H1343 Stanislav Hudák (Slovakia)
C+



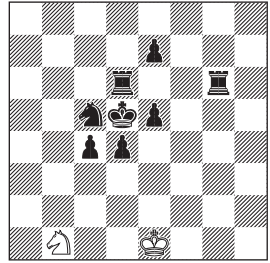
H#3 2sols (3+5)

H1344 Stanislav Hudák (Slovakia)
C+



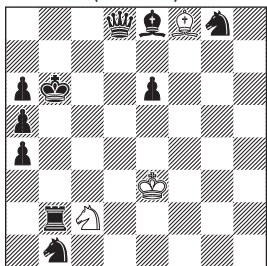
H#3 2sols (3+5)

H1345 Marian Fraĝ (Poland)
C+



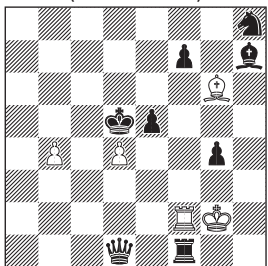
H#3 2sols (2+8)

H1346 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



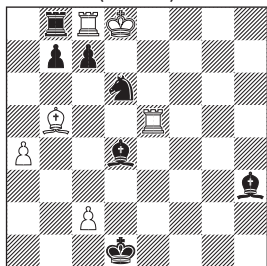
H#3 4sols (3+10)

H1347 Christopher J.A. Jones
C+ (Great Britain)



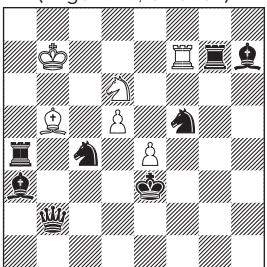
H#3 (5+8)
b) Pf7→e2

H1348 Michel Caillaud
C+ (France)



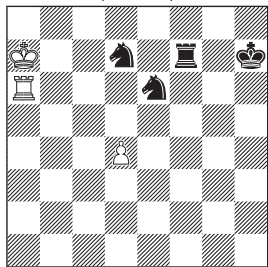
H#3 2sols (6+7)

H1349 Jorge Kapros
Christer Jonsson
C+ (Argentina, Sweden)



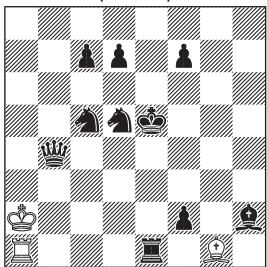
H#3 2sols (6+8)

H1350 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



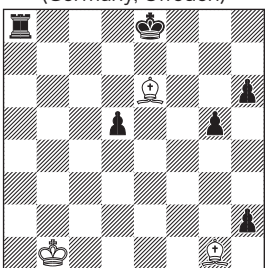
H#3.5 2sols (3+4)

H1351 Aleksandr Pankratiev
Aleksey Ivunin
C+ (Russia)



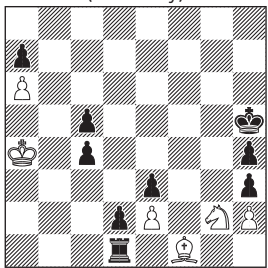
H#3.5 2sols (3+10)

H1352 Rolf Wiehagen
Christer Jonsson
C+ (Germany, Sweden)



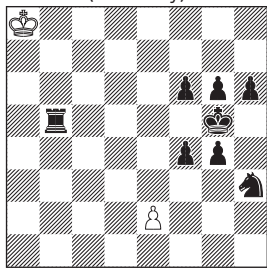
H#4 2sols (3+6)

H1353 Reinhardt Fiebig
C+ (Germany)



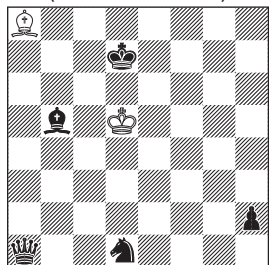
H#4.5 (6+9)

H1354 Reinhardt Fiebig
C+ (Germany)



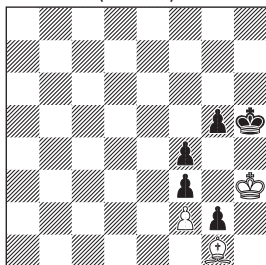
H#5 (2+8)

H1355 Zlatko Mihajloski
C+ (North Macedonia)



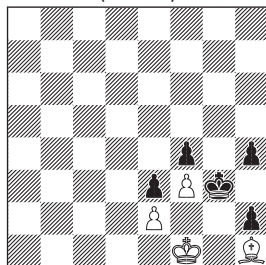
H#6 (2+5)

H1356 Sébastien Luce
C+ (France)



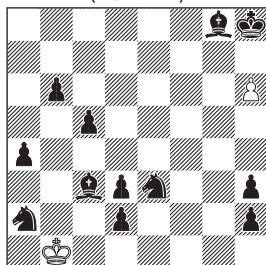
H#6 2sols (3+5)

H1357 Sébastien Luce
C+ (France)



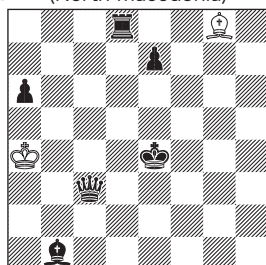
H#6 (4+5)

H1358 Mihaiu Cioflanca
C+ (Romania)



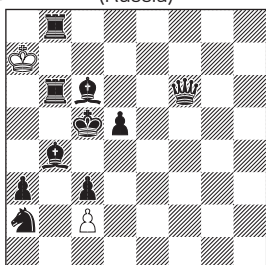
H#6 2sols (2+12)

H1359 Zlatko Mihajloski
C+ (North Macedonia)



H#6.5 v (2+6)

H1360 Aleksandr Pankratiev
Kirichenko Anatoly
C+ (Russia)



H#7 (2+10)

Helpmate

Helpmate Editor

Toshimasa Fujiwara [藤原俊雅]

Judge 2022

H# ≤ 3 : Ricardo Vieira (Brazil)

H# > 3 : Michel Caillaud (France)

●今号は 24 題の出題です。Caillaud さんは私が担当になってから初めて投稿をくださいました。日本の作家さんからの投稿もお待ちしております。

●結果稿についても触れておきます。解答者

が増加して 14 名。短評も豊富で大変助かりました。初解答は井上徹也さんと齋藤光平さん。今後ともよろしく願います。須川卓二さんも私が担当になってからは初めて。特筆すべきは及川さんで、全作品に対して日本語&英語で解答を送っていただきました。大感謝！

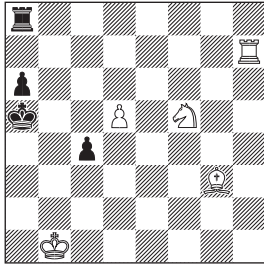
This issue has 24 compositions. TF means the comment of Toshimasa Fujiwara. I am looking forward to receiving solutions or comments from overseas!

There are two corrections on issue

97. The authors of H1326 are Rolf Wiehagen, Jorge Kapros and Christer Jonsson. The twin setting of H1327 is b) Pa7 ⇔ Sb5. I apologize for my mistakes.

Issue 96 (H1295-1314)

H1295 Stanislav Hudák
C+ (Slovakia)



H#2 2sols (5+4)

1.Kb4 Rh3 2.Kc3 Be1#
1.Kb6 Se7 2.Ka7 Sc8#

●スターターにピッタリの易しい作品。

九尾：豪快な両王手。

塩見：ダブルチェックが爽快。

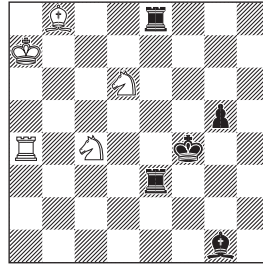
及川：両王手2種。さりげないBとSの役割交換。

Oikawa : Two types of double check. Casual Bishop and Knight exchange of functions.

Sunouchi : Double checks fully utilizing the board.

TF : Easy and suitable for the first composition!

H1296 Aleksandr Pankratiev
C+ (Russia)



H#2 2sols (5+5)

1.Rf3+ (R8e4?) Se3+ 2.Re4 Sf5#
1.R8e5 (Rf3+?) Sf5 2.Rf3+ Sc3#

黒川：無駄のない配置。

井上：Sの跳ね順の対比がキレイに表現されている。Rf3が被るのは仕方ないのかな。

太刀岡：被っている手が多いのが気になる。

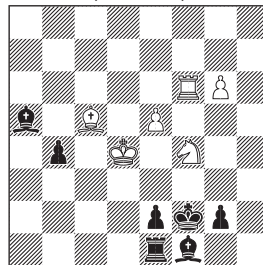
●これだけダブリがあると手順前後に近い感じを受けてしまいます。

Sunouchi : Encircle with R&B and lock with knights.

Oikawa : Two types of battery pin-mate. The exchange of functions and moves of the white pieces is wonderful.

TF : e8R are pinned at different squares.

H1297 Mihaiu Cioflanca
C+ (Romania)



H#2 2sols (6+7)

1.Bd8 Sh5+ 2.Bxf6 Ke4#
1.Bb6 Kd3+ 2.Bxc5 Sxe2#

水野：うまくジラヒにしますね。

内田：時間差ジラヒは解き難い。

●ジラヒと言えば、取られる駒とメイトする駒が2解で入れ替わる超有名テーマ。本作では最後に線駒の利きが通つてのメイトなのでジラヒに思えますが、Analyzerではジラヒと表示されません。機械を信じるなら、最終手に動かす駒(K, S)のほうを「メイトする駒」と呼ぶのかもしれませんがね。

井上：バッテリーの破壊×2。

須川：ラスト以外の対比は良い。駒取りはちょっと見えない。

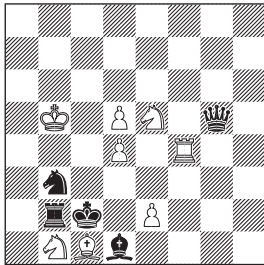
●作家視点では、黒の手の付け方をもう少し工夫したいところ。

Sunouchi : The black bishop was a worthless sweeper.

Oikawa : It's a stunning royal battery mate and Zilahi.

TF : The question is how to guard the three squares f3, g1 and g3. A nice ODT!

Kaj Engström
H1 298 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



H#2 2sols (8+5)

- 1.Qxe5 dxe5 2.Rxb1 Rc4#
1.Qxf4 Sc4 2.Qxc1 Sca3#

太刀岡：4枚のうち異なる2枚でメイト。

井上：対の解で詰め上がりに必要な2駒を連続で取るのがテーマか？

●白の初手の dxe5 が弱いが、Bc1 と Sc1

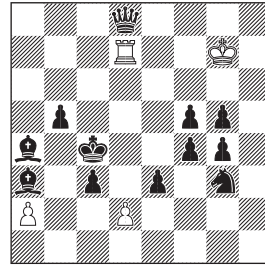
も取ってしまうのはちょっと珍しい。まずまずの出来と言えるでしょう。

Sunouchi : Nice Zilahi against assist-goal combinations.

Oikawa : Easy to understand Zilahi. The production of the difference between the Knight and line piece is nice.

TF : It is interesting that black takes two white pieces in each solution. 1...dxe5 is the only slightly disappointment in my opinion.

Jozef Ložek
H1 299 (Slovakia)
C+ ded. to Masato Yoshi



H#2 2 sols (4+12)

b)Kc4→e4

- a)1.Bc5 a3 2.Bb3 d3#
1.Qa5 Rc7+ 2.Kb4 dxc3#
b)1.Ke5 Kf7 2.Se4 d4#
1.f3 Re7+ 2.Kf4 dxe3#

水野：4つ合わせるとアルビノになるんですね。

須川：2つの作品を左右に配置しているようです。

●テーマ自体は明快ですね。2段目にいる白Pが4通りに動くアルビノです。問題なのはKを動かすツイン設定で、これでは折角のアルビノが当たり前になってしまいます。

井上：狙いは分かるが駒の働きのかなり悪い印象を受ける。

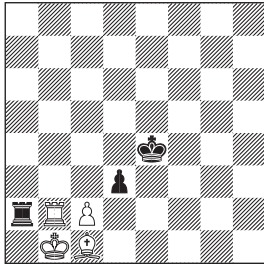
●一流詰将棋作家らしい御意見。

Oikawa : Mate by moving Pawn.

Sunouchi : We naturally get to the theme of Albino.

TF : Twin setting is a pity, but clarity Albino!

H1300 Mihaiu Cioflanca
C+ (Romania)



H#2.5 (4+3)
b)Pc2→g2

a)1...c4 2.Ra5 Rf2 3.Re5 Rf4#

b)1...Rb5 2.Rf2 Bb2 3.Rf4 Re5#

真鍋 : この R の対比は面白い。

太刀岡 : 90°回転するのが面白い。

●作者の狙いはまさにそこ。多くの解答者がテーマに気づいたようで良かったです。

●では、このテーマをツインではなく 2 解で作れますか？

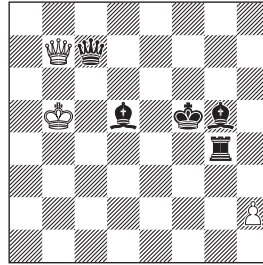
須川 : 3 つの駒で網をしぼる様はなかなか。

Sunouchi : Both rooks exchange the final positions.

Oikawa : I see, it's the exchange of the final position.

TF : The clear expression of the theme is popular with solvers. Is it possible to create it in the two solutions?

H1301 Pierre Tritten
C+ (France)



H#2.5 2sols (3+5)

1...h3 2.Qe5 Qg7 3.Bf6 Qxg4#

1...h4 2.Be6 Qg2 3.Re4 Qxg5#

塩見 : まとまりのいい小品。

太刀岡 : Q の使い方に加え、P の位置を変えたのが良い。

須川 : 初手の違いが楽しめる。

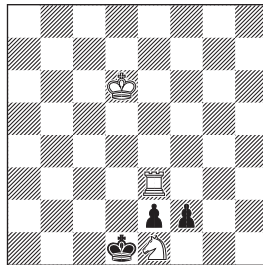
●センスの良い小品といった感じで、いかにもこの作家らしいですね。

Sunouchi : Blacks are property men for the stages.

Oikawa : Two types of checkmates of Pawn + Queen.

TF : The contrast between Pawn steps is tasteful.

H1302 Sébastien Luce
C+ (France)



H#3* 2sols (3+3)

1...Rc3 2.f1=S Sd3 3.Sd2 Rc1#

1.f1=Q Rxe2 2.Qf5 Sf3 3.Qc2 Re1#

1.f1=S Rb3 2.Se3 Sf3 3.Sc2 Rb1#

真鍋：解後感良し、佳作！

須川：簡素ながらすばらしい手順。

太刀岡：対比が弱くて難しかった。

●こういう作品を少ない駒数で良く出来ていると見るか、ヘルプらしい対照性が無いと見るかは難しいところです。

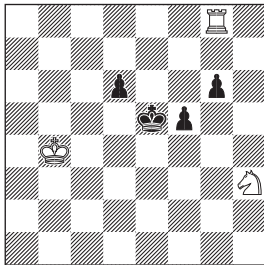
●担当の感覚では、これはこれで良いと思っています。

Oikawa : The problem of manipulating pieces. I like the solution that promotes Pawn to Queen.

Sunouchi : Fascinating mate-patterns with few pieces.

TF : The three solutions are well combined with only six pieces.

H1303 Stanislav Hudák
C+ (Slovakia)



H#3 2sols (3+4)

1.d5 Rxg6 2.d4 Re6+ 3.Kd5 Sf4#
1.Kf6 Sf4 2.Kg5 Se6+ 3.Kh6 Rh8#

太刀岡：白の動かず駒が変わるのが良い。

黒川：h列まで追うのは読みづらい。

真鍋：2解目は盲点。

●2解に関連が無いため解き辛い作品ですね。

●この作者にはもう少しテーマや対照性に拘って作ってほしいところです。

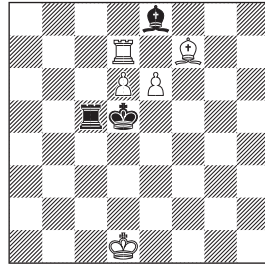
Sunouchi : He can't escape from them

in any way.

Oikawa : A mediocre solution and a nimble solution.

TF : The second solution is hard to find for the solvers.

Aleksandr Pankratiev
H1304 Ivan Antipin
C+ (Russia)



H#3 2sols (5+3)

1.Bxd7 exd7+ 2.Kc6 d8=Q 3.Rb5 Qc7#
1.Bxf7 exf7 2.Ke6 f8=Q 3.Re5 Qf7#

●左右でQ成りしてメイト。対照性は文句無しです。

太刀岡：配置の効率がよく、対比もきれい。

須川：異なる場所へのQへの昇格なるほどです。

黒川：シンプルな表現。

●これだけシンプルだと、やはり類作が心配か。

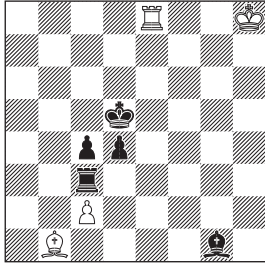
井上：これはこれで一つの形かもしれないがやや物足りない。

Sunouchi : Funny tastes because of a staying pawn.

Oikawa : Branch with the first move. A safe finished product.

TF : The contrast is perfect, but it may be too simple.

H1305 Christopher J.A. Jones
C+ (Great Britain)



H#3 2sols (4+5)

1.Rb3 cxb3 2.Bh2 b4 3.Bd6 Be4#
1.d3 cxd3 2.Bc5 dxc4+ 3.Kd4 Re4#

真鍋：綺麗なツイン。

●白のPを2回動かしてから同地点着手でのメイト。これはなかなか良いですね。

黒川：最終手の着手位置が同じなのがよい。

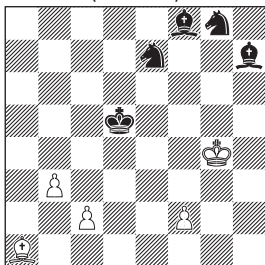
須川：これはすばらしい対比ですね。

Sunouchi : Our world is made for a walking pawn.

Oikawa : Move to the same square and checkmate. It's also a contrast of whether to capture the Pawn.

TF : Move White Pawn twice and mates on the same square. An interesting composition by our regular contributor!

H1306 Stanislav Hudak
C+ (Slovakia)



H#3 2sols (5+5)

1.Sc6 Be5 2.Bf5+ Kxf5 3.Bc5 c4#
1.Bd3 Bd4 2.Ke4 c3 3.Sd5 f3#

須川：Bの使い方が巧みです。

及川：Bの動きが印象的。黒は両方の解で2枚とも動ければよかったのだけど。

太刀岡：BとPの位置関係が反転。

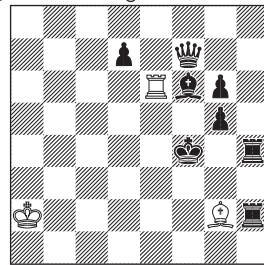
●それぞれの解で手順前後が起きないように設定してあります。

Sunouchi : White bishop needs help from his neighbor.

Oikawa : The movement of the Bishop is impressive. I wish both Black Bishops moved with both solutions.

TF : The moves of B, S and P are all changed in the two solutions. Nice contrast.

Fadil Abdurahmanović
H1307C+ Marko Klasinc
(Bosna Hercegovina, Slovenia)



H#3 2sols (3+8)

1.Rh1! (Rh3?) Bd5 2.Rg4 Re3 3.Be5 Rf3#
1.Qf8! (Q~?) Re2 2.Kf5 Bc6 3.Rf4 Bxd7#

●大物同士の共作です。

黒川：黒の初手はギリギリの限定。

太刀岡：Qの逃げ方が一意に定まるのが面白い。

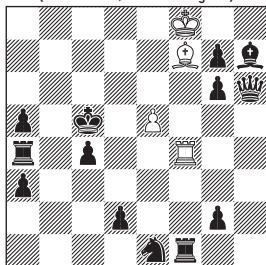
●構成自体は連続アンピン+収束ですが、黒の初手の紛れをはじめ、全体に気品が漂っています。本号の Help の中では一番の出来か。

Sunouchi : Black opens never intervene in the sols.

Oikawa : The first move (Bd5, Re2) of white is very good.

TF : It is brilliant that Black's first move is defined in one way. An excellent expression of unpins!

Valery Kopyl
H1308 Vidadi Zamanov
C+ (Ukraine, Azerbaijan)



H#3 (4+13)
b)Kc5→d3

- a)1.Rb4 Bxg6 2.Rb5 Bf7 3.Qb6 Rxc4#
b)1.c3 Rxa4 2.Qe3 Rf4 3.Sc2 Bc4#

太刀岡 : 長短スイッチバック。

及川 : スイッチバックを黒Qの移動に絡めた見事なツイン。

●肝心のスイッチバックですが、その意味付けがツインで異なるのは気になります。

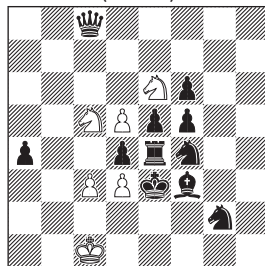
●とはいえ同地点着手でメイトまで上手く纏められていて、佳作であることに間違いはありません。

Sunouchi : Queen runs to her lover during switchbacks.

Oikawa : A stunning twin that entwined the switchback with the movement of the Black Queen.

TF : Long and short switchbacks! Mates on the same square are also nice.

H1309 Aleksandr Pankratiev
C+ (Russia)



H#3 3sols (6+11)

- 1.Qxe6 cxd4 2.Kxd4 Kd2 3.Sxd5 Sxe6#
1.Qxc5 dxe4 2.Kxe4 c4 3.Se3 Sxc5#
1.Sxd5 Sc7 2.Rg4 Se4 3.Kf4 Sxd5#

黒川 : f4 で詰ますのは広いほうに逃がしている感じでやりづらい。

及川 : S 線りの問題。ジラヒの2手順がいいですね。

真鍋 : 3解目をどう評価すべきか。

●3解目に対して違和感を持つ方もいましたが、黒が初手に着手した地点に白が最終手に着手するという全体を通じた統一があるので、特に問題無いと思います。

Oikawa : The problem of manipulating the Knight. I like two solutions that become Zilahi.

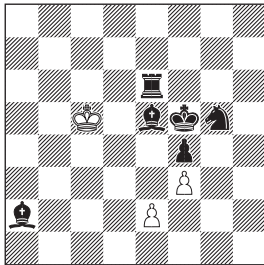
Sunouchi : Complicated system for stories of capturing.

TF : Some solvers had questions about the third solution, but I would like to support the author's idea – play on the same square at the first and final move in each solution.

TF : I apologize that I wrongly published this original and H1314 as a composition

by a single composer. These originals were a collaboration by Aleksandr Pankratiev and Kirichenko Anatoly.

H1310 Hiroaki Maeshima
C+ (前嶋啓彰)

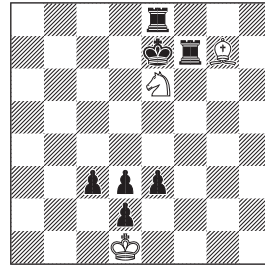


H#5 (3+6)

1.Rg6 e3 2.Bf6 Kd6 3.Be5+ Ke7 4.Se6 Kf7 5.Rg5 e4#

- もはやお馴染みとなった前嶋さんの作品。太刀岡：PのテンポとRS入れ替え。則内：Bは戻りRとSのreplaceになるとは驚きました。真鍋：一見手数を無駄にするビショップのスイッチバックが見つけ難かった。
- 解答者から好評が集まりました。
- はじめにsingle stepしたPを最後にもう一度突いて詰ませるという構成が、作品全体に引き締まった印象を与えています。
- 塩見：前嶋さんはデビュー以来コンスタントに発表していますね。今後も期待しています。
- Oikawa：The switchback and place exchange have been decided beautifully.
- TF：It's well constructed with several technical moves. He is one of the most active composers among the Japanese.

Sébastien Luce
H1311C+ (France)
in memory of Toutankhamon

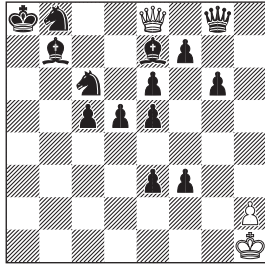


H#5 (3+7)

1.Rg8 Bxc3 2.e2+ Kxd2 3.e1=R Sc5 4.Kf8 Bb4 5.Re8 Se6#

- まずは初形にご注目。この形を作者は"double T problem"と呼んでいます。及川：スイッチバックを絡めた華麗なバッテリーメイト。
- もとにRがいた地点に成ったRが来て、Switchbackで両王手。纏まりがよく好みの作品です。
- 須川：この詰上りになるとは予想も出来ない初形でした。
- Shiomi：It took me quite a while to realize that I need another Black piece to construct checkmate. Finish is beautiful!
- Oikawa：A splendid battery mate entwined with a switchback.
- Sunouchi：The finale is unexpected and very impressive.
- TF：The initial position is beautiful. The author calls this "double T problem". It is also interesting that different black Rook self-block on e8 and double checkmate!

H1312 Fadil Abdurahmanović
C+ (Bosna Hercegovina)



H#5 (3+14)

1.Qxe8 h4 2.Sd7 h5 3.Kb8 hxg6 4.Kc7
gx7 5.Kd6 fxe8=S#

●最強の駒である Q を惜しげもなく消してしまし、そこに S が来たらメイトになっているという明快な狙いの作品。

真鍋：一直線！

太刀岡：同じ地点で別の駒に。

●塩見さんの英語短評にもありますが、白 Q を 5 回も動かせるのに詰まないように設定するには、この作者をしてもこれだけの駒数を必要とするのです。

●なお本作は WCCI 2019-2021 に作者が自薦されています。他の方の作品も含めて好作揃いですので、ぜひご覧ください。

Author : Sacrifice of wQ to enable Excelsior S-promotion mate by distant wPh2!! (WCCI 2019-2021)

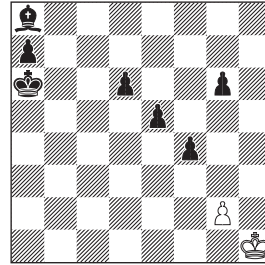
Oikawa : Smothered mate.

Sunouchi : A steady pawn to be a knight exceeds others.

Shiomi : A heavy setting, but it is difficult to avoid cooks in long helpmates with WQ, I imagine.

TF : What a powerful move 1.Qxe8 is! A masterpiece by a first-class composer.

H1313 Reinhardt Fiebig
C+ (Germany)



H#6 (2+7)

1.Kb7 g3 2.Kc6 gxf4 3.Bb7 fxe5 4.Bc8
exd6 5.Kb7 d7 6.Ka8 dxc8=Q#

●長編としてはとても易しい作品で、解答数も多かったです。こういう作品を 1 号に 1 作は入れていきたいですね。

須川：分かりやすい楽しい趣向。こういうのをたくさん解きたいな。

及川：テクニカルな駒繰り。

Oikawa : Manipulate pieces technically.

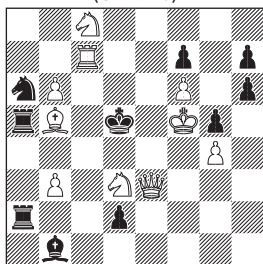
Shiomi : Tricky movement by BK.

Sunouchi : Approachable for solvers to enjoy plain moves.

TF : This easy and long Helpmate was well received by the solvers!

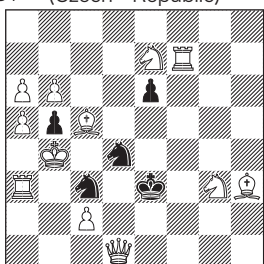
(Continued on p.48)

S287 Valery Kopyl
Gennady Koziura
C+ (Ukraine)



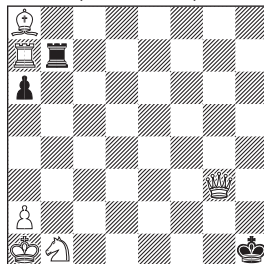
S#3 (10+10)

S288 Alexander Fica
Jiri Jelinek
C+ (Czech Republic)



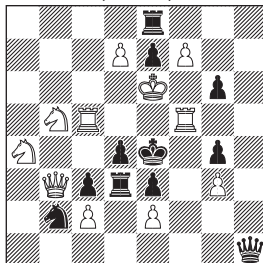
S#4 (12+5)
b) Kb4→Ka5

S289 Nikolay Akimov
C+ (Kazakhstan)



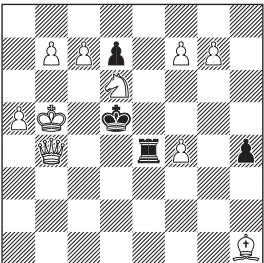
S#4* (6+3)

S290 Aleksandr Pankratiev
C+ (Russia)



S#4 (11+11)

S291 Milomir Babic
C+ (Serbia)



S#8 (10+4)

Selfmate

Selfmate Editor

Hiroaki Maeshima (前嶋啓彰)

Judge 2021-2023

Kohey Yamada (山田康平)

☆今号は5題。ツイン込みの作品、Setplay
ありの作品とバラエティに富んでいます。

☆ This section needs originals!

☆ S287 は自然な手順ですが、ひとつ意外な
ディフェンスがあります。

☆ S288 はツインがついています。黒の同じ
手に対して異なったメイトが生まれます。

☆ S289 は Setplay と本手順での最終手の
違いをお楽しみください。

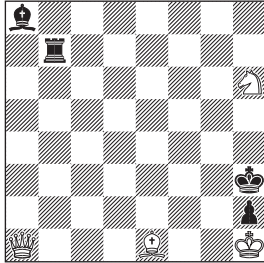
☆ S290 は黒のピースを目的地に運ぶ手順が
ポイントです。

☆ S291 はポーンのプロモーションが鍵にな
ります。

Issue 96 (S275-279)

今号には複数名の方より初解答をお寄せいただきました。ありがとうございます。

S275 Kankuh Kobayashi
C+ (小林看空)



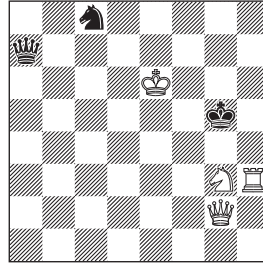
S#3 (4+4)

1. Qg7! (2. Qxb7 Bxb7# and 2. Qd7+ Rxd7#)
 1...Rb1+ 2.Qg2+ Bxg2#
 1...Rb2+ 2. Qb7 (3.Qf3+ Bxf3#)
 2...Rxb7 3. Bf2 Rany#
 2...Rb3/g2 3. Q(x)g2+ Bxg2#
 2...Rf2 3. Bxf2 Bxb7#
 1...Rany+ 2. Qg2+ Bxg2#

井上：易しいがシンプルな初形でツークツワンクもあり悪くはない。
 及川：Rb2 ~ Rxb7の動きが良い。
 黒川：アクロバティックな手順。
 須川：いろいろな手がある中、きれいな一本の道が見えてくる作品
 太刀岡：Qの消去とスイッチバックが良い。
 藤原：1.Qb2の紛れが付いているのは良いが、short threat になっている点はやはり気になる。

☆ツークツワンクでバッテリーを開くメイトというのは新鮮でした。

S276 Viktor Zheltukhov
C+ (Russia)



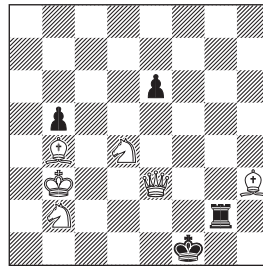
S#5 (4+3)

1. Sh1+ Kf4 2. Qf3+ Kg5 3. Qf6+ Kg4 4. Sf2+ Qxf2 5. Qf5+ Qxf5#

井上：詰め上がりはこれしかないのに組み合わせが盲点に入り苦労した。
 及川：黒Qを呼ぶタイミングがポイント。
 黒川：連続チェックしかないので読みやすい。
 須川：白玉詰のように解けました。詰上りを想定できたのがよかったです
 太刀岡：Rが取られそうで取られない味が良い。
 真鍋：手順は易しいが、初手の味が良い。

☆最終形はSとQのメイト形としては有名な形で、それに至るためにQをf5まで持っていくのが主題だと思います。
 ☆初手 1.Se4+? はg5を抑えてしまうので、本譜の手順が成立しません。
 ☆ Good try 1.Se4?.

S277 Nikolay Akimov
C+ (Russia)



S#5 (6+4)

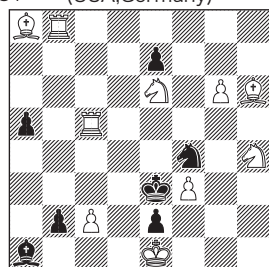
1.Se2 e5 2.Kc2 e4 3.Sc4 bxc4 4.Kd1 c3
5.Sc1 c2#

及川：Sc4のタイミングが全て。

須川：Pだけでメイトされるのは新鮮です

☆ It is the timing of Sc4 that matters.
Zugzwangs in sequence.

Steve Dowd
S278 Mirko Degenkolbe
C+ (USA,Germany)



S#8 (10+7)

1. Rxb2! a4 2. g7 a3 3. g8=S axb2 4.
Sxe7 b1=S 5. Rc3+ Sxc3 6. Sd5+ Sxd5
7. Bxf4+ Sxf4 8. Sg2+ Sxg2#

少し長いですが、以下に作者のコメントを
掲載します。

Composers: Berlin theme in selfmate;
the immediate 1. Bxf4? and 1. Sg2? are
both mate.

Instead

1. Rxb2! a4 Black cannot capture the
rook with the bishop
2. g7 a3
3. g8S axb2
3. ... a2? is another mistake, White can
simply make a tempo move and the
bishop will be forced to mate after it
captures the b2 rook.
4. Sxe7 b1S

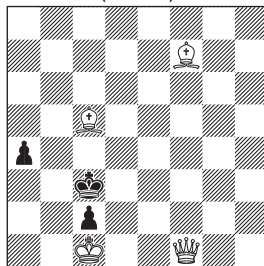
5. Rc3+ Sxc3
6.Sd5+ Sxd5
7. Bxf4+ Sxf4
8. Sg2+ Sxg2#

As in the Berlin directmate theme,
the mates were reduced to thematic
checks in the last two moves. Both sides
underpromote to a knight.

黒川：手数は長いがほぼ一本道。プロモー
ションがどちらもナイトになるのがうまい。
☆なお、3.g8=Q axb2 4.Qg5 b1=S 5.Rc3+
Sxc3 6.Bg7 とするのは、(6...S~にはメイ
トがありますが)6...Bb2や6...Se4で逃れ
ます。

☆ Good underpromotions and thematic
clarity.

S279 Anatoly Steepochkin
C+ (Russia)



S#10 (4+3)

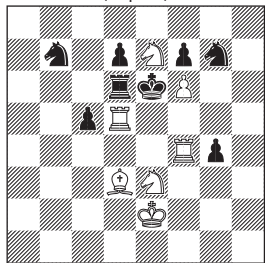
1.Qf6+! Kd3 2.Qd4+ Ke2 3.Qe4+ Kf1
4.Qh1+ Ke2 5.Bh5+ Kd3 6.Qd5+ Kc3
7.Be2 a3 8.Bb4+! Kxb4 9.Qb5+ Kc3
10.Qb2+ axb2#

☆ No one could solve this.

☆ Black King is chased around the
board, and finally it settles on the initial
position. What a finesse!

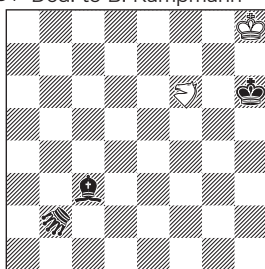
(Continued on p.76)

F1278 Atsuo Hara
C+ (Japan)



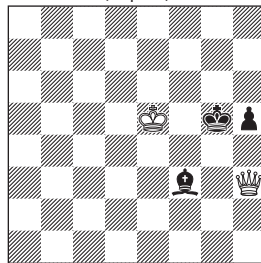
#2 (7+8)
b) bSb7⇌bPc5
c) bRd6⇌bSg7
Annan Chess

F1279 Sébastien Luce
C+ Ded. to B. Kampmann (France)



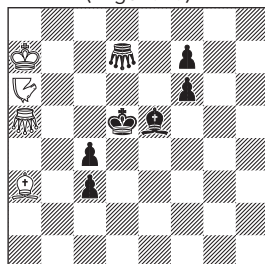
#17 (2+3)
Black plays only to
give double check
Contra-Grasshopper b2
Knight-Bishop hunter f6

F1280 Ken Kousaka
C+ (Japan)



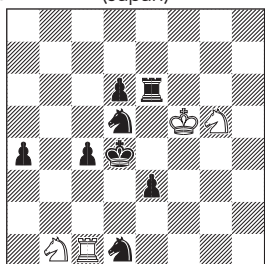
#2 3 Sols (2+3)
1 Total Invisible

F1281 Jorge Kapros
C+ (Argentina)



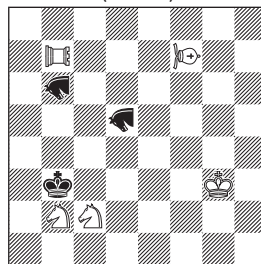
#2 2 Sols (4+7)
Grasshopper a5,d7
Nightrider a6

F1282 Atsuo Hara
C+ (Japan)



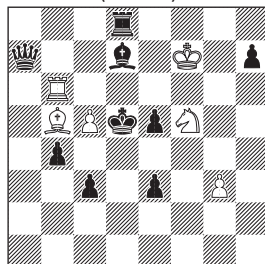
#2 2 Sols (4+8)
Take&Make

F1283 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



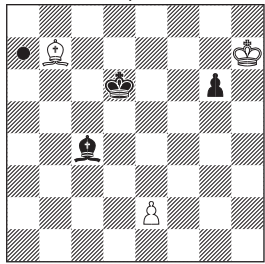
#2 2 Sols (5+3)
Pao b7, Vao f7, Nao b6, d5

F1284 Pierre Tritten
C+ (France)



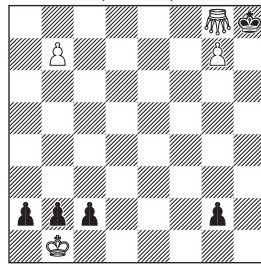
#2 3 Sols (6+9)
Rifle

F1285 Hironori Oikawa
C+ (Japan)



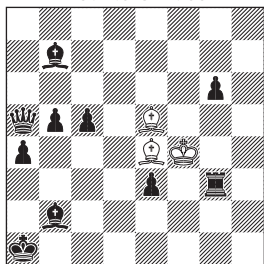
#3 Duplex (3+4)
Imitator a7
AntiAndernach

F1286 Sébastien Luce
C+ (France)



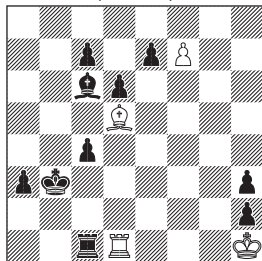
#5 (4+5)
ABC, Malefique Circe
Yggdrasil piece b1, h8
Grasshopper g8

F1287 Themis Argirakopoulos
 (Greece)
 C+ Ded. to S. Luce



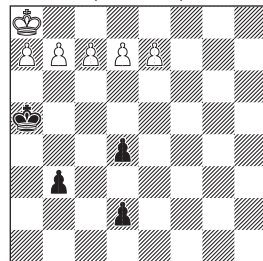
HS#2 (3+10)
 b) bKa8
 Rifle

F1288 Themis Argirakopoulos
 (Greece)
 C+



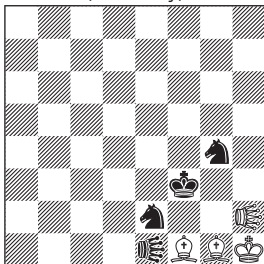
HS#2.5 (4+10)
 b) bKc8
 Diagram AntiCirce

F1289 Eric Huber
 (Romania)
 C+



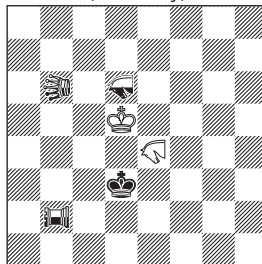
HS#2.5 2 Sols (6+4)
 Anticipés

F1290 Stephan Dietrich
 (Germany)
 C+



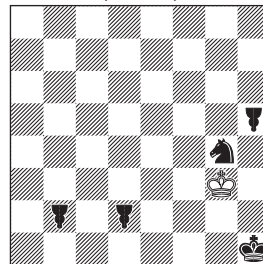
HS#3.5 (4+4)
 Leo h2, e1

F1291 Stephan Dietrich
 (Germany)
 C+



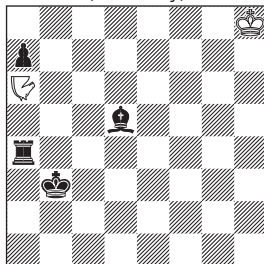
HS#4 (2+1+3)
 b) nSEb6→a1
 Neutral Senora b6
 Neutral Faro b2
 Saltador e4
 Neutral Saltador d6

F1292 Sébastien Luce
 (France)
 C+



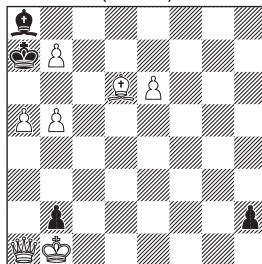
HS#4.5 (1+5)
 Astrolog pieces b2 d2 h5

F1293 Torsten Linß
 (Germany)
 C+



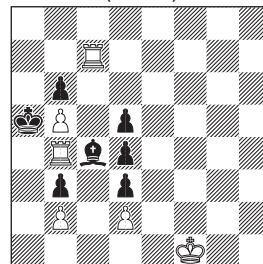
HS#11 (2+4)
 Nightrider a6

F1294 Slobodan Šaletić
 (Serbia)
 C+



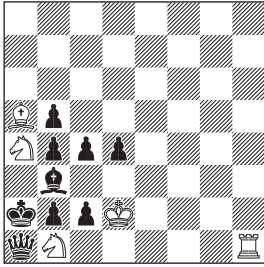
H=2 2 Sols (7+4)

F1295 Slobodan Šaletić
 (Serbia)
 C+



H=3 (6+7)
 b) bPc4

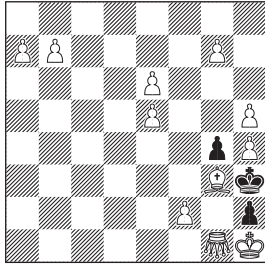
F1296 Aleksandr Pankatyev
C+ (Russia)



H=4 3 Sols

(5+9)

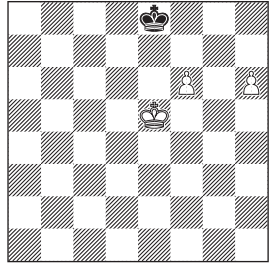
F1297 Sébastien Luce
C+ (France)



(*) SH#7 2 Sols
Grasshopper g1

(11+3)

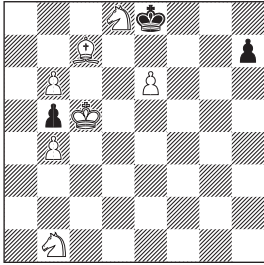
F1298 Chris Feather
C+ (UK)



SH#18
Take&Make
Equipollent Circe

(3+1)

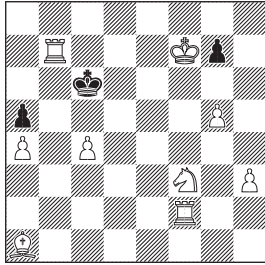
F1299 Ľuboš Kekely
C+ (Slovakia)



SH#21

(7+3)

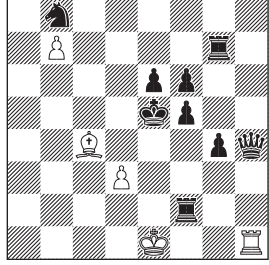
F1300 Ľuboš Kekely
C+ (Slovakia)



SH#23

(9+3)

F1301 Sébastien Luce
C+ (France)

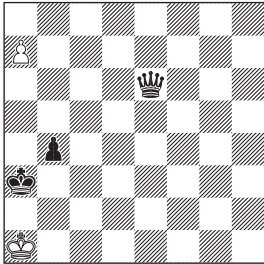


SS#13

(5+9)

Relegation

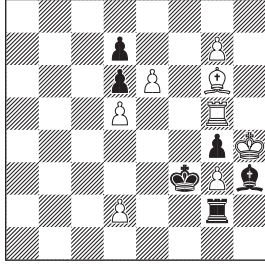
F1302 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



SS#16

(2+3)

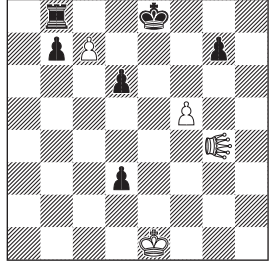
F1303 Mihai Cioflâncă
C+ (Romania)



SH=11

(8+6)

F1304 Sébastien Luce
C+ (France)

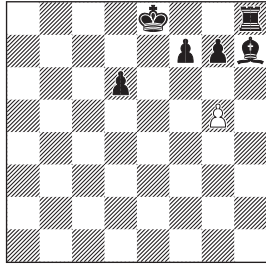


2→SH#2

(4+6)

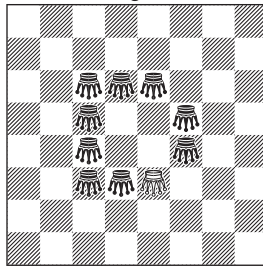
NonStop Equihopper g4
a) Circe b) Vertical Mirror Circe

F1305 Sébastien Luce
C+ (France)



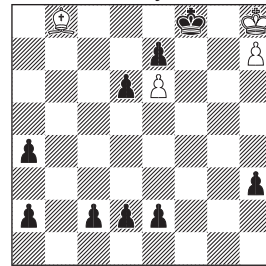
2→ser=5 2 sols (1+6)
Black Monochromatic

F1306 Sébastien Luce
C+ (France)
D as Degradation



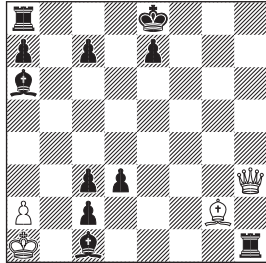
ser==21 (1+9)
AntiCirce, Relegation
Grasshopper 1+9

F1307 Sébastien Luce
C+ ded. to Kekely & Crisan (France)



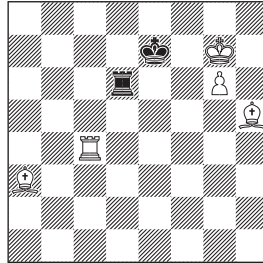
ser==45 (4+9)

F1308 Jean François Carf
C+ (France)



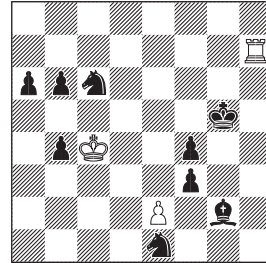
PSS#7 (4+11)

F1309 Jean Carf
C+ (France)



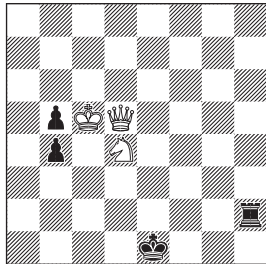
PSS#8 (5+2)

F1310 Pascale Piet
C+ (France)



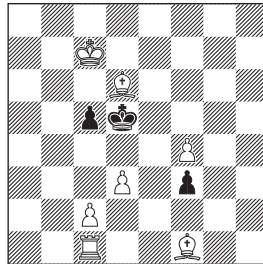
PSS#9 (3+9)

F1311 Jean François Carf
C+ (France)



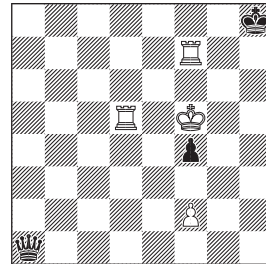
PSS#10 (3+4)

F1312 Pascale Piet
C+ (France)



PSS#10 (7+3)

F1313 Jean Carf
C+ (France)



PSS#11 (4+3)

Fairy

Fairy Editor

Vlaicu Crisan (Romania)

Judge 2022

To be announced

Thanks to all contributors who answered to our appeal: we are able to present 36 originals in the column! Composers, please help me keep the momentum!

Atsuo starts with the only direct mate. In **F1278** there are three twins – which is the unusual link between the solutions? Sébastien holds one quarter of the originals and his long selfmate **F1279** is very easy to solve due to the extremely restrictive condition.

There are seven fairy helpmates. In **F1280** the Total Invisible is twice white and once black. Jorge continues the exploration of the possibilities of the white material N+G+B in **F1281**. In **F1282**, Atsuo realizes the popular theme from the previous WCCT. Don't ask yourself how could the black King be in double check in **F1283** – the legality of the position is not important in fairies. Pierre's exquisite **F1284** shows Rifle Chess in which pieces can capture without moving. Hironori's idea is quite intriguing – can you spot the link between the solutions? In **F1285**, Yggdrasil means "World Tree", it is the symbol of Odin, the god of Nordic mythology. This piece can only be captured, if it is the only of his side. It explains that in the diagram position, no "Yggdrasil" King is in check!

We continue with seven helpselfmates. Themis sent two problems showing the last year Romanian Tzuica theme – which do you like more? There are 6 promotions in Eric's **F1289**. Stephan writes **F1290** was composed for a thematic tournament

requiring any kind of unpins. Look for echo mates in the difficult **F1291**, where the white Saltador must be actively sacrificed at the last move in both solutions. **F1292** shows the Astrolog pieces: this kind of piece changes its colour when it plays on a side of the board. The white King will be mated in a corner in Torsten's superbly constructed **F1293**.

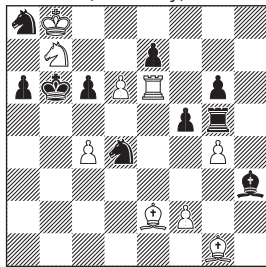
The next three problems are helpstalemates. I am sure you will enjoy Slobodan's compositions, so I will focus on **F1296**. The author writes there are four solutions, but actually two solutions share exactly the same moves in a slightly different order. Was the composer right to send this problem for publication?

Our last 17 problems feature serial play. Don't overlook the set play and the two solutions in **F1297**. In **F1298** Chris shows a long and accurate sequence of moves, with the black King getting mated in the most distant corner. The Slovak expert raised the gauntlet from **F1224**: which setting do you prefer? Curiously, the same two promotions appear also in **F1301**, but for White. **F1302** should be solved in a glance. In the tricky **F1303** a white promotion will deliver the final stalemate. The series will start after two preliminary moves played by the other side in the next two problems, while in **F1306** and **F1307** only White plays to reach a double stalemate position. The last 6 problems are parry-series ending in selfmate and are all composed by the French expert composers.

I wish you good luck and lots of inspiration in finding the solutions. My dear solvers, please send your comments to the problems which make this column so enjoyable to all readers.!

Issue 96 (F1230-)

F1230 Hubert Gockel
C+ (Germany)



#2v (9+10)
Breton adverse

- 1.f4? (2.dxe7[-c6]#) but 1...Bg2!
 1...Bxg4[-d6] **a** 2.c5# **A** (2.Bxd4[-Sa8]+?
 Bxe2[-Bd4]!)
 1...Rxg4[-d6] **b** 2.Bxd4[-Sa8]# **B** (2.c5+?
 Rxf4[-c5]!)
 1...fxg4[-d6] **c** 2.Bxg4[-c6]# **C** (2.Bxd4[-
 Sa8]+?/c5+? Rxc5!)
 1.f3! (2.dxe7[-c6]#)
 1...Bxg4[-d6] **a** 2.Bxd4[-Sa8]# **B** (2.c5+?
 Bxf3[-c5]!)
 1...Rxg4[-d6] **b** 2.c5# **A** (2.Bxd4[-Sa8]+?
 Rxd4[-Be2]!)
 1...fxg4[-d6] **c** 2.fxg4[-c6]# **D**
 1...c5 2.dxe7[-c5]#
 1...exd6[-~] 2.Rxd6[-c6]#
 1...Sc7 2.dxc7[-Sd4]#

Author: (Pure) reciprocal changes plus additional changed mate. Thematic defenses onto same square. White's 1st moves by same piece.

Sugawa: The contrast of the difference in one square is beautiful.

Nakajima: Nice main line and variations.

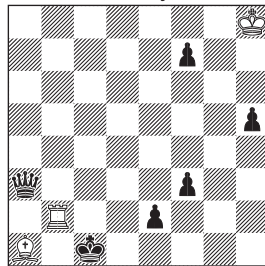
Sunouchi: Magical disappearances are actually full of joy.

Tachioka: Three variations capturing g4 are good.

Crisan: An excellent composition which involved a lot of intensive labor from one of the world's most prominent experts

in Breton. The author kindly revealed one composition trick: the settings with the majority of pieces on white squares look "more friendly" (H. Ahues).

F1231 Ali Okan Pandar
C+ (Turkey)



S#5 (3+6)

Maximummer
b) bKc3

- a) 1.Rb1+! Kd2 2.Rg1 Qf8+ 3.Rg8 Qa3
 4.Bg7 Qf8 5.Bh6+ Qxh6#
 b) 1.Kh7! Qf8 2.Rb5+ Kd2 3.Rg5 Qa3
 4.Bc3+ Qxc3 5.Kh6 Qh8#

Author: White plans to dodge the bQa3-f8+ in two ways: either check first or escape from the check.

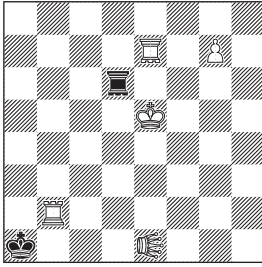
Oikawa: Maximummer was introduced to tsume shogi about 50 years ago, but it isn't composed much now (I think it was last composed about 10 years ago). The movement of both line pieces, especially Black Queen was interesting.

Sugawa: Good use of checks.

Sunouchi: Checks by bishop are effective to control her.

Crisan: In chess composition Maximummer was introduced more than one century ago and is mostly used in selfmates. One of the greatest compositional challenges is to realize the black Queen big star Rundlauf in a S#8 Maximummer with only 4 pieces on board. Anyone to raise the gauntlet?

F1232 Andreas Thoma
C+ (Germany)

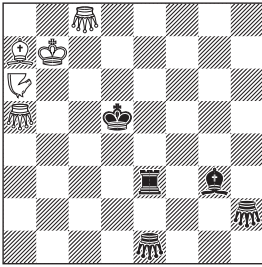


S#6 b) wKd8 (5+2)
Rook-Hopper 1+1 Leo 1+0
AntiCirce

- a) 1.Kd4! Rhd3 2.Kc3 RHb3 3.g8=B Rhd3
4.Ba2 RHb3 5.Rd2 Rhd3 6.Kc2 Kb2#
b) 1.LEe6! RHf6 2.g8=Q Rhd6 3.Qg3
RHf6 4.LEd6 RHc6 5.LEc7 RHc8 6.Qe1+
Kxb2[>Ke8]#

Crisan: In AntiCirce Calvet, after the key in a) the black King can't capture the white Rook and is forced to oscillate with the Rook-Hopper. Both mating positions are using a King contact – which is possible only when the rebirth square of the white King (e1) is occupied. The black Rook-Hopper guards a flight in a) and blocks another flight in b).

F1233 Jorge Kapros
C+ (Argentina)



H#2 2 Sols (5+5)
Grasshoppers 2+2
Nightriders 1+0

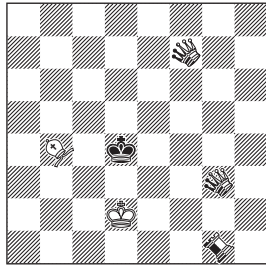
- 1.Re5 Nxc3 2.Ge6 Bc5#
1.Be5 Bxe3 2.Gd6 Nc5#

- Tries:
1.Re6? Nxc3 2.Be5??
1.Bd6? Bxe3 2.Re5??

Oikawa: A smart production of exchange of functions.
Sugawa: I figured out the final position and solved it.
Nakajima: Nice contrast with N and G.
Sunouchi: Nice combination-plays by white fairy pieces.

Tachioka: Good contrast.
Crisan: Black needs to block two flights and can do that in two different ways. However one of the possibilities is ruled out due to the fact the blocker gets captured on white's 1st move, hence the dual avoidance. A crystal clear didactical presentation purely made for enjoyment!

F1234 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



H#2 2 Sols (2+1+3)
Neutral Senora f7, g3
Neutral Faro g1, Loco b4

- 1.nFAg7 nSEg8 2.nSEe6 nSExg7#
1.nFAg5 LOe1 2.nSEg6 LOc3#

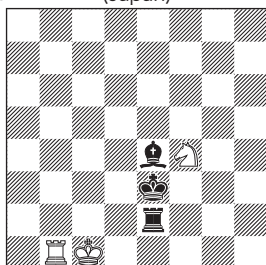
Oikawa: Lay a siege net. It was my first time solving a chess problem using Senora, Faro, Loco, but it was easy to understand. I would like to compose using these.

Sunouchi: Senoras are awful when they surround him.

Tachioka: Difficult performance of pieces.

Crisan: The rather recently invented Argentinean pieces are very powerful. During the Rhodes congress last year it was organized a thematic tournament for h#2-3 with neutral pieces, where the same neutral piece must be played by both sides. Stephan had the very clever idea to use neutral Argentinean pieces. Can anyone realize the theme in both solutions?

F1235 Hironori Oikawa
C+ (Japan)



H#2.5 2 Sols (3+3)
Einstein

- 1...Rb7=B 2.Kf2 Bxe4=R 3.Ke1 Rxe2=Q#
- 1...Kd1 2.Rh2=B Se2=P 3.Bf4=S Rb6=B#

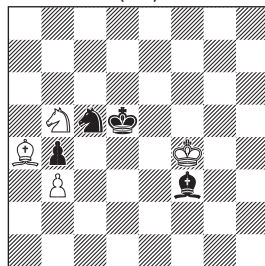
Composer: I hope you like it.

Sugawa: S->P was a blind spot.

Tachioka: Promotion and demotion.

Crisan: The second solution made me instantly smile: a white and a black piece mutually change their places. It seems difficult to double this idea, so the author eventually decided to get another solution where the other white piece mates on e2. Such trade-offs occur quite often during the composing process.

F1236 John Rice
C+ (UK)



H#3 2 Sols (4+4)
Messigny

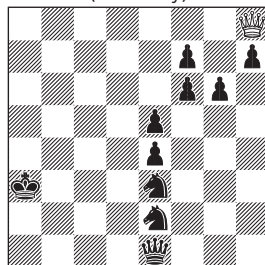
- 1.Be4 Sc3+ 2.Kd4 Ba4 ↔ Be4 3.Se6+ Sc3 ↔ Se6#
- 1.Pb4 ↔ Pb3 bxc5 2.Pb3 ↔ Pc5 Kf5 3.Be4+ Ba4 ↔ Be4#

Oikawa: For a while, Messigny was all the rage in the fairy tsume shogi. Both solutions have a Messigny feel to them. I like the solution of exchanging pawn positions twice.

Sunouchi: I pursued counter checks with Messigny.

Crisan: Amazing how many exchanges of places occur in this deceptively simple setting! All pieces exchange places – what can one expect more? Also the model mates are neatly engineered.

F1237 Reinhardt Fiebig
C+ (Germany)



H#6.5 (1+10)
No WK

1...Qa8+ 2.Kb4 Qxe4+ 3.Kc5 Qxe3+
 4.Kd6 Qxe2 5.Ke7 Qxe5+ 6.Kf8 Qxf6
 7.Qe7 Qh8#

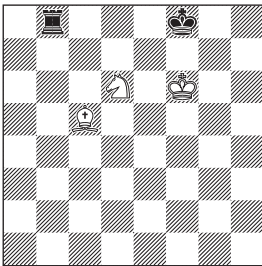
Author: Rundlauf (Q-7), line opening,
 selfblock, model mate

Sunouchi: In what order do you eat the
 candy house?

Tachioka: Q moves cleverly.

Crisan: This can be solved backwards,
 by finding the final mating position first
 and then trying to obtain it. A black Pawn
 must provide a block, hence f8 is the best
 candidate square for the black King. The
 white Queen must subsequently clear the
 line for the black Queen before returning
 to the corner.

F1238 Slobodan Šaletić
 C+ (Serbia)



H=2 (3+2)

b) bRb8→g8
 c) wBc5→g5

- a) 1.Rb7 Sxb7+ 2.Ke8 Ke6=
- b) 1.Rg6+ Kxg6 2.Kg8 Sf7=
- c) 1.Rb7 Kg6 2.Rh7 Kxh7=

Oikawa: Simple composition.

Sugawa: It was fun even for a beginner.

Uchida: c) was a tough one to solve.

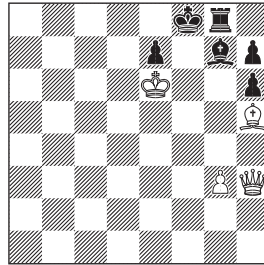
Sunouchi: c) is seemingly maverick in the
 triplets.

Tachioka: Three different stalemates.

Crisan: The black Rook must be obviously
 captured in all phases. It is interesting the
 author managed to find three different

stalemate positions with this reduced
 material.

F1239 Slobodan Šaletić
 C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (4+6)

- 1.Bh8 Bf7 2.Rg7 Qxh6=
- 1.Rh8 Qg4 2.Kg8 Kxe7=

Mizuno: Selfblock and pin of R/B.

Oikawa: Two solutions to pin.

Shiomi: A good problem for beginners like
 me.

Sugawa: I like the first move because it's
 easy to understand.

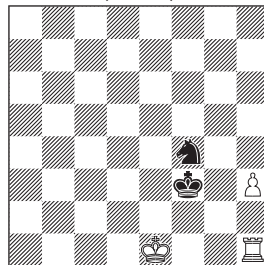
Sunouchi: Heavy queen is a weight to fix
 blacks.

Tachioka: Simple pin-stalemate.

Crisan: The most successful composition:
 8 correct answers! Well done, everyone.

The alternate pins of black pieces make it
 very enjoyable.

F1240 Slobodan Šaletić
 C+ (Serbia)



H=3 (3+2)

b) bPf4

- a) 1.Kg3 0-0 2.Sg2 Rf5 3.Kh4 Kxg2=
 b) 1.Kg2 Rf1 2.f3 Rf2+ 3.Kh1 Kf1=

Oikawa: The difference in how to move Rook to f1 is clearly expressed.

Sugawa: It took me a while to notice the castling.

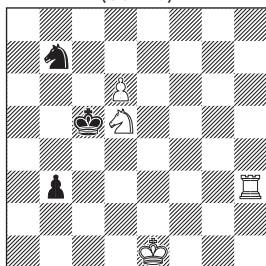
Nakajima: a) was hard to find the solution.

Sunouchi: Nice a simple work for castling and one.

Tachioka: Castling or not.

Crisan: Whenever you see a King on its initial square, look first for the castling! I liked how the author managed to find a second phase by simply replacing a black piece.

F1241 Dragoljub Racić
 C+ (Serbia)



H=3 3 Sols (4+3)

- 1.Kxd6 Sf6 2.Ke7 Rxb3 3.Kf8 Rxb7=
 1.Kb5 Rxb3+ 2.Ka4 Rxb7 3.Ka3 Sc3=
 1.Kc6 Rxb3 2.Kd7 Rxb7+ 3.Kd8 d7=

Oikawa: Rook that moves on the same route. It was very interesting!

Sugawa: It's fun to run in different directions.

Uchida: A good move 1...Sf6.

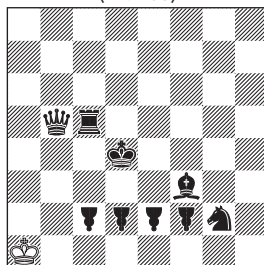
Sunouchi: Kf8 is harder to find than symmetric Ka3.

Tachioka: Good contrast.

Crisan: Both black pieces get captured in all the solutions without moving. When one side's King makes all the moves in the solution is called Durbar theme. Can

anyone show this idea with different White moves?

F1242 Roméo Bedoni
 Sébastien Luce
 C+ (France)



H=4 (1+9)
 Berolina Pawn 0+4
 Breton Chromatique Adverse

1. b1 = Q+ Kxb1 (wQb5) 2. c1 = R+ Kxc1 (wRc5) 3. d1 = B Kxd1 (wBf3) 4. e1 = S Kxe1 (wSg2) =

Authors: AUW with a white Rex Solus! White King has to capture the four promoted pieces to provoke successively the change of colour of Queen, Rook, Bishop, Knight. Easy to solve!

Sugawa: This is easy but fun!

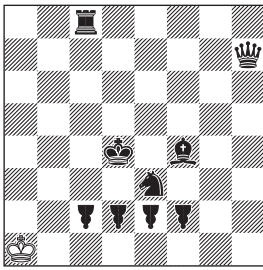
Sunouchi: It's cheerful such a mix of fairy makes it easy.

Tachioka: Very funny AUW.

Crisan: Unfortunately, this setting is cooked, for instance: 1. b1 = Q+ Kxb1 (wQb5) 2. f1 = R+ Qxf1 (wRc5) 3. c1 = S Qxc1 (wSg2) 4. e1 = B Sxe1 (wBf3) =

The authors sent the following correction:

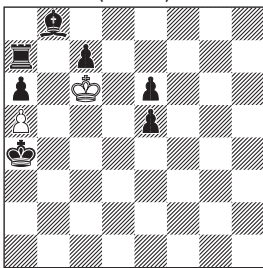
F1242v Roméo Bedoni
Sébastien Luce
C+ (France)



H=4 (1+9)
(0+4) Berolina Pawn
Breton Chromatique Adverse

1. b1=Q+ Kxb1 (wQh7) 2. c1=R+
Kxc1(wRc8) 3. d1=S Kxd1(wSe3) 4. e1=B
Kxe1(wBf4)=

F1243 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



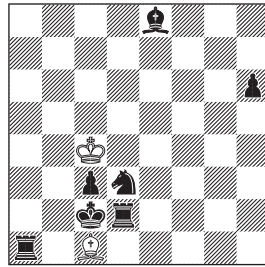
H=5 (2+7)

1. Ra8 Kd7 2. Kb5 Kxe6 3. Kc6 Kxe5 4. Kb7
Kd5 5. Ka7 Kc6=

Author: White King Rundlauf.
Mizuno: Ks' passing each other makes a
unique solution.
Oikawa: Stow the Black King. The White
King's round trip is a good move.
Sugawa: The King's subtle distance is
numbing.
Sunouchi: Kings walk around until they
pass each other.
Tachioka: Easy to solve.
Crisan: I like how both black officers are
getting blocked. Pity the black Bishop

doesn't move in the solution.

F1244 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)

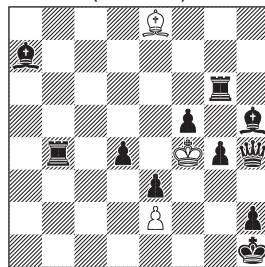


H=5 (2+7)

1. Kb1 Bxd2 2. Ka2 Kxd3 3. Bg6+ Kc4 4. Bb1
Bxh6 5. c2 Bc1=

Sunouchi: White king and bishop come
back after meals.
Tachioka: Switchback of white pieces.
Crisan: This shows a similar stalemate
ending like the previous one, with the
white Bishop blocking the pawn. Which do
you like more and why?

F1245 Mihaiu Cioflâncă
C+ (Romania)



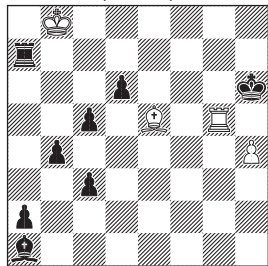
HS#5 2 Sols (3+11)

1. Ba4 Rb5 2. Bd1 d3 3. exd3 e2 4. Bxe2 Bg1
5. Bf3+ gxf3#
1. Bd7 Qe1 2. Bxf5 g3 3. Bh3 Rg4+ 4. Kf3
Qg1 5. Bg2+ Qxg2#

Sunouchi: I fully enjoyed excellent and
eccentric solutions.
Crisan: Even after discovering that Black

must block g1, there is still a lot of work to do! Two accurate sequence of moves, with the subtle interplay dictating the order.

Alexander Pankratyev
F1246 Anatoly Kirichenko (†)
 C+ (Russia)



HS#5 (4+8)

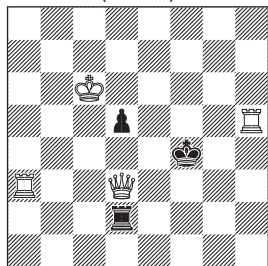
1. Bxc3 Rh7 2. Bxb4 Bh8 3. Bxc5 a1=Q
 4. Bxd6 Qg7 5. Bf8! Qxf8#

Sunouchi: Duplicated queen and rook are forced to mate.

Tachioka: Q blocks two lines.

Crisan: Two long moves – the first edge-to-edge, the second corner-to-corner – are followed by the quiet pin of the promoted black Queen forcing the mate due to zugzwang.

Alexander Pankratyev
F1247 Anatoly Kirichenko (†)
 C+ (Russia)



HS#5.5 (4+3)

1...d4 2. Qc3 d3 3. Kb5 Rb2+ 4. Ka4 d2
 5. Ra5 d1=R 6. Qd4+ Rxd4#

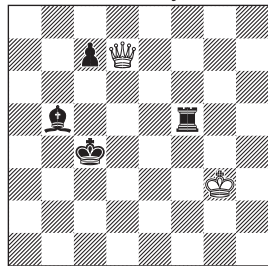
Sunouchi: Rader of both rooks is put

around the board.

Tachioka: Mate by 4 Rs.

Crisan: Another picturesque final position, after a foresight key move.

F1248 Torsten Linß
 C+ (Germany)



HS#7 (2+4)

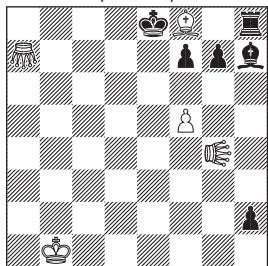
1. Qd2 Rf1 2. Qf2 Kd5 3. Kf4 Kc6 4. Ke5 Kd7
 5. Qf7+ Kd8 6. Ke6 Rf5 7. Qd7+ Bxd7#

Author: Clearance with switchback by bR, round trip of the wQ.

Sunouchi: I spent hours to find Rundlauf and switchback.

Crisan: Only one solver managed to find this exquisite sequence ending with an ideal mate. The perfect economy and the artistic presentation are registered trademark for Torsten's beautiful compositions.

F1249 Sébastien Luce
 C+ (France)



SH#8 (5+6)

Grasshopper a7
 Equihopper g4

1.h1=G 2.Ga1 3.Ga8 4.Gxf8 5.Gh6 6.0-0
7.Gh8 8.g5 fxg6 ep.#

Author: Valladao and four corners by the Grasshopper of promotion to allow selfblock of h8.

Nakajima: Excellent moving black grasshopper and finishing by en passant.

Sunouchi: Nifty and enjoyable for Valladao and looping G.

Tachioka: Castling, en passant, and promotion to GH.

Crisan: I have never seen before the four corners by the same piece mixed with Valladao! This is one of those problems which create the urge to compose. Bravo!

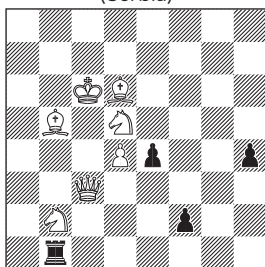
(where it was proven to be in the previous solution) to some other (unknown) field. Thus, we know that the king is not on h1 anymore. The rook now takes the journey in the reverse direction, to again eliminate all possible black king' s squares but one: 1.Rg1 2.Rg7 3.Re7 4.Re5 5.Rh5 6.Rh8 7.Ra8 8.Ra2 Qc1#

All the possible candidates from the list given above are eliminated, but a1 and h1. Since the king is not on h1, it must be on a1, and thus Qc1 is checkmate. The first problem with invisible pieces where the twin is formed by moving an invisible!

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: An amazing demonstration of virtuosity and out-of-the-box thinking! The solution looks like a detective story: the black Rook progressively eliminates all but one suspect squares revealing the position of the invisible king. Thanks a lot, Bojan, for submitting this outstanding composition to our column!

F1250 Bojan Bašić
(Serbia)



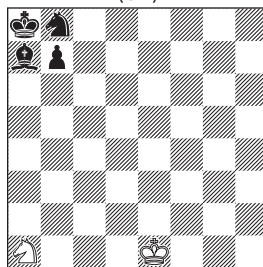
SH#8 (7+4)
b) I?? --> ??
Invisible 0+1

a) 1.Ra1 2.Ra8 3.Rh8 4.Rh5 5.Re5 6.Re7
7.Rg7 8.Rg1 Qh3#

Explanation: obviously, the black invisible is the king. It can stand on: a1, a2, a7, a8, c8, d8, e6, e8, f5, f7, g1, g2, g4, g5, g6, g7, g8, h1, h5, h6, h7 and h8 (and, theoretically, on some other squares where it would be in check, but the first move by the rook proves that this is not the case). The journey by the rook proves that the king is on h1 (since all the other possible squares are visited or crossed by the rook), and thus Qh3 is checkmate.

b) By twinning, the king is moved from h1

F1251 Chris Feather
C+ (UK)



SH#9 (2+4)
b/c) wSa1→h3/b2
Take&Make
Equipollent Circe

a) 1.b5 2.b4 3.b3 4.b2 5.bxa1-b3[Sa2]
6.bxa2-b4[Sa3] 7.bxa3-b5[Sa4] 8.bxa4-
b6[Sa5] 9.bxa5-b7[Sa6] Sc7#
b) 1.Sc6 2.Sd4 3.Se2 4.Sg1 5.Sxh3-
f2[Sg4] 6.Sxg4-e3[Sf5] 7.Sxf5-d4[Se6]
8.Sc6 9.Sb8 Sc7#

c) 1.Be3 2.Bc1 3.Bxb2-d3[Sc4] 4.Be4 5.Bd5 6.Bxc4-b6[Sa5] 7.Ba7 8.b6 9.bxa5-b7[Sa6] Sc7#

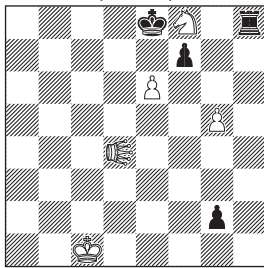
Author: Round trips. This is the best of the four problems, I think.

Sunouchi: Bishop is the most problematic in the 3 carriers.

Tachioka: (c) was irregular and difficult.

Crisan: White must somehow be able to play the Knight on c7. The black blockers must therefore leave their ideal placement to bring the white Knight closer. Amazingly all the routes are unique in each phase! Only Chris is able to do something like that on an open board.

F1252 Sébastien Luce
C+ (France)



SH#10 (5+4)
NonStop Equihopper d4

1.g1=S 2.Sh3 3.Sf4 4.Sxe6 5.Sxf8 6.Sh7 7.0-0 8.Kh8 9.Rg8 10.f5 gxf6 ep. #

Author: Black Knight of promotion has to capture e6 before to capture f8, to allow castling (if not, prohibited because of the control of f8 by Equihopper d4).

Nakajima: After I found the solution for F1249, I immediately found the solution for F1252. I like both problems!

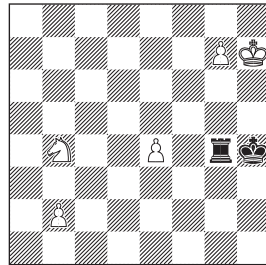
Sunouchi: Smart and intelligent for Valladao and skipping S.

Tachioka: Promotion to S is unexpected.

Crisan: The next challenge for the composers: try to show a similar idea

using the long castling!

F1253 Jean Carf
C+ (France)



PSS#10 (5+2)

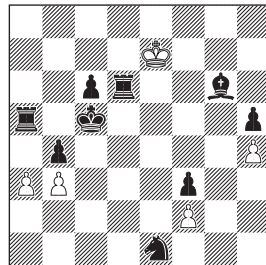
1.Sc6 2.b4 3.b5 4.b6 5.b7 6.b8=Q 7.Qh2+ Kg5 8.g8=Q+ Kf6 9.Qf2+ Rf4 10.Qh4+ Rxh4#

Sunouchi: Men on b-file suggest halfway before the check-rush.

Tachioka: Qf2 is good.

Crisan: The key anticipatorily guards two distant flights – a good idea shown in miniature.

F1254 Jean Carf
C+ (France & Slovakia)



PSS#26 (5+9)

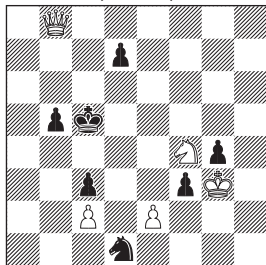
1.Kf8 2.Kg7 3.Kh6 4.Kg5 5.Kf4 6.Kg3 7.Kh2 8.Kg1 9.Kf1 10.Kxe1 and back 11.Kf1 12.Kg1 13.Kh2 14.Kg3 15.Kxf3 16.Kf4 17.Kg5 18.f4 19.f5 20.fxg6 clearing of the line for rook 21.g7 22.g8=Q 23.Qb8 24.Qxb4+ Kd5 25.Qc4+ Ke5 26.Qe4+ Kxe4#

Sunouchi: Orbits are easy to find in a wide range of spectacle.

Tachioka: Long but easy.

Crisan: Not too difficult, once the mating spot is discovered. I find amusing the black King' s move on the battery line.

F1255 Pascale Piet
C+ (France)



PSS=9 (5+7)

1.Sd5 2.Kf4 3.Ke4 4.Kd3 5.Qb6+ Kxd5
6.e4+ Ke5 7.Qd8 8.Qe7+ Kf4 9.Qe5+
Kxe5=

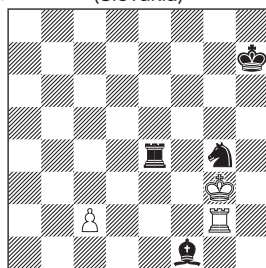
Author: Meredith. Model stalemate.

Sunouchi: The gate on f4 is for kings to enter and no to escape.

Tachioka: Qd8 is good.

Crisan: The active sacrifices of white figures lead to a stalemate in the middle of the board with the white pawn blocked by the black King. Another convincing demonstration of parry-series possibilities!

F1256 Ľuboš Kekely
C+ (Slovakia)



PSS=13 (3+4)

5.c8=Q 6.Qxg4 7.Kf2 8.Qg8+ Kh6 9.Qg7+
Kh5 10.Qg6+ Kh4 11.Qg5+ Kh3 12.Rh2+
Kxh2 13.Qg2+ Bxg2=

Author: Miniature. Excelsior. Systematic movement. Ideal stalemate.

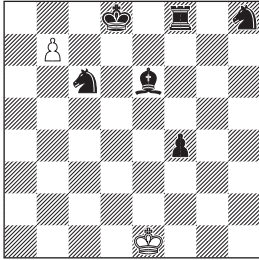
Sunouchi: How to equip an elevator to carry black king down.

Tachioka: Looked for the unique solution.

Crisan: All white pieces are active. The solution is very attractive and could serve as a good starting point for more elaborate compositions.

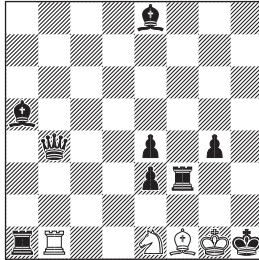
I am very happy to welcome a record number of 8 solvers. My congratulations to Sunouchi and Hajime for your brilliant set of solutions and pertinent comments! It is a delight to see how you are able to grasp so many problems from the fairy column. My thanks go to Takuji and Hironori for the consistent solving and drawing the analogies with tsume shogi – Western composers will surely be curious to learn more. Well done, everyone, and let' s all do our best to completely remove the editor' s devastating remark "Nobody could solve this" !

R329 Andreas Thoma
(Germany)



-4 & #1 (2+6)
Klan Retractor
AntiCirce

R330 Andreas Thoma
(Germany)



-5 & #1 (4+9)
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan
No Forward Defense

Retro

Retro Editor

Naoki Matsuzaki (松崎直樹)

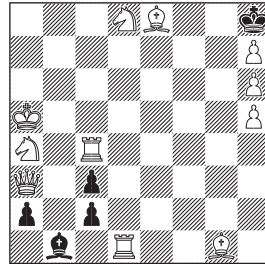
Judge 2021-2022

Vlaicu Crisan (Romania)

☆今回は Retractor が 2 作です。R329 は盤上の黒駒のうち動くのは一つだけで、白駒を入手できるように再生位置に戻します。8 段目の黒駒があるマス目の色が手がかりになります。黒は再生位置の白駒を取ってダブルチェックした手を戻すことにはなりますが、そのときに戻る場所が限定されます。R330 は e1 を空けて詰ますのですが、その際に黒駒が e1 に利かないようにします。序盤は同種の黒駒を逆算し続けて飽和させます。なお、黒の手は三手目まで順不同です。R330 の方が解きやすいと思いますので、こちらだけでも挑戦してみてください。

Issue 96 (R322-326)

R322 Andreas Thoma
(Germany)



-6 & R#1 (11+5)
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan + Circe

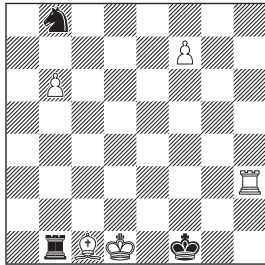
- 1. e7-e8=B b2-b1=B
 - 2. e6-e7 b3-b2
 - 3. e5-e6 b4-b3
 - 4. e4-e5 b5-b4
 - 5. e2-e4 b7-b5
 - 6. d2xQe3(Pe2)
- & 1. Sxb7(Sb1, Pb7) Qc5#

R# なので途中白からの一手詰が生じないように進める。例えば d1 や g1 を空けてしまおうと失敗する。黒駒が足りないのでは白は駒取りを戻す必要があるのだが、このルールでは白黒双方の再生位置に駒がある場合に可能となる。既に d8 に白駒があるので、あと

は初形の白駒があれば bQ を戻すことができる。黒の逆算できる手が限られており、P を戻し続けることになる。最後は bQ が wK に利くよう再生位置の d8 を空けるのだが、駒を取らずに動かすと d8 に戻れて詰まないため、駒を取って再生する。P が初形位置から最奥まで進んで成る双方の Excelsior がテーマである。

Wenda: The clever combination Circe + Antircirce + fw. stipulation r#1 creates the fine task of white and black retro-excelsior. This seems to be a novelty in the field of defensive retractor. At the end White must not capture bQc5 while the Q would be reborn on d8 due to Circe.

R323 Andreas Thoma
(Germany)



-4 & S#1 (5+3)
Klan Retractor
AntiCirce Cheylan

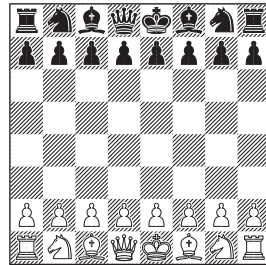
- 1. Bb2xQd4(Bc1)
- d2xBc1=S/Sd3xBc1(Sb8)+
- 2. Bc7xSb8(Bc1) S~xBc1(Sb8)+
- 3. Bf2xSe1(Bc1) Sc1-~+
- 4. Rg3-h3
- & 1. Rg1+ Ke2#

R と Q でダブルチェックした局面に戻すと、黒が駒を取って両方の利きを開けた手に限定される。マス目の色から c1 の駒が取

られたことになり、白に都合のいいように B とする。次に R がチェックした局面に戻すと、bR を縦に動かしたのではなく、bS が a8 から白駒を取って再生位置を空けてチェックしたのではないので、再度 c1 の駒を取ってチェックした形に限定される。その後 bS を e1 に戻すことで、wK が駒を取って逃げられなくすると同時に c2 にも利かしている。最後は wR でチェックして bK が逃げて詰む。

Wenda: A tricky puzzle with an unexpected KK-mate.

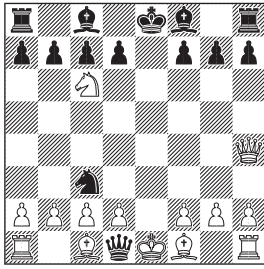
R324 Naotsugu Yoshida
吉田 直嗣



Mate after 10.0 moves(16+16)
Game score is "anagrammatic"
i.e. a series of black moves
is a permutation of white moves.
White's 10th move is to h-file.

- 1. Sc3 Sc6 2. Sd5 Sd4 3. Sxe7 Sxe2 4. Sxe2 Sxe7 5. Sd4 Sd5 6. Qh5 Qh4 7. Qd1 Qg4 8. Sc6 Qh5 9. Qg4 Sc3 10. Qh4 Qd1#

R324-sol



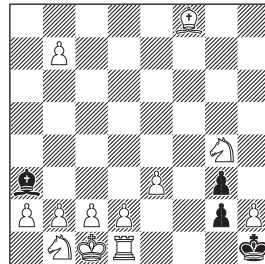
白黒の指した手の表記が順序の違いを除き同一になるという条件下での詰みを求める問題。着手制限があることで手順が論理的に絞り込めるようになっていく。条件からPは不動と考えられるが、Sだけでは詰まないの、まずSでPを取ってQが動けるようにする。最後にbSがd1に利くよう、Kの前のPを取った後Sで取り返し、相手のSが来た場所を逆にたどる。Qは最初斜めに動くので、wQは白マス、bQは黒マスに動く。黒の最終手はQd1なのでwQも一度d1に戻る必要がある。斜めに戻って斜めに出ていくしかないの、wQは三回白マスを動いた後で黒マスに動くことになる。白の10手目は条件からSでなくQの手であり、黒マスなのでh4と確定する。残りはd1とh4の両方から1手で移動できる白マスなのでg4とh5と分かる。Sの着手を全て終わらせてからQを連続で動かそうとするとQ同士が干渉してしまうので、Sの最終手のタイミングをずらしてQを連続で動かせるようにする。

作者：本作の元ネタは、一乗谷辭象作 (= 拙作) の推理将棋「アナグラムな対局」30手 (WFP 作品展 39-12) です。これをチェスでやったら何手かかるか? 当初 12, 13 手ぐらいかかることを予想しましたが望外に短縮できました。

☆ Web Fairy Paradise (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfp.html>)

にて PDF ファイルが公開されています。

R325 Klaus Wenda (Austria)



-5 & S#1 (12+4)

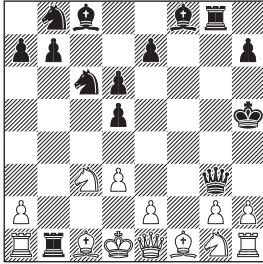
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan

- 1. b5xa6ep(Pa2)! a7-a5
 - 2. Sb4xRa2(Sb1) zugzwang Kg1-h1
 - 3. 0-0-0+ Kh1-g1
 - 4. f7-f8=B Kg1-h1
 - 5. Sf2-g4
- & 1. 0-0-0+ Ra1#

まずアンパッサンを戻して a2 を空け、そこに黒駒を逆算する。黒の手を限定する必要上、wS の位置は b4 で、黒駒は Q でなく R となる。黒がチェックされた局面になるので白がキャスリングを戻すと、黒は bK が g1-h1 を往復できるのみとなる。プロモーションを戻して wP を e8 に利かし、bK が駒を取って逃げるのを防ぐ。wS を h1 に利かしてから再度キャスリングでチェックすると、黒は再生位置の a1 に駒を動かすしかなく、詰みとなる。

Author: Valladao: 1x ep-uncapture, 1x minor unpromotion, 1x castling in the white retro play. In the forward-play white is castling again and gives mate. Tested with Pacemaker G=5, result: no cooks, no duals

R326 Ivan Denkovski
C+ (North Macedonia)



Proof Game 19.0 (13+14)

1. f4 c5 2. f5 c4 3. f6 c3 4. fxg7 Sf6 5. g8=Q cxb2 6. Qg4 Rg8 7. Qe6 fxe6 8. c4 Kf7 9. c5 Kg6 10. c6 Kh5 11. c7 Sc6 12. Sc3 Rb8 13. cxb8=Q b1=R 14. Qd6 Qc7 15. Qd5+ exd5 16. d3 Qg3+ 17. Kd2 d6 18. Qe1 Sd7 19. Kd1 Sdb8

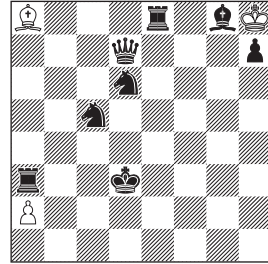
bRa8 が動かずに取られたとすると白の手数が合わないので bSb8 は動いている。bS の合計手数を計算すると、bSg8 が b8 に来るのが最短となる。bRb1 が成駒でないとする、R が遠回りするか、S と B が余分な手を指すかだが、いずれも手数が合わない。したがって bPc7 が R に成り、bRa8 は b8 で取られることになる。bPf7 が e6 と d5 で駒を取る、wP が二つ成っている。手数から取られるのは成駒で、g8->e6 b8->d5 の順となる。途中 wQb8-d6-d5 と bQd8-c7-g3 が干渉するので、予め Sc3 として黒が手詰まりにならないようにする。最後に wK と wQ が入れ替わる。

太刀岡 : Sc3 のタイミングが絶妙。Qb8 を自陣の Q と入れ替える手順でも面白そう。
吉田 : d5 への捨駒選びが悩ましかった
Author: Ceriani-Frolkin theme (twice), Phoenix theme, exchange of places of royal couple, impostor unit.

H コース

(Continued from p.26)

H1314 Aleksandr Pankratiev
Kirichenko Anatoly
C+ (Russia)



H#6 (3+8)

- 1.Raxa8 a4 2.Ke2 a5 3.Kf1 a6 4.Re2 a7 5.Rf8 a8=Q 6.Rff2 Qh1#

●白 B だけでは読みそうもない形。P を成るのが本線というのは分かりますが、作意を特定するのは大変だったようです。難解作。

太刀岡 : 作意はシンプルだが、紛れが多く大変難しかった。

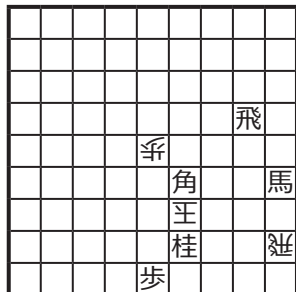
●白 B が後の白 Q の通り道を遮らないように…という理屈で h1B を a8 に捨てる逆算を入れられないか? と思いましたが、余詰多数で無理でした。

Sunouchi : Immovable pieces misled me into upper ranks.

Oikawa : Self-block with 2 Black Rooks. The last move of the corner-to-corner feels good.

TF : Black' s first move is obvious but very nice! The most difficult Helpmate in this issue.

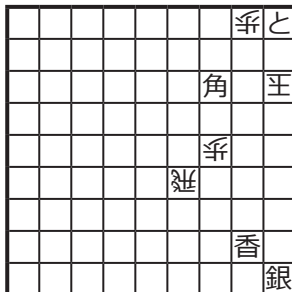
U315 FUJIWARA Toshimasa
藤原俊雅



▲ 金

詰将棋 2解

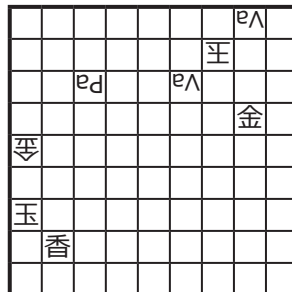
U316 INOUE Tetsuya
井上徹也



▲ なし ▼歩

詰将棋 (玉方持駒制限)

U317 UEDA Yoshikazu
上田吉一



▲ G

協力自玉詰 6手
Pao 73, Vao 21,43
G=Grasshopper

Shogi

Shogi Editor

AIBA Takehiro (会場健大)

Judge 2021-2023

TACHIOKA Hajime (太刀岡甫)

【Grasshopper】Qの筋で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

【Pao】Chinese pieceの一つ。Rのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

【Vao】Chinese pieceの一つ。Bのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

Issue 96 (U307-310)

☆ U305について、作意を「46 銀、55 玉、56 香、54 玉、55 銀まで5手」と記載してしまいましたが、これは誤りで、「X、21 飛、59 香、29 玉、56 香まで5手」が正しい作意でした。

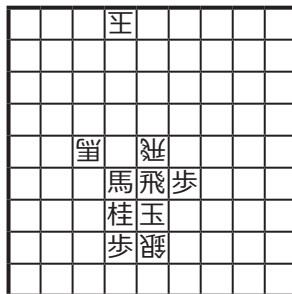
誤った記載のうち、最終手の55 銀は不可能な着手です。

☆これは投稿の再確認を怠り、解答をもとに作稿してしまったことによるもので、申し開きのしようもない失態です。

☆こういう態度で担当を続けるのは、作者にも解答者にも大変失礼なことだと深く反省しています。大変申し訳ありませんでした。

☆すぐではなくともいいのですが、将来的に担当を交代してくださる方がいらっしゃればご連絡ください。

U307 FUJIWARA Toshimasa
藤原俊雅



▲ 金

協力自玉詰 10手
b) 61 玉→73

a)

51 金、62 玉、52 金、同飛、
53 飛成、同馬、84 馬、63 玉、
75 桂、同馬迄 10 手。

b)

83 金、74 玉、84 金、同馬、
75 馬、同飛、54 飛、63 玉、
55 桂、同飛迄 10 手。

作者：Magnet move を使って Battery を構成
するところがメインテーマ。桂を左右に跳ね分
けて大駒が Switchback するあたりでは、初形
との対比という意味でも上手くいった。対照性
に強くこだわった作品。

☆どちらの解も初手は腹金で、3 手目はそれを
引く王手。a では 4 手目に飛車で取って 5 手目
にそれを追いかける形で飛車成をし、b では 4
手目馬で取って 5 手目馬で追いかける。ここが
2 つのマグネットに対比になっている。ここま
でどちらにおいても詰み上がりのためのバッ
テリーが完成。続いて、a でも b でも捨てなかつ
たほうの大駒で玉を動かし、桂跳ねを取って
バッテリーを開けば収束。

☆ 1 つの手もゆるがせにしない対照性の表現で
完璧。

須川：協力自玉詰で目新しい魅せ方ですね。う
まく出来ている。

太刀岡：長い手数でパッチリ対比されている。

吉田：両王手バッテリーのスペースを如何につ
くるか。

黒川：配置の意味を考えて詰め上がりにたどり
着く。無駄駒がなくてすっきり。

井上：これだけ長い手順なのに構成要素全てが
対比になっているのは奇跡的。

及川：バッテリーを構築し、スイッチバック入
りの両王手で華麗に着地。バッテリーの組み合
わせと桂の着手の対照がさらりと綺麗に実現さ
れており、見事と言うしかない。

U308 UCHIDA Akira

内田 昭



▲ 歩 ▼ なし

ブルーゲーム 12 手

76 歩、44 歩、同角、34 歩、
88 角、55 角、46 歩、同角、
44 歩、43 歩、同歩生、24 角迄 12 手。

☆本作、残念ながら余詰んでいた。租検申し訳
ありません。

余詰解：46 歩、34 歩、45 歩、44 角、同歩、
32 金、42 角、同金、43 歩生、41 金、76 歩、
24 角など。

☆ただし筋のよい手順だったからか、作意解の
みで余詰に気づかなかった解答が多かった。作
意解者からは好評。

須川（作意解）：不思議な感覚で解くのが楽し
かったです。

太刀岡（作意解）：角の行き違いは面白いが、
4 筋の歩を取るのは頻出なのでもうひとひねり
したい。

原岡（作意解）：後手角の動き面白い。

黒川（作意解）：歩を打ってすぐに合わせるの
が意外な展開。

水野（余詰解）：非限定だらけなので作意が分
かりません。

井上（余詰解）：作意にしてはおかしい。何か
勘違いをしているか。

☆本作の解答者 9 名のうち、5 名が作意解、1
名が作意解 + 余詰指摘、3 名が余詰解だった。

U309 URASHIMA Darou

浦島駄郎

					玉	
					玉	

▲ 桂歩

- a) にせ背面詰 9手
- b) 持駒 香歩6
にせ背面詰 13手

- a)
- 38歩、同玉、37桂、46玉、
45桂、54玉、53桂生、62玉、
61桂生迄9手。
- b)
- 38歩、同玉、37歩、同玉、
36歩、同玉、35歩、同玉、
34歩、同玉、33歩、同玉、
32香迄13手。

須川：U310の練習問題ですね。

☆そのとおりで、ルールになじんでいただけよう。

☆aは桂と玉がともに盤上を昇っていくこのルールならではの趣向。bはaよりわかりやすい手順と言えるが、310の収束の予習になっている。

九尾：aは面白い手順。ルール名がしっくりこない？

黒川：初めてのルールだったが、ルールさえ理解すれば客寄せ級。

U310 URASHIMA Darou

浦島駄郎

					玉	
			歩		と	
			ア	ア	歩	歩
				ア	皇	香
				ア	ア	香
				ア	ア	香
				ア		歩
				ア		歩
				と	と	玉

▲ なし

にせ背面詰 61手

- 18歩、同玉、28と、同玉、
27桂、同成桂、同香、同玉、
26桂、同と、同香、同玉、
25桂、同成桂、同香、同玉、
24桂、同と、同歩、同玉、
34歩成、同玉、43歩生、同と寄、
33歩、同と、同と、35玉、
34歩、同と、同と、36玉、
35歩、同と、同と、37玉、
36歩、同と、同と、38玉、
37歩、同と、同と、39玉、
48と、同と、38歩、同と、
同と、同玉、37歩、同玉、
36歩、同玉、35歩、同玉、3
4歩、同玉、33歩、同玉、
32香迄61手。

☆こちらはカの入ったウグイス煙の作品。玉を下段に落とす序がなかなか読みづらい手順で楽しんでいただけよう。気の利いた43歩生からは比較的わかりやすい往復の趣向に入るが、48とのスパイスを利かせて最後まで手順を引き締めている。

須川：意外と見落とす手があり苦労しましたが、練習問題のおかげで解くことができました。ルール名はもう一考欲しい(笑)

太刀岡：易しいが頭がこんがらがる。珍しいルールで最短煙を作る技術がすごい。

黒川：43歩生や48とのあたりに作りのうまさを感じる。

Problem Paradise

Informal Tourney Award

Retro 2008-2009

Judge: Hans Gruber

List of participating problems

Issue 45: I-III/2008 R147, R148 (version: issue 47, page 19), R149, R150 (cook: issue 47, page 20), R151 [5].

Issue 46: IV-VI/2008 R152 [1].

Issue 47: VII-IX/2008 R153, R154 (cooked, see below), R155 [3].

Issue 48: X-XII/2008 R156, R157, R158 (cooked, see below) [3].

Issue 49: I-III/2009 R159, R160 (cook: issue 52, page 25) [2].

Issue 50: IV-VI/2009 R161, R162 [2].

Issue 51: VII-IX/2009 R163 (cooked, see below) [1].

Issue 52: X-XII/2009 R164, R165 (cooked, see below), R166 (cooked, see below), R167 [4].

Naoki Matsuzaki, the current Retro editor of *Problem Paradise* asked me to act as a substitute judge for the Problem Paradise Informal Tourney Retro 2008-2009. I was glad to help the journal to update its records.

A total of 21 problems were to be judged, which belonged to the following groups.

- 8 orthodox Proof Games (R147, R148/ R148v, R149, R152, R153, R159, R161, R164)
- 7 fairy Proof Games (R150, R154, R158, R160, R163, R165, R166)
- 3 Retractors (R155, R156, R157)
- 3 other Retros (R151, R162, R167)

7 of the orthodox Proof Games (all except R164) were computer-tested correct, but unfortunately all fairy Proof Games were cooked.

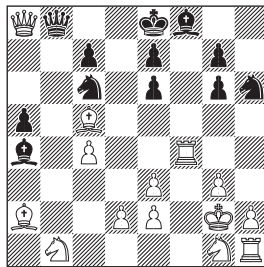
The cooks of **R154** (dual 3.. Sxe3-e4 4.Qh6 Sg3 5.hxg3-e2 gxf6.h2 ...), **R158** (1.Sh3 Sf6 2.g4 Se4 3.Bg2 Sxd2 4.Bxb7 Se4 5.Rf1 Sa6 6.Qxd7+ Kxd7 7.Be3 Sxf2 8.Sd2 Se4 9.Rf6 Sb8 10.Bxa8 Ba6 11.Bd5 Bxe2 12.Be6+ fxe6 13.c4 Bxg4 14.Sf3 Sc6 15.Bd2 Qa8 16.Rd1 Qe8 17.Sf4 Qh5 18.Rg6 Qa5 19.Bc3+ Qd5 20.cxd5 Sc5 21.Be5 Sa6 22.Rd4 Sab8 23.Rc4 Sd4 24.Sg1; the diagram even can be reached in 22.5 moves (is this a real cook?): 1.Sh3 Sf6 2.g4 Se4 3.Bg2 Sxd2 4.Bxb7 Se4 5.Bf4 Sxf2 6.Rf1 Se4 7.Be5 Sd6 8.Rf6 Sf5 9.Bxa8 Ba6 10.Sd2 Bxe2 11.c4 Bxg4 12.Sf3 Sa6 13.Qxd7+ Kxd7 14.Bd5 Qa8 15.Be6+ fxe6 16.Rd1+ Qd5 17.cxd5 Sb8 18.Rd4 Sa6 19.Rc4 Sb8 20.Rh6 Sd4 21.Sf4 Sf5 22.Rg6 Sd4 23.Sg1; found by Dirk Borst), **R163** (1.f3=BP d6=WP 2.dxe7 Qd5=WQ 3.exf8=S f6=WP 4.Qxg8 g5 5.Qxh8=BQ Qxf6 6.Kf2 Sd7=WS 7.Sxf6=BS Bd7 8.Kxf3 Kf7

9.Kf2 Rd8=WR 10.Ke1 Be8 11.Rd3=BR Kg8 12.Sg6=BS; found by Paul Raican), **R165** (1.d3 Sf6 2.e4 d5 3.Bg5 dxe4 4.f4 exf3 e.p. 5.Bxf6 fvg2 6.Qf3 Sd7 7.Qxb7 gxf1=S 8.Qb3 Sxf6 9.Qxf7+ Kxf7 10.Kxf1 Sg8) and **R166** (1.h4 g5 2.e4 Bg7 3.Bc4 Bxb2 [Ph3] 4.d3 Bd4 5.Se2 Be5 6.0-0 Bc3 7.g3 Bf6 8.Bxg5 [Pb2] Bxg5 [Bh2] 9.Sec3 bxa1=Q [Rh1] 10.Qc1 Bh6 11.Qa3 Bf8 12.Qb3 Qb2 13.f4 Qxc3 [Sa1] 14.g4 Qd2 15.h5 Qg2+ 16.Kxg2 (with many waiting moves); found by Dirk Borst) might be new to the readers of *Problem Paradise*.

Thus, 14 problems remained—I include 6 of them in the award, which are clearly superior to the remaining ones. Thus I am awarding 3 Prizes and 3 Honourable Mentions.

1st Prize

R149 Michel Caillaud
Problem Paradise 2008-09



PG 24.5 (14+12)

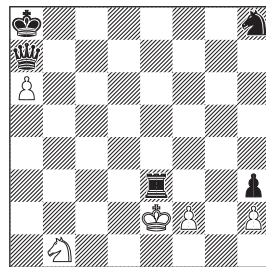
1.a4 f5 2.a5 f4 3.a6 f3 4.axb7 a5 5.g3 Ra6 6.Bh3 Re6 7.Kf1 Re3 8.fxe3 f2 9.Kg2 f1=R 10.Ra4 Rf6 11.Rf4 Ra6 12.Be6 Ra8 13.bxa8=B dxe6 14.Bd5 Bd7 15.Ba2 Ba4 16.c4 Sc6 17.Qc2 Qb8 18.Qg6+ hxg6 19.b4 Rh5 20.b5 Sh6 21.b6 Rb5 22.b7 Rb6 23.Ba3 Ra6

24.Bc5 Ra8 25.bxa8=Q

Two white pawns promote on square a8, capturing from b7, and both of them capture black rooks . . . but none captures the original rook, because this one is captured on e3! Thus, in the first promotion White captures a Pronkin rook, and in the second the sibling rook from h8. Excellent that no promoted piece is visible in the diagram position, because the two white original pieces (Bf1, Qd1) are captured (on squares e6 and g6).

2nd Prize

R157 Klaus Wenda
Problem Paradise 2008-09



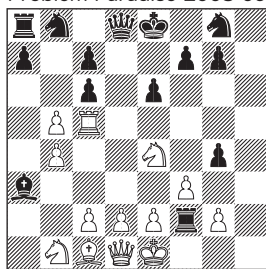
-14 & #1 (5+5)
Proca retractor
Anticirce

R 1.Sd2xBf1 [Sb1] Bg2-f1+ 2.e5xPf6 e.p. [Pf2] f7-f5 3.Kf3-e2 Bf1-g2+ 4.Ke2-f3 Bg2-f1+ 5.Kf3.e1 Bf1-g2+ 6.Ke2-f3 f2-f1=B+ (6.. Bg2-f1+?? illegal) 7.Ke1-e2 f3-f2+ 8.Kd8xBc7 [Ke1] Bd6-c7+ 9.g5xPh6 e.p. [Ph2] h7-h5 10.Ke7-d8 Bc7-d6++ 11.Kd8-e7 Bd6-c7+ 12.Ke7-d8 Bc7-d6++ 13.Kd8-e7 Bb8-c7+ (13.. Bd6-c7+?? illegal) 14.Sc4-d2 & f: 1.Sb6#

Two consecutive draw pendula of opposite edges of the board. Both black bishops moving in the pendulum are not yet on the board in the initial position, but have to be uncaptured. This is achieved in a phantastic construction and thus is a ground-breaking performance. It may be deplored that the first move serves two quite different purposes, both uncapturing a thematical black bishop and bringing the white knight into play.

3rd Prize

R164 Satoshi Hashimoto
Problem Paradise 2008-09



PG 18.5 (13+14)

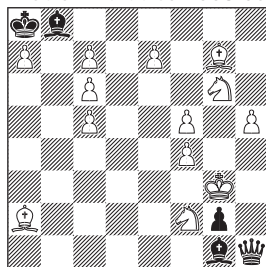
1.a4 b5 2.axb5 Sc6 3.Ra6 Sd4 4.Rc6 dxc6 5.h3 Bg4 6.hxg4 e6 7.Rh5 Ba3 8.Rc5 h5 9.b4 hxg4 10.Bb2 Rh1 11.Qc1 Sf3+ 12.Kd1 Se1 13.Sh3 Rxf1 14.f3 Rf2 15.Sg5 Sd3 16.Se4 Se5 17.Ke1 Sd7 18.Qd1 Sb8 19.Bc1

Three white pieces (bishop, queen, king) have to move aside to enable Black playing a shield on square e1, so that the rook safely can capture on f1 and move to f2. The shielding piece is the black knight from b8 which performs a long round-trip (b8-c6-d4-f3-e1-d3-e5-d7-b8) without entering any square twice. This is quite different from the

problem which the author showed for comparison and which presented many more switchbacks from one side—all eight black officers! Six of them serve the purpose to place a shield which protects the white promotion to rook. In R164, the bi-coloured switchback manoeuvre is a great surplus that increases the complexity considerably.

1st Honourable Mention

R156 Wolfgang Dittmann
Problem Paradise 2008-09



-7 & #1 (13+5)
Proca retractor
Anticirce

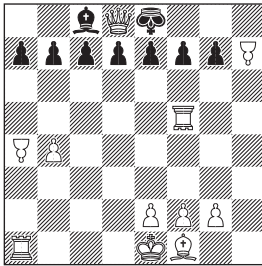
R 1.Sf8-g6? Bh2-g1? 2.Sd7-f8 Bg1-h2+ 3.Bf7-a2 & f: 1.Sb6#, but R 1.. Kb7-a8! 2.Bb2-g7+ (forced) R 1.Bf8-g7! Bh2-g1 2.Bh6-f8 Bg1-h2+ and now 3.Sf8-g6 Bh2-g1 (3.. Kb7-a8?? illegal) 4.Sd7-f8 Bg1.h2+ 5.Bf8-h6! (now not 5.Bf7-a2? retro-stalemate, because Black does not have a last move) Bh2-g1 6.Bg7-f8 Bg1-h2+ and now 7.Bf7-a2! (now Black's last move was Kb7-a8!) & f: 1.Sb6#

A phantastic idea is presented in a clear logical structure. The move Kb7-a8 must be possible as a last move, but must not be played! To achieve that,

White three times moves to-and-fro f8. First the bishop has to leave the diagonal, then the knight passes to a better square, then the bishop has to return to the diagonal. The construction is a bit stiff, because many pieces do not actively play.

2nd Honourable Mention

R151 Naoki Matsuzaki
Problem Paradise 2008-09



Add 4 pieces so that (11+9)
you can prove wK has moved
Alice Chess
Upside-down printed pieces
are on Board B

A clever usage of the properties of Alice Chess in restricted positions. The proof that the white king moved can only be made when White castled. Castling is the only possibility to change the parity of pieces on Boards A and B incongruently with the number of moves (because two pieces simultaneously change the board). Thus we have to aim for a position in which such a change of parity is necessary. If a black bishop is added on square f8(A), then we know that Black castled, because the king cannot lose a tempo, but changed from e8(A) to e8(B). And we know that one of the original black bishops was captured

and replaced by a promoted bishop; the other bishop did not move at all. If the white pawn h7(B) is the original h2(A) pawn, then it did not execute the double-step. If the pawn a4(B) did not capture, it made exactly one move. Similarly, the pawn b4(A) made exactly two moves, if it did not capture.

Now we are prepared to add the four pieces appropriately. We do it in a way that all captures are determined, and that the black pawn h7 had to promote to bishop on square h1(B) so that the bishop could leave the promotion square (despite the white pawn g2(A)) and move onto square c8(A). We further add the pieces in such a way that the bishop c8(A) could not make the last move (pieces on a6 and e6). Then we can conclude that Black had no last move, but it is Black's move, thus we can show move inequity between White and Black.

It is the crucial find of the author, that the following equation is valid: Number of white castlings \equiv Number of pieces currently on Board A + Number of pieces captured on Board A + Parity of moves + Number of black castlings \equiv Number of pieces currently on Board B + Number of pieces captured on Board B + Parity of moves + Number of black castlings (mod 2). Parity of moves is 0 if it is White's move, it is 1 if it is Black's move.

There are a number of related tries in which the outcome of the equation(s) is 0, thus White did not castle, thus it is not proven that the white king moved: (1): wPe6(B), wPg5(B), wSa6(B),

bBf8(A). 17 pieces on Board A, 7 pieces on Board B. Captures: 2 by the black pawn h7: g3(A), h2(B). 1 by a white of.cer: c8(A). 5 by white pawns: e3(A), f4(B), g5(A), d5(B), e6(A). Number of white castlings $\equiv 17 + 5 + 1 + 1 \equiv 7 + 3 + 1 + 1 \equiv 0 \pmod{2}$. King's move not proven.

(2): wPa6(B), wPa3(B), wSe6(B), bBf8(A). Similarly: Number of white castlings $\equiv 17 + 5 + 1 + 1 \equiv 7 + 3 + 1 + 1 \equiv 0 \pmod{2}$. King's move not proven.

(3): wPa6(B), wPa5(A), wSe6(B), bBf8(A). Similarly: Number of white castlings $\equiv 18 + 4 + 1 + 1 \equiv 6 + 4 + 1 + 1 \equiv 0 \pmod{2}$. King's move not proven.

(4) wPd4(B), wSa6(B), wSe6(B), bBf8(A) Similarly: Number of white castlings $\equiv 17 + 5 + 1 + 1 \equiv 7 + 3 + 1 + 1 \equiv 0 \pmod{2}$. King's move not proven.

Solution: wPd2(A), wSa6(B), wSe6(B), bBf8(A)

There are currently 18 pieces on Board A and 6 pieces on Board B. Captures: 2 by the black pawn h7: g3(A), h2(B). 1 by a white officer: c8(A). 5 by white pawns: d3(A), e4(B), f5(A), g6(B), h7(A). The original white knight from b1(A) can neither move to a6(B) nor to e6(B). So one of the two white pawns from c2 and h2 promoted to knight on square h8(A), the other is now on square h7(B). In both cases, the white pawn h2 made a single-step first move. Black has castled. It is Black's turn.

Thus: Number of white castlings $\equiv 18 + 5 + 1 + 1 \equiv 6 + 3 + 1 + 1 \equiv 1 \pmod{2}$.

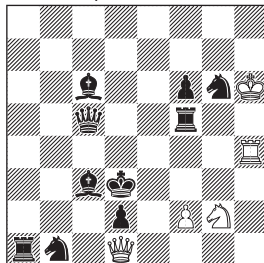
Thus White has castled.

Thus the white king moved.

End of proof.

3rd Honourable Mention

R155 Klaus Wenda
Problem paradise 2008-09



-6 & #1 (5+10)

Proca Retractor

Without forward defence

Anticircé

R 1.Kh5-h6? Ra8-a1+? 2.Se1-g2 & f: 1.Qxb1 [Qd1]#, but R 1.- Ba8-c6+!

R 1.Qg7xRh7 [Qd1] Sh8-g6+ 2.Kg6-h6 Sf7-h8+ 3.Kg5-g6 Sh8-f7++ 4.Qb7-g7 f7-f6+/Rg7-h7+ 5.Kh5-g5 Ra8-a1+(+) 6.Se1-g2 & f: 1.Qxb1 [Qd1]#

A fine logical problem in which the white queen makes a tricky detour to the square b7 in order to prevent the black bishop to defend the main plan by occupying the square a8. At the end the queen returns to square d1, a nice completion of a spectacular „round trip“.

Hans Gruber (Regensburg, Germany)

International Judge of the FIDE

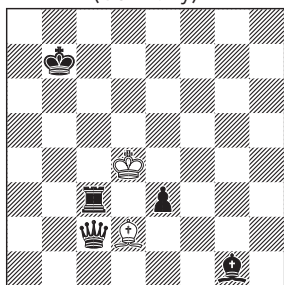
Helpmate 2019

Judge: Ivan Denkovski

75 helpmates by 29 authors participated. Most of the works had pleasant content and at least some touch of originality.

1st Prize

H1137 Torsten Linß
C+ (Germany)



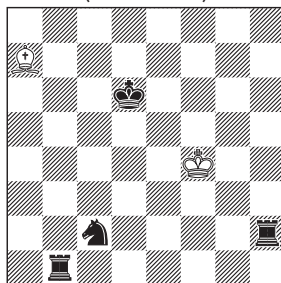
H#8.5 (2+5)

1...Be1 2.e2+ Bf2 3.Rf3 Be3 4.Qe4+ Kc3 5.Kc6 Kb2 6.Kd5 Bd2 7.Kd4 Be1 8.Ke3 Kc3 9.Bf2 Bd2#

Amazing construction of ideal mate. The tactically motivated circuit of wB and the precise switchback maneuvers of wK and wB wire together all the strategic elements of the play.

2nd Prize

H1103 Zlatko Mihajloski
C+ (Macedonia)



H#7 2sols (2+4)

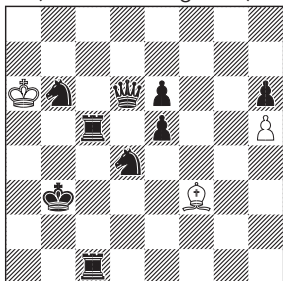
1.Kd5 Bd4 2.Kc4 Ke5 3.Kd3 Kd5 4.Kd2 Kc4 5.Rd1 Kb3 6.Kc1 Ka2 7.Rhd2 Bb2#
1.Sa1 Bf2 2.Sb3 Ke3 3.Kc5 Kd3+ 4.Kb4 Be1+ 5.Ka3 Kc4 6.Ra2 Kb5 7.Rbb2 Bb4#

Familiar ideal mate pattern, echoed on two neighboring edges of the board. The connection between the solutions is complemented by the matching play of bRs, the many-ways theme shown in wK's path to c4, and the interesting role of bS: at the time when White is doing the first part of the Indian maneuver (1...Bf2 & 2...Ke3), the S repositions itself, and onwards determines the play in the same semi-static way as in the other solution.

1st Honorable Mention

H1078 Fadil Abdurahmanovic

C+ (Bosnia Hercegovina)



H#5.5

(3+9)

1...Ba8 2.Rg1 Kb7 3.Rg6 hxc6 4.Kc4 g7
5.Kd5 g8=S 6.Sc4 Sf6#

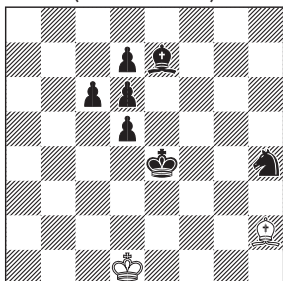
Cheney–Lloyd maneuver with mixed motivation (control of d5 must be abandoned in a way that control of c6 is assured and check on B6 is avoided). This rendering is distinguished for the point that critical move is necessary less because of static constraints, but more because choosing another hideaway for wB would interfere with the timing of Black' s play.

2nd Honorable Mention

Kostas Prentos

H1080 Ioannis Kalkavouras

C+ (USA. Greece)



H#6.5

(2+7)

1...Bxd6 2.Sf5 Bh2 3.Sg3 Kd2 4.Ke5 Ke3
5.Kd6 Kf4 6.Se4 Bg3 7.Sc5 Kf5#

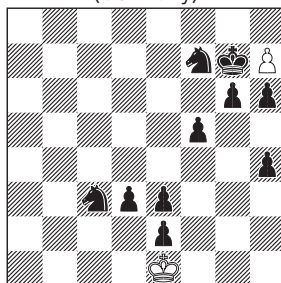
A compact blend of Kniest theme, Indian theme, switchback and tempo move, and self-pin and later selfblock with the same piece.

3rd Honorable Mention

Mirko Degenkolbe

H1077 Rolf Wiehagen

C+ (Germany)



H#5.5 2sols

(2+10)

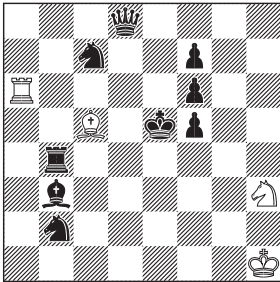
1...h8=R 2.Kf6 Re8 3.Kg5 Rxe3 4.Kg4
Re4+ 5.Kh3 Kf2 6.Kh2 Rxh4#

1...h8=S 2.g5 Sg6 3.g4 Sf4 4.Sg5 Sxe2
5.Kg6 Kf1 6.Kh5 Sf4#

Good analogy between the two solutions, with some pleasant contrast that nicely reflects different nature of R and S.

Commendation

H1067 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



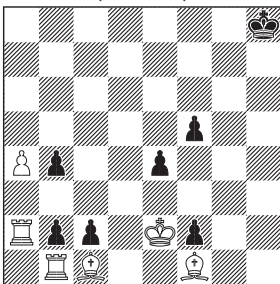
H#2 4sols (4+9)

- 1.Ke4 Ra3 2.Bd5 Re3#
- 1.Qd4 Sg5 2.Sd5 Bd6#
- 1.Rd4 Ra1 2.Rd5 Re1#
- 1.Re4 Be7 2.Qd5 Bxf6#

Four different self-blocks on d5 at B2 and model mates. Interesting contrast in the motivation of different arrivals on d4 and e4 at B1.

Commendation

H1119 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



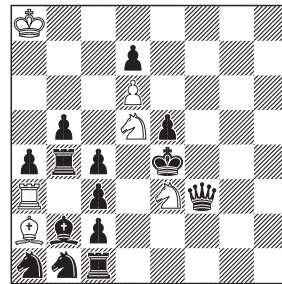
H#3 2sols (6+7)

- 1.bxc1=R Ra3 2.Rxf1 Rg3 3.Rh1 Rxh1#
- 1.cxb1=B Bh3 2.Bxa2 Bxf5 3.Bg8 Bxb2#

The striking homogeneity of this concept of extended Zilahi compensates fully for the uneven motivation of Black's play, and partially for the lack of interplay.

Commendation

H1121 Abdelaziz Onkoud
C+ (Morocco)



H#3 2sols (6+14)

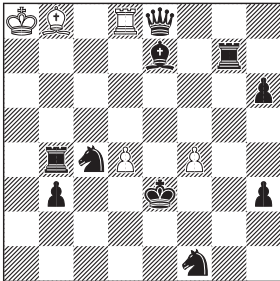
- 1.Qf5 Sxc4 2.Rxc4 Rxc3 3.Rd4 Re3#
- 1.Qf4 Sxc3+ 2.Bxc3 Bxc4 3.Bd4 Bd5#

Exchange of roles of wR/wB and of wS/wS, and play on parallel lines by bR/wR and by bB/wB. The first half-move fits the idea well; however such extension of the basic setting* has led to a position with unappealing technical units. (* Illustration—White: Ka8 Ra3 Ba2 Sd5e3; Black: Ke4 Rb4 Bb2Pe7b5e5f5a4c4c3c2; H#2.5 b) Pf5 → f4)

Commendation

H1135 Fadil Abdurahmanovic

C+ (Bosnia Hercegovina)



H#4 2sols

(5+10)

1.Qg6 Bd6 2.Kxd4 Bc5+ 3.Kc3 Rd1
4.Qc2 Bd4#

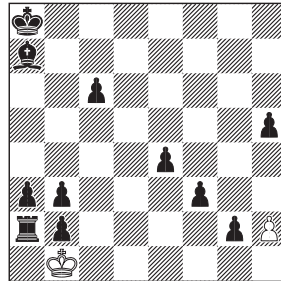
1.Qh5 Rd6 2.Kxf4 Rf6+ 3.Kg4 Bh2 4.Rg5
Rf4#

White Grimshaw with reciprocal strategy: the piece that plays the interference move later delivers (model) mate, whereas the other piece moves along the line, which is cleared by bK's capture of wP. The half-pin of the thematic pieces has added two different dual avoidance strategies: choice of a blocking piece (1.Qg6 & 4.Qc2 vs 1.Rg2? & 4.Rc2??) in one solution, and determination of the order of moves (1.Qh5 & 4.Rg5 vs 1.Rg5? & 4.Qh5??) in the other; both are interesting, but their difference makes this extension of the basic setting* a bit unconvincing, given the complete analogy of the other parts of the two solutions. (* Illustration – White: Kh8 Rd8 Bb8 Pd4f4; Black: Ke3 Rg5 Be7g6 Sc4 Pb4b3h3; H#3.5 2sols)

Special Commendation

H1081 Alexander Pankratjev

C+ (Russia)



H#8

(2+11)

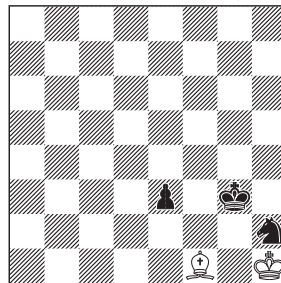
1.g1=B h3 2.Bge3 h4 3.Bg5 hxg5 4.e3
g6 5.e2 g7 6.e1=B g8=B 7.Bg3 Bd5
8.Bgb8 Bxc6#

The concept of bB/wB promotions and Ceriani–Frolkin theme is not new, but here it is nicely enhanced with tempo based slowed Excelsior (1...h3!) and dual avoidance effect (1.g1=S?)

Special Commendation

H1123 Zlatko Mihajloski

C+ (North Macedonia)



H#5.5

(2+3)

1...Kg1 2.e2 Bxe2 3.Sf3+ Kf1 4.Kh2 Kf2
5.Kh1 Bf1 6.Sh2 Bg2#

A known Wenigsteiner pattern of Klasinc theme (Black's) is expanded with another Klasinc (White's), with a help of a clever trick of bP' s sacrifice.

Skopje, 1 February 2022

Ivan Denkovski

Endgame 2021

Judge: Mario Guido García

After the closing of the contest, I received the studies in files in pgn and word format.

I want to highlight the harmonious complementation regarding the functions and tasks of my friend Hiroshi Manabe, Director of the tournament, with those corresponding to me as the judge.

I also want to thank the composers for their participation, offering very good works, for publication in the Japanese magazine, specialized in artistic compositions in their different genres.

Participants: Michal Hlinka (Slovakia); Pavel Arestov (Russia); Lubos Kekely (Slovakia); Peter S. Krug (Austria); Andrzej Jasik (Poland); Amatzia Avni (Israel); Michael Pasman (Israel); Jarl Henning Ulrichsen (Norway); Valery Kalashnikov (Russia); Jan Timman (Netherlands); ; Vladislav Tarasiuk (Ukraine); Yochanan Afek (Israel); Martin Minski (Germany); Ilham Aliev (Azerbaijan); Itay Richardson (Israel);

Vladimir Kuzmichev (Russia); Sergey Osintsev (Russia)

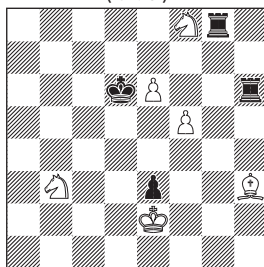
There are 30 studies by 17 composers from 10 countries

So, my ranking is:

SECTION A STUDIES UP TO 10 PIECES

1st/2nd Prize

E173 Michael Pasman
(Israel)



Draw (6+4)

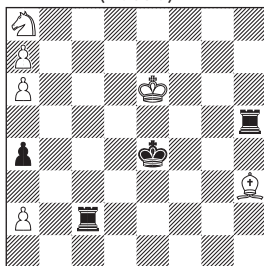
1.e7! Kxe7 2.Ng6+ Kf6 3.Bf1! [3.Nf4 Rh4 4.Nd5+ Kf7 5.Bf1 Rb8 6.Nc1 Rh2+ 7.Kxe3 Rb1 White loses one of his pieces] **3...Rb8** [3...Re8 4.Nf4 Rh2+ (4...Kxf5 5.Kf3=) 5.Ng2 Kxf5 6.Nd4+ Ke4 7.Nf3 Rh5 8.Nfe1 Rh2 9.Nf3=; 3...Kxf5 4.Ne7+] **4.Nc5!** [4.Nd4 Rh1! White will lose f1 bishop] **4...Rb1!** [4...Kxf5 5.Ne7+ Kg4 6.Nd5=] **5.Nf4!** [5.Bg2 Rb2+ 6.Kf3 Rf2+ 7.Kg3 Rxf5-+] **5...Kxf5 6.Ng2!** [6.Nd5 Rh2+ 7.Kd3 Rd1+!-+] **6...Rh2 7.Kd3!!** [Logical try : 7.Ne4? Rb3! 8.Nd6+ (8.Nc5 Ra3) 8...Ke5! 9.Nc4+ and now the black rook is not under attack as in main line, f.e. 9...Kd4 10.Kf3 e2+! 11.Kxe2 Kxc4-+;

7.Nd3 Ke4 8.Nc5+ Kd5 9.Nd3 Kd4 10.Nde1 Ke4 White is in zugzwang] **7...Rd1+** [7...Rxf1 8.Nxe3+] **8.Ke2! Ra1** [8...Rd5 9.Na4! Rd4 10.Nc3; or 8...Rc1 9.Ne4!! Kxe4 stalemate, again—no 6...Rc3—as in logical try; 8...Rb1 9.Kd3! again] **9.Ne4!!** White plays this move only with the rook on a1 or c1 Main A : [9.Kd3 Ra3+ 10.Ke2 Ke5 11.Nd3+ Kd4+] **9...Kxe4** ideal stalemate with selfblocks ![Main B : 9...Ke5 10.Ng5! Rh5 11.Nf3+ Ke4 12.Nxe3 Ra2+ 13.Nd2+ Kd4 14.Nec4 (14.Bg2 Re5!) 14...Rh2+ 15.Kf3= (15.Kd1? Ra1+ 16.Kc2 Rxf1) ; 9...Ra3 10.Nd6+! Ke5 as in logical try 11.Nc4+ and the difference from try - black rook under attack]

Ingenious configuration, with very remarkable thematic tries, arriving through two lines to beautiful stalemates and equal positions.

1st/2nd Prize

E186 Sergey Osintsev (Russia)



Win (6+4)

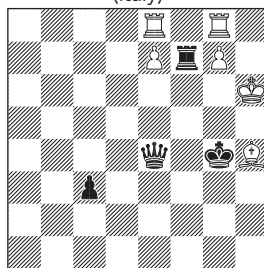
1.Nc7! [1.Nb6?? Rh6+! 2.Kd7 (2.Kf7 Rc7+-) 2...Rh7+-] **1...Rc6+** [1...Rh6+ 2.Kd7 Rd2+ (2...Rh7+ 3.Kd6!

Rh6+ 4.Be6+-) 3.Ke7! Rh7+ 4.Ke6! Rh6+ 5.Kf7 Rh7+ 6.Kg8+-] **2.Kd7 Rxa6! 3.Bg2+!** [3.Nxa6? Rh7+ 4.Kc8 (4.Kc6 Rxa7 5.Nc7 a3= (5...Ra5)) 4...Rxa7 5.Bg2+ Kd4 (5...Kd3) 6.Bb7 Kc3 7.Kb8 Rxb7+ 8.Kxb7 Kb2 9.Nb4 Ka3= (9...Kc3)] **3...Kd4** [3...Ke5 4.Nxa6 Rh7+ 5.Kc8! (5.Kc6? Rxa7 6.Nc7 a3! 7.Kb6 Ra4=) 5...Rxa7 6.Bb7! Kd4 7.Kb8 Rxb7+ 8.Kxb7 Kc3 9.Kb6 Kb2 10.Nb4 Ka3 11.Kb5+- (11.Ka5) ; 3...Kd3? 4.Bf1+++] **4.Nxa6 Rh7+ 5.Kc6!** [5.Kc8? Rxa7 6.Bb7 Kc3! 7.Kb8 Rxb7+ 8.Kxb7 Kb2 9.Nb4 Ka3= (9...Kc3)] **5...Rxa7 6.Nc7! Ra5** [6...a3 7.Nb5+++] **7.Nb5+ Kc4** [7...Kd3 8.Kb6+-] **8.Bd5+! Kb4 9.a3#**

Interesting complementary variants, dominance of the rook and culmination in a nice mate

3rd Prize

E159 Marco Campioli (Italy)



Win (6+4)

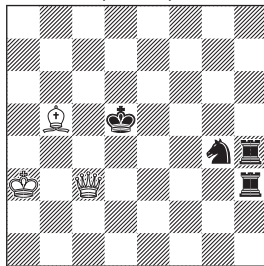
1.Rg8! [1.Ref8? Qe6+ 2.Kh7 Qf5+ 3.Kh8 Qh5#] **1...Qe6+!** [1...Kxh4 2.Rxf7 Qe6+ 3.Kh7 Qxf7 4.Rh8 Qxe7 5.Kg6+ Kg4 6.g8Q+-; 1...Qf4+ 2.Kh7 Kxh4 3.Rxf7 Qxf7 4.Rh8+-; 1...Qe3+

2.Kh7] **2.Kh7 c2!** [2...Rxc7+ 3.Kxc7 Kxh4 4.Rf6 Qd7 5.Rh8+ Kg5 6.Rf7 c2 (6...Qd4+ 7.Kg8+-) 7.Rg8 c1Q 8.Kh8+ Kh5 9.Rh7+-] **3.Rc8** [3.Rxf7? Qxf7 4.Rf8 Qh5+ 5.Kg8 c1Q=] **3...Rxe7** [3...Kxh4 4.e8Q+-; 3...Qe4+ 4.Kh8 Rxc7 5.Kxc7 Kxh4 6.e8Q+-] **4.Bxe7 Qe4+** [4...Qxe7 5.Rf6 Qxf6 (5...c1Q 6.Rxc1+-) 6.g8Q+-] **5.Kh8** [5.Kh6? Qh1+ 6.Bh4 Qxh4+=; 5.Kg8 Qe6+ 6.Kh7 Qe4+] **5...Qh1+ 6.Kg8 c1Q 7.Rxc1 Qxc1** [7...Qd5+ 8.Rf7 Qa8+ 9.Bf8+-] **8.Rf6! Qc7!** [8...Qh1 9.Bd8 Qd5+ 10.Kh7 Qxd8 11.g8Q+-] **9.Rg6+!** [9.Kf7? Qc4+ 10.Kf8 Qc8+; 9.Kh8? Qh2+ 10.Kg8 Qc7] **9...Kh5** [9...Kf5 10.Bd6 Qd7 (10...Qc4+ 11.Kh7 Qh4+ 12.Rh6+-) 11.Kh7 Qf7 12.Rh6 Kg5 13.Rh1+-] **10.Rg5+!** [10.Bd6 Qc2 11.Rg1 (11.Rg3? Qc1 12.Rh3+ Kg6 13.Kh8 Qa1!=) 11...Qf2 12.Rh1+ Kg6 13.Kh8 Qd4!=] **10...Kh6!** [10...Kh4 11.Bf6 Qc8+ 12.Kh7 Qc2+ 13.Rg6+-] **11.Kh8!** [11.Kf7? Qf4+=; 11.Kf8? Qf4+=] **11...Qxe7** [11...Qc3 12.Bb4 Qf6 (12...Qxb4 13.g8Q+-) 13.Bd2+-] **12.g8Q Qxg5** [12...Qe5+ 13.Rg7+- (13.Rxe5?=)] **13.Qh7#**

Ingenious configuration that allows the development in addition to the main line, other complementary ones and tries that make a very entertaining game.

Sp. Prize

E162 Valery Kalashnikov
(Russia)



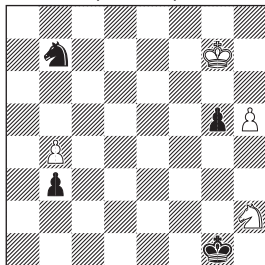
Draw (3+4)

1.Bd3! [1.Bc6+? Kd6 2.Bf3 Ne5 3.Qd2+ Ke6! 4.Qd5+ Kf5-+] **1...Ne5 2.Qa5+! Kd4 3.Qd8+ Kc3!** [3...Kc5 4.Qf8+ Kd5 5.Qg8+ Kd6 6.Qb8+=; 3...Ke3 4.Bf5 Rh2 5.Qe7 Kf4 6.Be6=] **4.Bf1** [4.Bf5? Nc4+ 5.Ka2 Rh2+ 6.Ka1 Rh1+ 7.Bb1 Rxb1+ 8.Kxb1 Nd2+ 9.Ka2 Ra4#; 4.Bb1? Nc4+ 5.Ka2 Rh6 6.Qa8 R6h5-+; 4.Qf6? Kxd3 5.Qxe5 Kc2+ 6.Ka2 Ra4#] **4...Nc4+ 5.Ka2** [5.Bxc4? Kxc4+ 6.Ka2 Rh2+ 7.Ka1 Rh1+ 8.Ka2 R4h2+-+; 5.Ka4? Nd6+! 6.Ka3 Kc2+! 7.Bxh3 Nb5+-+] **5...Rh2+ 6.Ka1! Rd4 7.Qf6 Nd2 8.Qc6+! =**

Conformation of "heavy" pieces in miniature. It is surprising how only moves and very appropriate tries are presented in the main line.

Sp. Prize

E180 Vladislav Tarasiuk
(Ukraine)



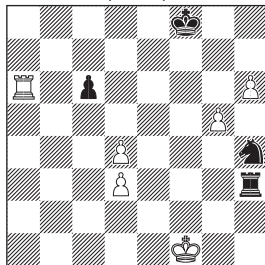
Win (4+4)

1.h6! [1.Nf3+? Kf2 2.Nd2 g4=] **1...Kf2!**
[1...b2 2.Nf3+ Kf2 3.Nd2 Ke2 4.Nb1+-
; 1...g4 2.Nf1 Kxf1 3.h7 g3 4.h8Q g2
5.Qh3+-] **2.Nf1! Ke2** [2...Ke1 3.Ne3
b2 4.Nc2+ Kd2 5.Na3+-] **3.Ng3+**
[3.h7? b2 4.h8Q b1Q 5.Qh2+ Ke1=]
3...Ke3 4.Ne4 Kd3 [4...Kxe4 5.h7 b2
6.h8Q b1Q 7.Qh7+--; 4...b2 5.Nc3
Kd3 6.Nb1 Kc2 7.h7 Kxb1 8.h8Q Nd6
9.b5 Nxb5 10.Qh1+ Ka2 11.Qd5+ Ka1
12.Qa8+--] **5.Nf2+ Kd2 6.Nd3 Kxd3**
7.h7 b2 8.h8Q Nd6 [8...b1Q 9.Qh7+--
] **9.Qh7+ Kc3 10.b5!** [10.Qg6? Nb5=]
10...Nxb5 11.Qh3+ Kb4 12.Qg4+ Ka5
13.Qf5+- [13.Qg1? Na3! (13...Kb4?
14.Qb1 Kb3 15.Qd1+ Ka2 16.Qd5+ Ka1
17.Qa8+--)] 14.Qe1+ (14.Qc5+ Ka4
15.Qd4+ Kb3=) 14...Ka4 15.Qd1+ Kb4
16.Qd2+ Kb3=]

Original configuration that recalls the classic themes of domination. In this case with the active participation of the Knights

1st Honorable Mention

E169 Itay Richardson
(Israel)



Win (6+4)

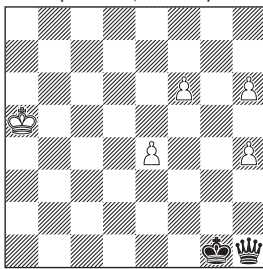
1.d5! [1.Rxc6? Nf3 2.g6 (2.Rc8+
Kf7=; 2.Rc5 Nxd4=; 2.Kg2 Nxd4= 3.Rc5
Rxd4=) 2...Rxd4 3.Rf6+ Ke7 4.g7
Rxf6 5.g8Q Nxd4+=] **1...cxd5** [1...c5
2.Ke2 Ke7 3.g6 Ng2 4.g7+-; 1...Rh1+
2.Kf2 (2.Ke2? cxd5 3.h7 Ng2! 4.Kf2
(4.Rh6 Rxd6 5.gxh6 Nf4+ 6.Kf2 Ng6)
4...Rxd6 5.Kxg2 Rh5=) 2...cxd5 3.h7
Kg7 4.Rh6 Kh8 5.g6 Rh2+ 6.Kf1! (6.Kg3
/e3 6...Nf5+=; 6.Kg1 /e1 6...Nf3+--)
6...Rh1+ 7.Ke2 Rh2+ 8.Kd1 Rh1+
9.Kc2+-] **2.h7** [2.g6? Nxg6 3.Rxg6
Kf7 4.Rb6 Rxd3=] **2...Kg7** [2...Ng6
3.Rxg6 Rxd3 4.Kg2 Rh4 5.Rf6+ Kg7
6.Kf2 Rh3 7.Rf3 Rh1 8.Ke3 Kg6 9.Kd4
Kxg5 10.Kxd5+-; 2...Rh1+ 3.Kf2+-
as was seen before] **3.Rh6** [3.Ra7+?
Kh8=] **3...Kh8** [3...Rh1+ 4.Kf2+- as
was seen before] **4.g6** threatening: 5.
g7+ with 6.h8=Q+ **4...Rf3+** [4...Rh1+
5.Ke2+- as was seen before; 4...Rg3
5.Rxd4 Rxd4 6.Ke2 Re6+ 7.Kd2 Re7
8.Kc3 Re3 9.Rh5 Rg3 10.Rxd5+-;
4...Nxg6 5.Rxd3+-] **5.Ke2** [5.Ke1? /
g1 5...Nxg6 6.Rxd4 Kxh7=] **5...Re3+!**
[5...Nxg6 6.Kxf3+-; 5...Rf8 6.Rxd4+-
; 5...Rg3 6.Rxd4 Rxd4 7.Ke3 Rg5

8.Kf4 Rg7 9.Ke5+-] **6.Kxe3** [6.Kf2 / d2/d1/f1 6...Nf5=] **6...Nf5+ 7.Kf3!** [Thematic try: 7.Kf4? Nxb6 mutual zugzwang 8.d4 (8.Kg5 d4! 9.Kf4 (9.Kxb6 stalemate) 9...Kg7 10.Ke4 Kh8 11.Kxd4 Nf5+ 12.Ke5 Ne7 13.d4 Nxb6+ 14.Kf6 Kxb7=) 8...Kg7 9.Kg5 Kh8! 10.Kf6 (10. Kxb6 stalemate) 10...Ng4+ 11.Kf7 Nh6+ 12.Kf8 Nf5=] **7...Nxb6 8.Kf4** mutual zugzwang - this time Black to move White wins **8...d4** [8...Kg7 9.Kg5 d4 (9...Kh8 10.Kxb6 no stalemate) 10.h8Q+--+] **9.Kg5 Kg7** [9...Ng8 10.hxg8Q+--+] **10.h8Q+--**

A position, something similar to a one of a real game. Fair moves to achieve the zugzwang and avoid the stalemate threat, and interesting thematic tries.

2nd Honorable Mention

E161 Peter Krug
Pavel Arestov
(Austria, Russia)



Draw (5+2)

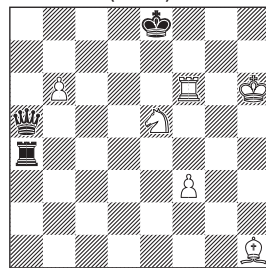
1.h7! [1.f7? Qf3 2.h7 Qc3+ 3.Ka4 Qc6+ 4.Ka5 Qa8+ 5.Kb5 Kf2 6.e5 Ke3 7.e6 Kd4 8.e7 Qb7+--+] **1...Qxh4 2.f7 Qd8+** [2...Qf6 3.Kb4] **3.Kb5!** [3.Kb4? Kf2 4.e5 Ke3 5.e6 Kd4 6.e7 Qb6+--+] **3...Qh8!** [3...Kf2 4.e5 Ke3 5.e6 Kd4 6.e7 Qb8+ 7.Kc6!=] **4.Kc4!** [4.Kc6?

Qf6+ 5.Kd7 Qxf7+--+; 4.Kb4? Kf2 5.e5 Ke3 6.e6 Kd4 7.e7 Qb8+--+] **4...Qf6** [4...Kf2 5.e5 Ke3 6.e6 Qc8+ 7.Kd5=] **5.Kb4!** [5.Kd5? Qxf7+--+; 5.Kc5 Kf2--+] **5...Qe7+ 6.Kc3!** [6.Kb5? Qe5+ 7.Kc6 Qe6+--+] **6...Qe5+ 7.Kb3!** [7.Kd3? Qg7 8.e5 Qxh7+--+] **7...Qg7 8.Kb4! Qd4+ 9.Kb3!** [9.Kb5? Qe5+ 10.Kc6 Qe6+--+] **9...Qd3+ 10.Kb2 Qe2+ 11.Kc3!** [11. Kb3 Qf3+ 12.Kb4 Qxe4+--+] **11...Qf3+ 12.Kd2! Qg2+ 13.Kc3!** [13.Ke3 Qg7- +] **13...Qg7+ 14.Kb4! Qf8+ 15.Kb5!** [15.Kc3 Kf2 16.e5 Ke3 17.e6 Qc8+--+] **15...Qh8 16.Kc4 Qc8+ 17.Kd3!** [17. Kd5 Qd7+ 18.Ke5 Qe7+--+; 17.Kd4 Qf8!--+] **17...Qd8+ 18.Kc4 Kf2 19.e5 Ke3 20.e6 Qf6!** [20...Ke4 21.e7 Qxe7 22.h8Q=] **21.Kb5!** [21.Kd5? Kf4 22.Kd6 Kf5+ i.e. 23.Kd7 Qxe6+ 24.Kd8 Qh6 25.Ke8 Qxh7; 21.Kc5? Ke4!--+; 21.e7 Qxf7+--+] **21...Kd3 22.e7 Qxe7 23.h8Q=**

It draws attention the original configuration and significant number of univocal moves (some of them are very subtle)

3rd Honorable Mention

E187 Michael Pasman
(Israel)



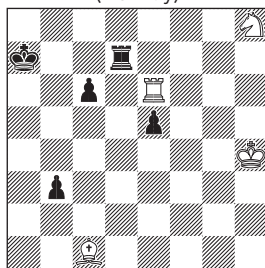
Win (6+3)

1.f4! [Thematic try : 1.Re6+ Kf8 2.f4 Qd2! 3.Rf6+ Kg8 4.b7 Rb4=] **1...Rxf4! 2.Re6+!** [2.Rxf4 Qxb6+=] **2...Kf8 3.Bc6!** [3.Ng6+ Kf7 4.Nxf4 Qf5 5.Re4 Qf6+] **3...Kg8** [3...Qxe5 4.Rxe5 Rf6+ 5.Kg5 Rxc6 6.Rb5+-] **4.b7 Qd2! 5.Rg6+!** [5.b8Q+?? Rf8+] **5...Kh8 6.b8Q+! Rf8+ 7.Rg5! Qh2+** [7...Qxg5+ 8.Kxg5 Rxb8 9.Kh6; 7...Rxb8 8.Nf7#] **8.Rh5 Qxh5+** [8...Qf4+ 9.Kg6+; 8...Qd2+ 9.Kg6+] **9.Kxh5 Rxb8 10.Kh6! Kg8 11.Bd5+ Kf8** [11...Kh8 12.Ng6#] **12.Nd7+-**

Rich content, surprising moves and an appropriate try.

Sp. Honorable Mention

E184 Jarl Henning Ulrichsen (Norway)



Win (4+5)

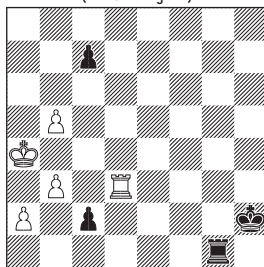
1.Ng6! [1.Rxe5? Rh7+ 2.Rh5 Rg7 3.Rh6 ((Or 3.Kh3 Rg1 4.Be3+ Kb7 5.Bd4 Rb1 6.Kg2 b2=)) 3...Rg2 4.Kh3 b2 5.Be3+ Kb7 6.Kxg2 b1Q= draws (7 man-EGTB)] **1...Rd2! 2.Bxd2 b2 3.Be3+** [3.Nxe5? b1Q 4.Nxc6+= leads to a draw (EGTB).] **3...Kb7** (The best defence. 3...Ka8 4.Re8+ Kb7 5.Ba7! leads to the main line.) **4.Re7+ Kc8 5.Re8+ Kc7 6.Bb6+!** [6.Bd4? b1Q 7.Bxe5+ Kd7= leads to a

draw (EGTB).] **6...Kb7 7.Ba7! Kxa7 8.Ne7!** Stalemate avoidance [8.Nxe5? b1Q 9.Nxc6+ Kb6 10.Rb8+ Ka6 11.Rxb1 Stalemate] **8...b1Q** [Or 8...Kb7 9.Nxc6] **9.Nxc6+ Ka6 10.Ra8+ Kb6 11.Rb8+ Kxc6 12.Rxb1+-**

White's material looks very powerful, however, stalemate threats should be avoided in black's counterplay.

Commendation

E165 Ilham Aliev (Azerbaijan)



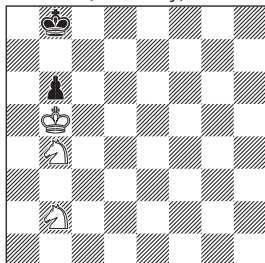
Draw (5+4)

1.Rc3! [Thematic try: 1.Rd2+? Rg2 2.Rxc2 Rxc2 wins, 3.b6 Rxa2+ 4.Kb5 cxb6-+] **1...c1Q 2.Rxc1 Rxc1 3.b6!** [3.Kb4? Editor 3...Kg3 4.a4 Kf4 5.Ka5 Ke5 6.Kb4 Kd5-+] **3...cxb6** (Rc1 could not take "a2"- look thematic try) **4.Kb5 Kg3 5.Kxb6 Kf4 6.a4 Ke5 7.a5 Kd6 8.a6 Rb1 9.Kb7!** [9.a7? Rxb3+ 10.Ka6 Kc7 11.a8N+ (11.a8Q Ra3+) 11...Kc6-+] **9...Rxb3+ 10.Kc8!** [10.Ka8? Kc6] **10...Ra3 11.Kb7 Kd7 12.a7 Rb3+ 13.Ka8!+-** [13.Ka6? Kc7! 14.a8N+ (14.a8Q Ra3+) 14...Kc6-+]]

Appropriate introduction, to arrive at a rook and pawns ending which is presented in real games

Sp. Commendation

E179 Rainer Staudte
Michael Schlosser
(Germany)



Win (3+2)

1.Kc6 b5 [1...Kc8 2.Nc4 Kd8 3.Kd6 Ke8 4.Ke6+-] **2.Nd1** [2.N2d3? Kc8 3.Nf4 Kd8 4.Kd6 Ke8 5.Ke6 Kf8 6.Kf6 (6.Nh5 Kg8 7.Kf6 Kh7) 6...Ke8= (6...Kg8! 7.Ne6 Kh7 8.Kg5 Kg8 9.Kg6)] **2...Kc8 3.Ne3 Kd8 4.Kd6 Ke8 5.Ke6 Kf8 6.Nf5 Kg8 7.Ke7 Kh7 8.Kf7 Kh8 9.Nd5 b4 10.Nf6 b3 11.Nh4 b2 12.Ng6#**

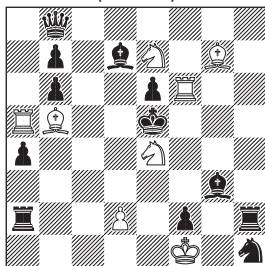
It reminds the winning chances with two Knights. It is this case, with a black pawn on the Knight file

SECTION B

STUDIES WITH OVER 10 PIECES

1st/2nd Prize

E164 Peter Krug
(Austria)



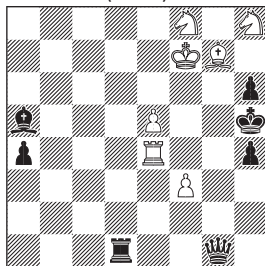
Win (8+12)

1.Ke2! Kd4! [1...Bxb5+ 2.Rxb5+ Kxe4 3.Rxe6+ Kf4 4.Re4+ Kxe4 5.Rb4#] **2.Nf5+! Kd5** [2...Ke5 3.Bd3+ /c6 3...bxa5 4.Rf7+ Kd5 5.Ne7#] **3.Ne3+ Kd4 4.Rf7+ Be5!** [4...e5 5.Rxd7++] **5.Rxd7+ Kxe4 6.Bd3+ Kf4 7.Rf7+ Kg3** [7...Kg5 8.Bf6+ Kh6 9.Rh7#] **8.Nf1+** [8.Bxe5+?? Qxe5 9.Rxe5 f1Q+ 10.Kxf1 Ra1+-+] **8...Kg2** [8...Kh3 9.Bxe5 Qg8 10.Rf3+ Kg2 11.Be4 Rxd2+ 12.Nxd2 Qg4 13.Ra8+-; 8...Kg4 9.Bxe5 Qg8 10.Nxh2+ Kh3 11.Rf3+ Kg2 12.Be4 Kg1 13.Nf1 bxa5 (13...Qg4 14.Bh2++) 14.Bh2+-+ leads to mate] **9.Bxe5 Ng3+ 10.Nxg3!** [10.Bxg3? Qxg3=] **10...Qg8 11.Rxf2+ Kg1 12.Rxh2 Kxh2** [12...Qg4+ 13.Ke3 Kxh2 14.Rb5 Ra3 15.Kf2 Rxd3 16.Nh5+ Kh3 17.Nf4+ Qxf4+ 18.Bxf4 +-] **13.Nh1+!!** the point [13.Ne4+ Kg2 14.Nf2 Rxd2+ =] **13...Kxh1 14.Be4+ Kg1 15.Bd4+ Kh2 16.Rh5+ Kg3 17.Be5+ Kg4 18.Bf3#**

Ingenious configuration that presents a variety of lines that culminate in mate and with a remarkable move at the end of the sequence.

1st/2nd Prize

E170 Michael Pasman
(Israel)



Win (7+7)

1.Nhg6! with Nf4+ and Bf6 mating threats [1.e6? Re1 2.Rxe1 Qxe1 3.e7 Bb4 4.e8Q Qxe8+ 5.Kxe8 Bxf8 6.Kxf8 h3=; 1.Bf6? f.e. 1...Rd4] **1...Qg3** [1...Rd7+ 2.Ke6 Qxg6+ 3.Nxg6 Rxg7 4.Nf4+ Kg5 5.Nh3+ Kg6 6.Rxh4 Bd2 7.Rxa4+- capturing both black pawns and winning with connected e and f pawns; 1...Rd4 2.Nf4+-] **2.Bf6!** [2.Nf4+? Kg5 3.Bf6+ Kf5 4.N4e6 Qxf3 5.Rxh4 Qb7+ 6.Kg8 Rg1+ 7.Kh8 Rg4 8.Rh5+ Rg5=] **2...Rd7+!** **3.Ke8!** [3.Nxd7? Qxg6+ 4.Ke7 Qxe4 5.fxe4 h3; 3.Ke6 Qh3+ (3...Bd2 4.Rxh4+ Qxh4 5.Nxh4 Rb7)] **3...Bd2** the only defense against Nf4+ [3...Ra7 4.Nf4+-] **4.Kxd7** Still Black queen is pinned to defend against mate threats on h4, so Black has no choice **4...Bg5** no other defense against Rxh4+ 5.Nxh4! Bxf6 [5...a3 6.Nf5! Qh3! 7.Ke6! a2 8.Ra4+- Zugzwang !] **6.exf6 a3 7.Rg4!** [7.Ne6 a2 8.Ng7+ Kg5=; Thematic try : 7.Nfg6 a2! 8.Ra4 Qg5!! 9.Rxa2 Qd5+ 10.Ke7 Qxa2 11.f7 Qa3+ 12.Kf6 Qb2+ 13.Ne5 Kxh4 14.f8Q Qb6+! 15.Kg7 Qc7+= With perpetual check / or white has to lose his knight or pawn] **7...Qxh4!** [7...a2 8.Rxg3 a1Q 9.Rg6! Qa4+ (9...Kxh4 10.f7+-) 10.Ke7+-] **8.Ne6!!** [Thematic try : 8.Rxh4+ Kxh4 9.f7 a2 10.Ng6+ Kg5! 11.f8Q a1Q With perpetual check / or white has to lose his knight or pawn] **8...Qxg4!** **9.fxg4+ Kg6 10.Ke7! a2 11.f7 a1Q 12.f8N#!** Model mate[12. f8Q is perpetual check or white loses g4 pawn after queen exchange]

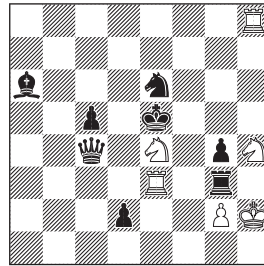
Appropriate thematic tries, complementary variants and the

culmination in mate with the promotion of a Knight, a very pleasant complete study of significant artistic value.

3rd Prize

E168

Michal Hlinka
Lubos Kekely
(Slovakia)



Draw

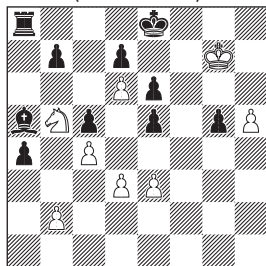
(6+8)

1.Rh5+! [1.Nxd2+? Rxe3 2.Nxc4+ (2.Rh5+ Kd4 /f6-+) 2...Bxc4-+] **1...Kf4** [1...Ng5 2.Nxd2+ Rxe3 3.Rxg5+=] **2.Nxd2 Qc2 3.Re4+** [3.Rxg3? Bd3 4.Nhf3 Bf5 5.Nf1 Qf2 6.Rxf5+ Kxf5 7.Ne3+ Qxe3 8.Nh4+ Ke4 9.Rxe3+ Kxe3 10.Nf5+ Kf2-+] **3...Qxe4 4.Nxe4 Re3 5.Nxc5** [5.Ng3? Bd3 6.Nhf5 Re5-+] **5...g3+ 6.Kh3 Ng5+ 7.Rxg5 Bc8+ 8.Ne6+ Bxe6+ 9.Nf5 Kxg5=** stalemate [9...Bxf5+ 10.Kh4 Re8 11.Rg4+ Bxg4= stalemate]

Entertaining game with tries, culminating in lines leading to two pretty stalemates.

Sp. Prize

E174 Jan Timman
(Netherlands)



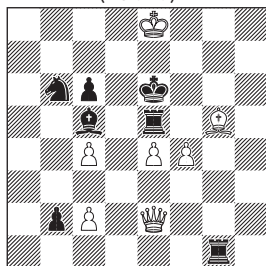
Win (8+10)

1.Na7! The same idea with a bishop is known from Pervakov [1.h6?? 0-0-0! -+] **1...Bb6!** [1...Kd8 2.h6 Rxa7 3.h7 Kc8 4.h8Q+ Bd8 5.Kf8] 2.Nc8! [2.h6? Bxa7 3.h7 0-0-0! =] **2...Bc7!** **3.h6 Bxd6** **4.h7!** [4...Nxd6+ Ke7-+] **4...Kd8** [4...Bf8+ 5.Kf6 Rxc8 6.h8Q+-] 5.Nb6! [5.h8Q+ Kc7=] **5...Rb8** [5...Ke7 6.Nxa8 e4 7.d4!+-; 5...Bf8+ 6.Kf7+- (6.Kg6+-; 6.Kxf8? Rb8=)] **6.h8Q+ Kc7** **7.Na8+! Kc6** **8.Qh1+ e4** **9.Qxe4#**

Interesting and ingenious "maneuvers" to prevent black from castling.

Sp. Prize

E185 Andrzej Jasik
(Poland)



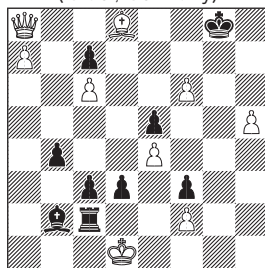
Win (7+7)

1.Qh5! Kd6+! [1...Rexg5 2.Qf7+ Kd6 3.Qe7#] **2.Kd8!** [2.fxe5+? Kc7-+] **2...Bf2!** **3.Be7+!** [3.fxe5+? Kc5 4.Qe2 b1Q 5.Qxf2+ Kxc4=; 3.Qh8? Nd7 4.fxe5+ Kc5=] **3...Rxe7** **4.c5+! Bxc5** [4...Ke6 5.Qf5#] **5.Qh6+ Rg6!** [5...Re6 6.Qf8+ Re7 7.Qxe7#] **6.Qxg6+ Re6** **7.e5+** [7.Qf5? Nd7 8.e5+ Nxe5 9.fxe5+ Kd5 10.c4+ Kd4 11.Qxe6 b1Q=] **7...Kd5** **8.Qd3+ Bd4** **9.c3!** **c5** **10.c4+! Nxc4** [10...Kc6 11.Qe4+ Nd5 12.Qxd5+ Kb6 13.Qxe6+ ±] **11.Qf3#**

Entertaining game, surely to the liking of resolution fans, with a nice mate at the end of the sequence

1st Honorable Mention

E188 Amatzia Avni
Martin Minski
(Israel, Germany)



Draw (9+9)

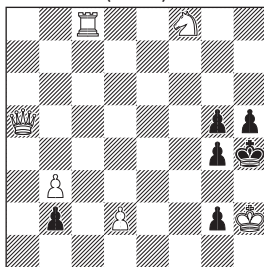
1.f7+! [1.Be7+? Kh7-+] **1...Kxf7** **2.Bg5** position Y **2...Rd2+!** [2...Re2 3.Qe8+ see later] **3.Ke1!** [#] [logical try 3.Bxd2? c2+ 4.Ke1 Bc3-+ position X] **3...Rd1+!** [3...Re2+ 4.Kf1 d2 5.Qe8+! Kxe8 6.a8Q+ Kf7 7.Qa2+ Kg7 (7...Kf8 8.Bh6+ Ke7 9.Bg5+ Kf8 10.Bh6+= perpetual check) 8.h6+ Kf8 9.Qa8+ Kf7 10.Qa2+= another perpetual check; similarly 3...c2 4.Qe8+! Kxe8 5.a8Q+

Kf7 6.Qa2+ Kg7 7.h6+ Kf8 8.Qa8+ Kf7 9.Qa2+=] **4.Kxd1** position Y without BRc2 **4...c2+ 5.Ke1 d2+! 6.Bxd2** [6.Kxd2?? c1Q+ 7.Kd3 Qc3#] **6...Bc3!** [#] position X without BPD3 **7.Qe8+!** [7.Qf8+? Kxf8 8.a8Q+ Kg7!-+] **7...Kxe8 8.a8Q+** [8.a8R+? Kf7!-+] 8...Ke7 [8...Kf7?? 9.Qa2+] **9.Qa1!** [9.Kf1? Bxd2-+] **9...Bxa1 10.Bxb4+** the move comes with check, and this is why the BK had to be on e7 **10...Ke6 11.Kd2=** [11.Ba3?? Bc3+-+]

Interesting and ingenious presentation of the two key positions to achieve equality—in addition a variant of significant importance.

2nd Honorable Mention

E163 Amatzia Avni
(Israel)



Black to move, Win (6+6)

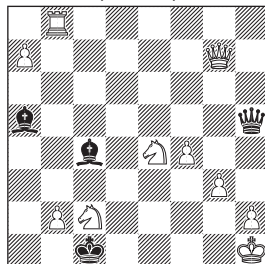
1...g1Q+ [1...b1Q 2.Ng6+ Qxg6 3.Qe5+-] **2.Kxg1 b1Q+** **3.Kf2** [3.Kg2? Qe4+=] **3...g3+** **4.Ke3** [4.Ke2 Qe4+] **4...g2 5.Ng6+!** [5.Qb4+ g4 6.Ng6+ Qxg6 7.Rc1 Kh3= e.g. 8.Qf4 h4 9.Kf2 (9.b4 Qe6+ 10.Kf2 g3+ 11.Kg1 Qe1+! 12.Rxe1=) 9...Qb6+ 10.d4 g3+ 11.Kg1 Qxd4+! 12.Qxd4=] **5...Qxg6** [5...Kh3 is defeated by 6.Rc3!! Kh2 (6...g1Q+

7.Ke2+; 6...Qe1+ 7.Kd4+) 7.Qc7+ Kh1 8.Qc6 Kh2 9.Rc1 g1Q+ 10.Rxg1 Qxg1+ 11.Ke2 Qg4+ 12.Qf3 Qe6+ 13.Kf1+-] **6.Kf2!** [6.Rc1 Qf6 (6...Qd6=)] **6...Qf7+** **7.Kxg2 Qb7+** **8.Kh2** Following a long journey, the king is back where it started **8...Qxc8** Black had finally obtained material equality... **9.Qb4+ Qg4** [9...g4?? 10.Qe7#] **10.Qa4!+-** A little move which decides the battle.

Original position with very striking moves and an interesting variation

Sp. Honorable Mention

E183 Peter Krug
(Austria)



Win (10+4)

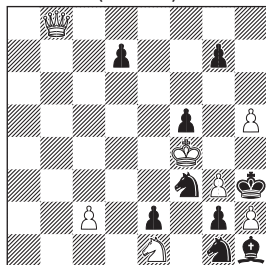
1.Ne1!! [Try 1.h4? Qd1+ 2.Kh2 Qe2+! (2...Qxc2+? 3.Kh3 Be6+ 4.Qg4 +-) 3.Kh3 Be6+ 4.g4 Qf1+ 5.Kg3 Qd3+ 6.Kf2 Qxc2+ 7.Ke3 Bd2+ 8.Kd4 Bxf4 9.Rc8 Qxc8 10.Nc5 Qd8+ 11.Ke4 Qd5+ 12.Kxf4 Qd2+ 13.Ke5 Qxb2+ 14.Kxe6 Qxg7 15.a8Q Qxg4+ =] **1...Bxe1** [1...Qd1 2.Qd4! Qxd4 3.a8Q Bd5 4.Rb4!! Qd2 5.Qc8+ Kb1 6.Qc2+ +-] **2.Rb3 ! 2...Qd1 3.Qg4! Qxg4** [3...Be2 4.Kg2!+-] **4.a8Q Qe2** [4...Ba5 5.Rc3+ Bxc3 6.Nxc3 Kxb2 7.Kg2! Kxc3 8.Qf3+ Qxf3+ 9.Kxf3 Kd4 10.Kg4 Bd3 11.Kg5 +-]

5.Qa1+ [5.Rc3+? Kb1! 6.h4 Qf1+ 7.Kh2 Qe2+ 8.Nf2 Bxc3 9.bxc3 Qxf2+ 10.Qg2 Qe1 11.f5 Bf1 12.Qf3 Qd2+ 13.Kg1 Bd3 14.Qf2 Qd1+ 15.Kh2 Be4 =] **5...Kc2 6.Rc3+ Bxc3 7.Qb1+ Kxb1 8.Nxc3+ Kxb2 9.Nxe2 Bxe2 10.Kg2 Kc3 11.Kh3 Kd4 12.Kh4 Kd5 13.f5!** [13. Kg5 Ke6 14.f5+ Kf7=] **13...Kd6 14.Kg5 Ke7 15.Kg6 Bg4 16.h4 Kf8 17.h5 Kg8 18.h6!** [18.f6? Be6=] **18...Bd1 19.h7+ Kh8 20.f6 Bc2+ 21.Kf7 Bg6+** [21...Kxh7 22.Ke7 Bg6 23.f7 Bxf7 24.Kxf7 Kh6 25.Kf6 Kh5 26.Kf5 Kh6 27.g4 Kg7 28.Kg5 Kf7 29.Kh6+-] **22.Ke7 Kxh7 23.f7 Bxf7 24.Kxf7 Kh6 25.Kf6 Kh5 26.Kf5 Kh6 27.g4 Kh7 28.Kf6 Kh6 29.g5+ Kh7 30.Kf7!** [30.g6+? Kh8!] **30...Kh8 31.Kg6! Kg8 32.Kh6+-**

An introduction with interesting variants and tries to arrive at a pawn endgame against a minor piece. The author's goal has been fulfilled.

Commendation

E176 Peter Krug
(Austria)



Win (7+9)

1.g4! [Thematic try 1.h6? g5+!! 2.Kxf5 Nd4+ 3.Kf6 Ngf3 4.h7 g1Q 5.h8Q+

Nh4!=] **1...fxg4 2.h6!** [Try 2.Kf5? Nh4+! 3.Ke4 d5+ 4.Ke3 Nf5+ 5.Kf2 Nf3 6.Nxf3 gxf3 7.Qe5 Kg4 8.h3+ Kg5 9.c4 dxc4 10.h4+ Kxh4 11.Qf4+ Kxh5 12.Qxf5+ Kh6=] **2...gxh6 3.Kf5 Nxb2 4.Qxh2+ ! 4...Kxh2 5.Kxg4 h5+ 6.Kh4 d6 7.c4 Nf3+ 8.Nxf3#**

A short sequence culminating in mate. Two trials stand out that raise the artistic value of the study

Salta , Argentina March , 2022
Mario Guido García
Judge

Helpmate 2021

Judge: Hans Gruber

List of participating problems

Issue 93: I-III/2021 H1227—H1249 [23].

Issue 94: IV-VI/2021 H1250—H1272 [23].

Issue 95: VII-IX/2021 H1205v, H1273—H1294 [23].

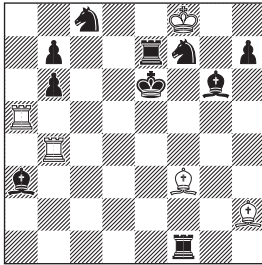
Issue 96: X-XII/2021 H1295—H1314; 1309 & 1314: co-author Anatoly Kirichenko (Issue 97, p. 13) [20].

This tournament was on a good level, the impressive total of 89 problems showed a pleasant variety of themes, complexity, and ambitions. Such a variety is important to attract top composers and to please a broad audience. I am grateful to Ulrich Ring

with whom I discussed some of the participating helpmates.

1st Prize

H1278 Fadil Abdurahmanović
C+ (Bosnia Hercegovina)



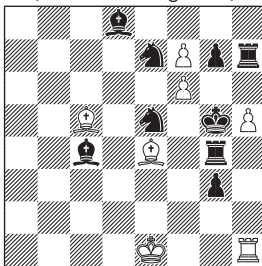
H#2 2sols (5+10)

1.Rc7 Re5+ 2.Kd6 Rd4#
1.Sg5 Be5 2.Kf5 Bg4#

A breathtaking pattern in a wonderful open construction. Each single move is full of thematic substance, with complex line play (interferences, openings, pins, unpins) and stunning self-interferences by the black king. But beyond the thematic density, this is a beautiful composition and the clear winner of the tournament.

2nd Prize

H1279 Fadil Abdurahmanović
C+ (Bosnia Hercegovina)



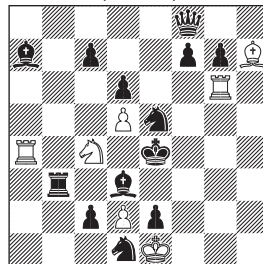
H#2 3sols (7+9)

1.Kf4 Bd3 2.Kf3 0-0#
1.Kh6 Be3+ 2.g5 hxg6 e.p.#
1.Kxf6 Rf1+ 2.Ke6 f8=S#

In contrast to the 1st Prize, this is an endeavour focussing on a constructional task. The problem shows a Valladolid and a 3/4 star-flight of the black king. Black's only move by a piece different from the king is, of course, the pawn's double-step. This is a very fresh idea, and probably the combination is shown for the first time in a 3-solution H#2.

3rd Prize

H1281 Abdelaziz Onkoud
C+ (France)



H#2 2sols (7+13)

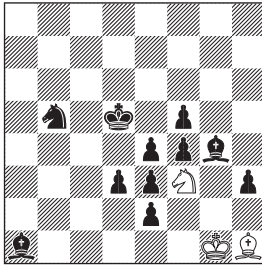
1.Bxc4 Ra5 2.Rf3 Rg4#
1.fxg6 Bg8 2.Qf3 Sxd6#

A good combination: One of the two batteries is completely destructed: the front piece is captured, the rear piece leaves the line and guards the square d5. The capture opens a black line and thus enables a self-block on the square f3. Should we really talk about "Zilahi" when double-check mates are given? More important than the label itself is that the mating move is played

by the piece which is captured in the respective other solution.

1st Honourable Mention

Aleksandr Pankratiev
H1269 Aleksey Ivunin
 C+ (Russia)



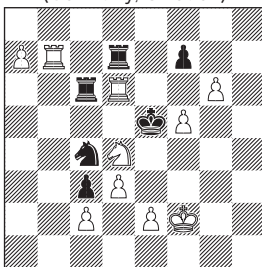
H#4 2sols (3+11)

- 1.exf3 Bg2 2.Ke4 Bxh3 3.f2+ Kh2 4.Kf3 Bg2#
 1.Be5 Sd2 2.Sd4 Bf3 3.exf3 Sb1 4.Ke4 Sc3#

Are these two boring and unrelated solutions? No! The solutions are connected in a most intricate way, they show a Zilahi with thematic captures on the same square! This original theme deserves to be more systematically explored.

2nd Honourable Mention

Rolf Wiehagen
H1280 Christer Jonsson
 C+ (Germany, Sweden)



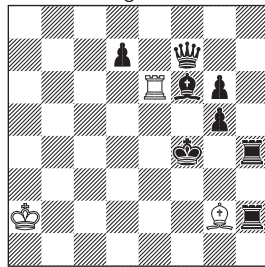
H#2 4sols (10+6)

- 1.Kxd6 Rb8 2.Kc7 Sb5#
 1.Rcxd6 e3 2.Kd5 Rb5#
 1.Rdx6 Sf3+ 2.Kf6 Rxf7#
 1.Sxd6 Rb5+ 2.Kxd4 e3#

A whimsical problem. (Whimsical problems almost always are quite original, and so it is here.) Four captures of the rook d6 with four different moves of the black king. The white rook d6 could be replaced by a queen (but this would be less economical and the king would be checked in the diagram), but not by any other piece, and it cannot simply be removed.

3rd Honourable Mention

Fadil Abdurahmanović
H1307C+ Marko Klasinc
 (Bosna Hercegovina, Slovenia)



H#3 2sols (3+8)

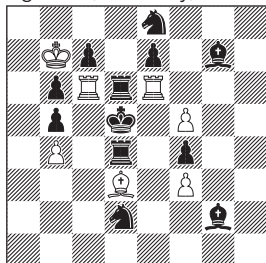
- 1.Rh1 Bd5 2.Rg4 Re3 3.Be5 Rf3# —
 1.Qf8 Re2 2.Kf5 Bc6 3.Rf4 Bxd7#

Elegant side-steps of the pinning pieces. The solutions are harmonically related to each other.

4th Honourable Mention

Jorge Kapros, Rolf Wiehagen

H1258C+ Christer Jonsson
(Argentina, Germany, Sweden)



H#2 3sols (7+12)

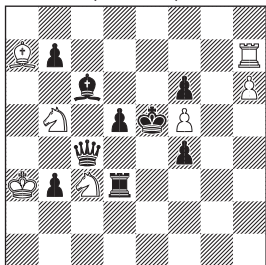
- 1.Rxd3 Re3 2.e5 Rxd3#
1.Rxc6 Bxb5 2.Sc4 Bxc6#
1.Rxe6 Be4+ 2.Ke5 Rxe6#

A cyclic Zilahi with good—anti-identical!—black moves. They provide entertainment despite the stiff setting.

Commendations without ranking, in order of publication

Commendation

H1230 Hiroaki Maeshima
C+ (前嶋啓彰)



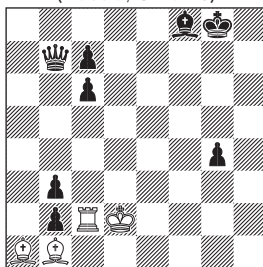
H#2 2sols (7+9)

- 1.Qxb5 Sa4 2.Kd6 Bb8#
1.Qxc3 Sd4 2.Ke4 Re7#

The pattern of the captured knights is an appealing feature in combination with the orthogonal-diagonal change.

Commendation

Aleksandr Pankratiev
H1234 Evgeny Gavryliv
C+ (Russia, Ukraine)



H#2.5 (4+8)

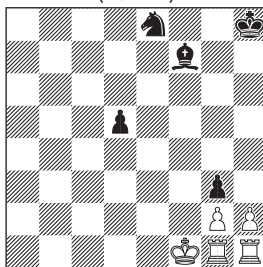
b) wRc2→wP

- a) 1.. Rxc6 2.bxa1=B Rxc7 3.Bh8 Bh7#
b) 1.. Ba2 2.b1=B cxb3 3.Bh7 b4#

An entertaining twin with excellent twinning and bishop promotions on squares of different colour.

Commendation

H1239 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



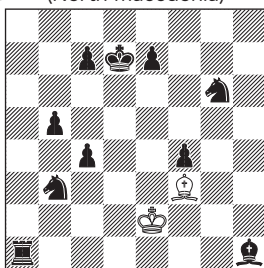
H#3 2sols (5+5)

- 1.gxh2 Rxh2+ 2.Kg8 Rgh1 3.Sg7 Rh8#
1.Bh5 Ke1 2.Bf3 gxf3 3.gxh2 Rxh2#

A witty problem with an attractive combination of the solutions, nicely matched by the captures on the square h2, which once happen in the first move, once in the third move.

Commendation

H1245 Zlatko Mihajloski
C+ (North Macedonia)



H#5.5 (2+10)

b) bPc4→d5

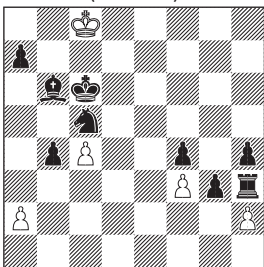
a) 1.. Ba8 2.Bb7 Kf2 3.Bc8 Kf3 4.Rh1 Ke4 5.Rh8 Kd5 6.Rd8 Bc6#

b) 1.. Bxd5 2.Ra8 Bg8 3.Bd5 Kd3 4.Bf7 Ke4 5.Be8 Kd5 6.Rd8 Be6#

Nicely related solutions with echo mates and some clearance elements.

Commendation

H1264 Jozef Ložek
C+ (Slovakia)



H#3 (5+9)

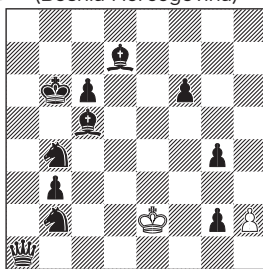
b) bRh3→wR

- a) 1.Rxh2 a3 2.Rd2 axb4 3.Rd6 b5# —
b) 1.gxh2 Rxh2 2.Ba5 Rd2 3.Kb6 Rd6#

The black rook and the white rook play exactly the same moves! The author recently has been experimenting with this interesting twinning mechanism (using rooks as well in feenschach 2021, bishops in *Die Schwalbe* 2021, and knights in *The British Chess Magazine* 2021).

Commendation

H1270 Fadil Abdurahmanović
C+ (Bosnia Hercegovina)



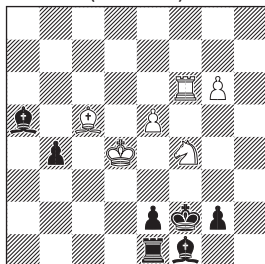
H#6 (2+11)

- 1.Qh1 h4 2.g1=R h5 3.Ra1 h6 4.Ra6 h7
5.Qa1 h8=Q 6.Qa5 Qb8#

The move 1.Qh1 is cool and sharp, it clears the 1st rank for the rook-to-be-born and it determines the remaining moves.

Commendation

H1297 Mihaiu Cioflanca
C+ (Romania)



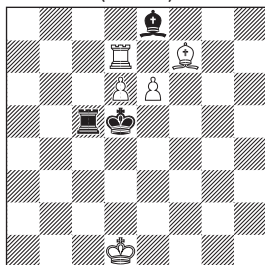
H#2 2sols (6+7)

- 1.Bd8 Sh5+ 2.Bxf6 Ke4#
1.Bb6 Kd3+ 2.Bxc5 Sxe2#

Tiny, but with neat play of the bishop which is ready to capture white pieces which deliver unwanted checks.

Commendation

Aleksandr Pankratiev
H1304 Ivan Antipin
C+ (Russia)



H#3 2sols (5+3)

- 1.Bxd7 exd7+ 2.Kc6 d8=Q 3.Rb5 Qc7#
1.Bxf7 exf7 2.Ke6 f8=Q 3.Re5 Qf7#

Super-economical presentation of captures of white pieces. A find.

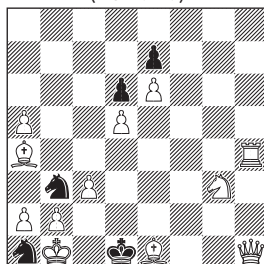
Hans Gruber (Regensburg, Germany)
International Judge of the FIDE

[From the Editor: Record-breaking 4 awards in an issue! I thank all the judges, especially Hans, who gave us very quick and well-researched 2(!) awards. As you may remember, he has always been a dedicated contributor since the very beginning of our magazine.]

スコース

(Continued from page 29)

Paul Raican
S012v Valeriu Petrovici
(Romania)



S#9 (12+5)

- 1.c4! Sc2 2. Bc3 Se1 3.c5 dxc5 4. d6
4...c4 5. Qd5 Sd3 6. Rd4 d6 7. Qg2 d5 8.
Bd3 cxd3 9. Qc2 dxc2#
4...d6 5. Rc4 d5 6. Rc5 d4 7. Be1 d3 8.
Bf2 Kd2 9. Rc2 dxc2#

☆ Paul Raican さんより、1999 年に本誌に掲載されたプロブレム (S012) に改善が見つかったとのことでお送りいただきました。

☆ "the problem was tested by Gustav with brute force" とのことです。

出口信男の世界 (5)

泰永三二郎

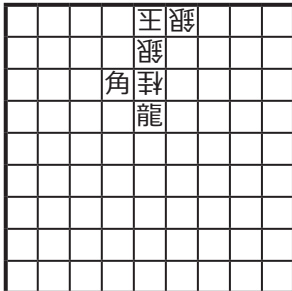
今月のテーマ：対面詰

【対面詰】

互いの駒が対面（接触）すると性能が入れ替わる。1 段目（9 段目）の桂歩歩は禁手だが、2 段目（8 段目）の桂馬は合法。打歩詰は禁止。二歩は移動して二歩になるのも禁止。ただし、王手と二歩との兼ね合いについて「効き二歩有効」と「効き二歩無効」の二説が併存状態である。その他は通常の詰将棋のルールと同じ。英名 face to face.

前回の天竺ルールと異なり、王将だけでなく盤上のすべての駒に変身の可能性があり油断がならない。普段は地味な駒が変身して盤上を飛び回る手順が描けるなど、安南ルールと並んでフェアリールールの中では人気が高い。ただ表記と異なる性能で駒が動き、その上性能が目まぐるしく変化するのは、人間にとって負担が大きいと感じる。もちろんそこがルールの魅力でもある。多くのフェアリールールが PC 検討できるようになり、フェアリー詰将棋の作図に取り組む環境がかつてなく整っている現在、対面ルールはもちろんのこと他のルールも含めてより多くの作家がトライすることを期待します。

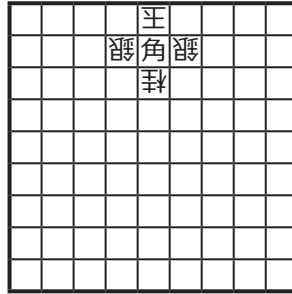
1 番 対面詰 7 手詰、Y-54
(カピタン 18 号、1980-6)



▲ 金香

61 金、イ同銀、42 香、口同銀、62 龍、八同銀、52 角生迄 7 手。

詰上り



変化：イで同玉は 62 龍跳の王手を同玉とは取れない。91 玉と逃走しても 92 香迄。

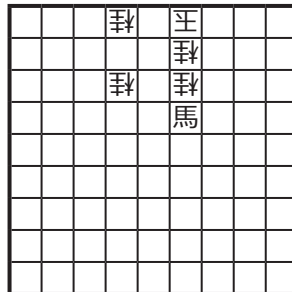
口で同桂(53 桂 = 龍)も可能なように見えるが、54 龍が復活して王手になるので不可。

八で同玉は 63 角の潜在力でその瞬間逆王手が掛かり禁手。

紛れ：初手 42 香は同銀（同桂は 61 金、同玉、52 龍以下）61 金、41 玉で逃れ。

作品構成としては伝統詰将棋そのもの。54 龍は現在桂馬の性能なので、51 玉は 42 には逃げ出せない。しかし、53 桂が龍の守備力を持っているのが問題。手順前後に注意して守備の二枚の銀を操り、角一枚で仕留める。詰上り十字架。

2 番 対面詰 13 手詰、Y-55
(カピタン 18 号、1980-6)

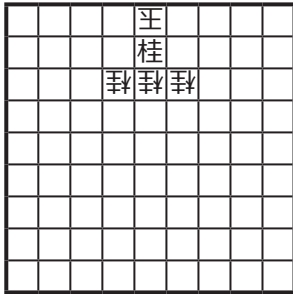


▲ 飛角香

31 飛、イ同玉、32 馬、口同玉、
33 角、ハ41 玉、42 角生、52 玉、
53 香、同桂、51 角成、同玉、
52 桂迄 13 手。

46 桂、53 玉、54 桂、45 玉、
57 桂、56 飛、37 桂、36 飛、
57 桂、56 飛、37 桂、44 玉、
45 桂迄 13 手。

詰上り



変化：44 馬 = 桂だからイで 52 玉とはかわせない。

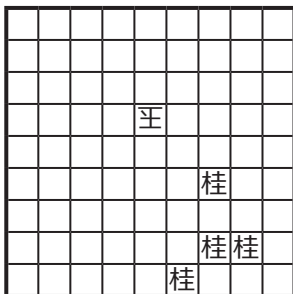
口で 13 玉は 14 香迄。香は最強の持駒。

ハで同玉とは出来ず（玉 = 角だから！）、41 玉以外は頭香迄。

紛れ：初手 11 飛などと遠くから打つと、43 桂 (= 馬) の働きで 21 歩と合駒されてアウト。

31 飛から 32 馬と捨てて無仕掛にする。香を持っているのがミソで生角の対面王手が強い。42 桂をむしり取ってからは、再度の無仕掛をへて逆 T の詰上り。易しいが素晴らしい短編。1 番と 2 番は対面詰への誘い水として作図されたものでしょう。

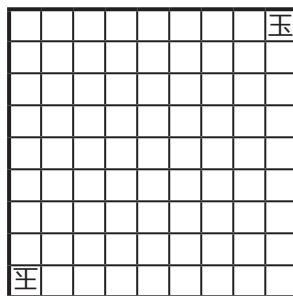
3 番 対面協力詰 13 手詰、Y-89v 修正図
(カピタン 24 号、1981-6)



▲ なし

本作は見ての通り四桂図式。初手の桂跳びは絶対だが、その 46 桂が邪魔ですぐに 45 玉とは出来ない。一旦 53 玉と迂回させられる序奏は秀逸。5 手目の 57 桂に 56 飛車の対駒で受ける。対面系で飛車の対駒が定石手順として知られるようになったのは後のこと。ここから桂馬と飛車が横に往復する手順が意味不明ではないか。タネ明かしをすると、何と初形の 36 桂が邪魔駒なのだった！ 36 桂が無ければ、8 手目ですぐに 44 玉と下がれて収束に直結する。意外や意外本作の主題は邪魔駒消去なのだ。本作の作図過程は全くの想像なのだが、対面ルールの四桂図式からスタートしその過程で 36 桂消去のアイデアが天から降りてきたのではないか。またその消去の仕方が対駒として発生した飛車に趣向的に取らせるというのも斬新。最初の 3 手と最後の 3 手が呼応する構成も見事。本作は発表時一路右に寄っていたため、余詰が生じた。本修正図はカピタン 49 号 (1993-6) のもの。

4 番 対面協力白玉詰 10 手詰、Y-176
(詰パラ 368 号、1986-10)



▲ 金金

89 金、88 角、98 金打、89 玉、
88 金、同玉、33 角、32 銀、
22 角成、21 桂迄 10 手。

対面ルールに限らず協力白玉詰の開発ラッ

シュ時期に、出口信男氏は中心的な役割を果たしている。氏の双裸玉の初期配置は大体対称形で美しいが中でも本作は超絶レベル。手順も練り上げられていて、姉妹作（11王、19玉、持駒金、12手詰）との相似性も興味深い。

発表当時 FL 担当の看空先生が「最終 4 手からの逆算と思いますが、持駒を金 2 枚にしてしまうとは天才的逆算です。」と評している。

持駒を金 2 枚にするのもそうですが、玉を点对称の 99 に配置しているんですね。だから本作の作図過程は逆算ではないかもしれない。どちらにしても凄みを感じる作。本作は完全作だが、発表時誤解による別詰が紹介されている。どちらも不成立なのだが、興味のある方はどこが間違いなのか考えてください。

解 1 : 98 金、89 玉、99 金引！ 98 角、88 金行、87 角打、79 金引、同玉、88 金、21 角成迄 10 手。
解 2 : 89 金、88 角、98 金打、89 玉、88 金、同玉、89 角！、33 玉！、23 角成、22 角迄 10 手。

しばし考えよ。筆者もしばらく苦戦した。解 1 は最終手が反則手。解 2 は 7 手目が反則手。

5 番 対面詰 39 手詰、Y-287
(カピタン 24 号、1981-6)



▲ なし

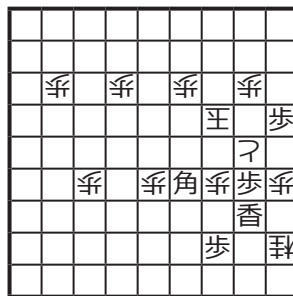
27 角、同と右、28 角、16 玉、
27 角、15 玉、26 角、14 玉、
25 角、13 玉、24 角、12 玉、
23 角生、11 玉、12 角生、イ同と、
21 龍、同玉、31 と、口 11 玉、
21 と、同玉、22 歩、同と、

同と、同玉、23 歩、同玉、
24 歩、同玉、25 歩、同玉、
26 歩、同玉、27 歩、同玉、
28 歩、同玉、29 桂迄 39 手。

変化 : イで 11 玉 = 角だから同玉とは出来ない。
口で同玉は 32 桂迄。

生角がずいずいと上がっていく面白さ。作者はこういう繰り返し手順を見つけ出し、図化するのが本当に得意です。縦追ひ後右上隅で簡単に詰みそうだが、21 桂と 31 歩が絶妙な配置で手数が伸びる。21 に後手の桂馬があるため 22 のと金を取っても王手にならないとは困った。仕方なく角と龍を捨てて局面を打開する。対面や背面はあっけなく頓死することもあるが、意外な抵抗力も秘めている。特に一段目の桂対は頑強な受けなので注意されたい。最後はミ二煙で締める。対面の煙詰は 2 枚で詰み上ります。面白い。

6 番 対面協力詰 121 手詰、Y-184
(カピタン 24 号、1987-1)



▲ なし

35 角、45 玉、46 角、54 玉、
55 角、65 玉、66 角、74 玉、
75 角、96 玉、97 角、78 玉、
79 角、67 玉、68 角、58 玉、
59 角、47 玉、48 角、38 玉、
39 角、47 玉、48 角、58 玉、
59 角、67 玉、68 角、78 玉、
79 角、96 玉、97 角、74 玉、
75 角、65 玉、66 角、54 玉、
55 角、45 玉、46 角、34 玉、

35 歩、 同と、 同角、 45 玉、
 46 角、 54 玉、 55 角、 65 玉、
 66 角、 74 玉、 75 角、 96 玉、
 97 角、 78 玉、 79 角、 67 玉、
 68 角、 58 玉、 59 角、 47 玉、
 48 角、 38 玉、 39 角、 27 玉、
 28 角、 38 玉、 39 角、 47 玉、
 48 角、 58 玉、 59 角、 67 玉、
 68 角、 78 玉、 79 角、 96 玉、
 97 角、 74 玉、 75 角、 65 玉、
 66 角、 54 玉、 55 角、 45 玉、
 46 角、 34 玉、 35 角、 25 玉、
 26 角、 14 玉、 15 角、 25 玉、
 26 角、 34 玉、 35 角、 45 玉、
 46 角、 54 玉、 55 角、 65 玉、
 66 角、 74 玉、 75 角、 96 玉、
 97 角、 78 玉、 79 角、 67 玉、
 68 角、 58 玉、 59 角、 47 玉、
 48 角、 38 玉、 39 角、 27 玉、
 19 歩、 37 玉、 28 角、 26 玉、
 27 歩迄 121 手。

玉と角が行ったり来たりする知恵の輪趣向。
 その意味付けを書き出すと、

- 34 玉 → 38 玉：3 筋の二歩を解消するために
38 歩を玉に取らせる。
- 38 玉 → 34 玉：26 歩 (=と) を斜めに移動し
て捨てる。
- 34 玉 → 27 玉：27 香を玉に取らせる。
- 27 玉 → 14 玉：1 筋の二歩を解消するために
14 歩を玉に取らせる。
- 14 玉 → 27 玉：19 歩と打って奇妙な収束へ。

最終的に 19 歩と打って収束に入るのだが、
 そのためには 14 歩が邪魔。14 歩を消去する
 ためには 26 歩と 27 香が邪魔。26 歩を消去す
 ためには 38 歩が邪魔。というロジック。そ
 こで、最初に 38 歩を消去するが、その時つ
 いでに 27 香を消去したくなる。しかしそうは問
 屋が卸さない。現在 26 歩 = との性能なので
 26 歩をそのままにしては 27 玉とはできない
 仕掛けになっている。このようにロジックは明
 快だが、それを成立させる配置が 14 歩、25 と、
 26 歩、27 香、38 歩のたった 5 枚だけなのが

驚異的だ。どうしてこう巧くできるのか。そし
 て仕上げがこの奇妙な収束。先打歩詰の奇想
 があるからこそ趣向手順が生きる。奇跡のよう
 な作。こんな簡素な配置で片道 5 回の知恵の輪
 を構成した作者に拍手！

フェアリー詰将棋で煙詰を作るという試みは
 意外に古い。花沢正純氏の自玉煙詰(1972-11、
 詰バラ読者サロン!)が最初のものである。そ
 の後散発的に挑戦者が現れるという状態が続い
 ているが、ルールのバリエーションの広さ並び
 に質量とも出口信男氏が突出している。

対面ルールの煙詰は以下の 3 局がある。

- 1 号局：橋本哲 対面煙詰 (全駒) 87 手
1980-4 不完全
- 2 号局：出口信男 対面煙詰 (小駒全駒)
95 手 1991-5 不完全
- 3 号局：出口信男 対面煙詰 (全駒)
89 手 1997-11 完全

橋本哲氏の第 1 号局は対面ルールでの煙詰の
 可能性を示した。残念ながら序盤で変化不詰作
 意早詰があった。ちなみにその指摘をしたのは
 出口信男氏だった。

7 番 対面詰 95 手詰、Y-233 変長
 (将 47 号、1991-5)

王								
	歩	香						
	将	と				王	王	
皇	金	桂			王	王		
銀		皇			王	王	歩	
皇		銀		王	王	歩		王
銀	香	香		王	歩	将	桂	
		銀	王	香	金	金		

▲ なし

- 81 歩成、同玉、72 桂成、イ 71 歩、
同圭、口 91 玉、81 圭、同玉、
- 82 歩、同桂、同と、同玉、
- 83 歩、同香、同金、同玉、

84 香、同香、同銀、同玉、
 85 香、同香、同銀、同玉、
 86 香、同金、同銀、八同玉、
 87 銀、二 77 玉、78 歩、同と、
 同銀、66 玉

変化：イで 91 玉は 82 圭、同桂（81 飛対は 92 金迄）、同と、同玉。この同一局面に本手順より 4 手早く到達する。71 歩の意味は 82 での精算を遅らせる手数伸ばしである。またイで 71 飛は 82 歩、同桂、同と迄。

口で同玉は 72 金迄。

ハで 74 玉は 75 金、73 玉、74 桂迄。

二で同玉は 88 歩、同玉、89 桂迄

本作は不完全作だが、見どころが多く対面ルールの面白さを発見できる作なので詳しく紹介します。序盤からいきなり 71 歩対で手数伸ばしとは驚く。そこを通り抜けて、83 歩以下奇妙な香はがしの第一趣向。銀と香がサンドイッチになっているのがミソ。

中間 1 図、34 手経過。

						イ	イ
						イ	イ
				イ	イ	歩	
		王	イ	イ	歩		イ
			イ	歩	歩		桂
		銀	香	金	金		

▲ 金桂歩

中間 1 図より、

67 歩、同と、A 同香、同と、
 同銀、55 玉、56 歩打、同と、
 B 同歩、同と、同銀、ホ 44 玉、
 45 歩打、同と、同歩、同と、
 同銀、へ 33 玉、34 歩、同と、
 同銀、ト 22 玉、23 金、同と、
 C 同銀成、同玉

変化：ホで同玉は 57 歩、同玉、58 歩、同玉、

59 桂迄。

へで同玉は 46 金、44 玉、45 桂迄。

アで 35 玉は 46 金、25 玉、26 桂迄。

トで同玉は 35 桂迄。

紛れ：A で 57 と = 香だから、67 香、同との 2 手を省略していきなり 67 銀とする手がある。本手順と比べると持駒が 1 歩少ないため、収束に歩が不足する。B 以降も同様手順があるがこちらは二歩を解消するため、斜めの歩を消しておかなければならないことは分かりやすい。

この斜め追い落としが本局の第二趣向。大規模な駒交換で煙詰にピッタリの趣向手順だが、単なる駒消しではない。後手方の内側のと金列は現在歩（または香）の性能になっているのに注意。紛れ手順 A を参照してほしいが、67 香は歩を入手するため、56 歩上などは二歩を解消することが目的。見事な趣向手順でみるみる駒は消えて玉は右上隅に追われる。

中間 2 図、60 手経過。

						王	
							イ
						歩	
							イ
						歩	桂
						金	金

▲ 桂歩 5

中間 2 図より、

24 桂、子同と、同歩、同玉、
 25 歩、同玉、26 桂、同と、
 同金、24 玉、25 金、23 玉、
 24 金、22 玉、23 金、21 玉、
 22 金、同玉、23 歩、同玉、
 24 歩、同玉、25 歩、同玉、
 26 歩、同玉、37 金、リ 25 玉、
 26 金、同玉、27 歩、同玉、
 28 歩、同玉、29 桂迄 95 手詰。

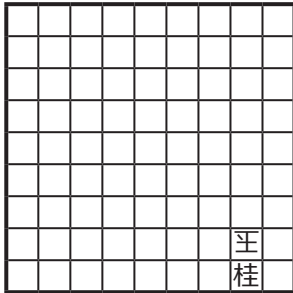
変化：子で 35 玉とかわすと 26 金、甲 34 玉、

35 金、33 玉、34 金、同玉、35 歩、同玉、36 歩、同玉、37 金、同玉、38 歩、同玉、39 桂迄
甲で45玉は46歩、同玉、37金、36歩対、47歩、同玉、48歩、同玉、49桂迄。

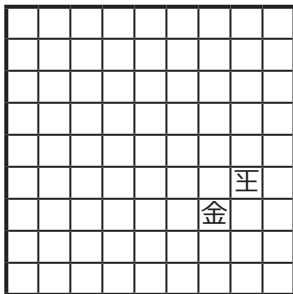
24 桂が変化を読みたくない解答者にとっていやらしい王手です。

りで当然に思える25玉が問題の応手だった。これについては後で詳しく述べる。内容豊富な詰り上り2枚の煙詰が完成、...

詰り上り



問題の局面 (87 手目 37 金と桂を取った局面)



▲ 桂歩歩

ここで15玉は16桂迄。同玉や16玉、17玉はすぐに歩のたたきから収束出来るので、作意順の通り25玉の一手に思える。ところが36に対駒する手があった！

斜めに利く駒は王手を回避できず無意味なので、候補は飛桂香歩の四種類に限られる。桂香歩は27歩、同玉、28歩、同玉、29桂迄のように対駒を無視して詰んでしまう。ところが飛車の対駒のときだけ27歩が打歩詰となって打

てないという仕掛け。ここで36飛(=金)だから27飛と斜めに取り手が有りそうに見える。ところが36飛車が動いてしまうと37金が金として復活してしまうので、自ら王手になる手となり禁手。やはり27歩は打歩詰だ。36飛の発見者は菊田裕司氏。

36飛に対してすぐに同金と取ると、同玉や16玉、17玉、27玉は簡単。15玉は16歩、同玉、26飛、25歩、同金以下。そこで再度の対駒が最善となる。飛金は不可。角銀以外は27歩、同玉、28歩、同玉、29桂迄。銀対は27金引！、25玉(同玉と取ると28歩、同玉、29桂迄)、26飛、同銀、同金、同玉、27歩以下。ところが角対だと頭が丸いため、銀対の手順中の26同金が出来なくなりこれ以上手が続かない。以上を整理すると、問題の局面で36飛対、同金、35角対！の連続対駒でどうやら詰まない。

それでは本局が不詰作かと言うと、そうはならないのが詰将棋の面白いところ。36飛と対駒された局面で、それを上回る絶妙手がある。

27金！、25玉(同玉と取ると28歩、同玉、29桂迄)、36金のように一旦27に遠回りしてから飛車を取るのがうまい。後手玉の位置を一段下げたのがその効果。対して、

- ・15玉は16歩、同玉、26飛、25歩、同金、17玉、18桂迄。
- ・24玉は26飛！、25合(合駒せずに玉が動くと頭に桂を打って即詰む)、同金、23玉、24桂迄。
- ・35対駒の場合、飛対は26飛、15玉、16桂迄。
桂対と歩対は26飛、同玉、27歩、同玉、28歩、同玉、29桂迄。

というわけで不詰は免れる。しかし長手数の上煙らない、というのが結論となる。

本作は、序盤の71歩対の手数伸ばして度肝を抜き、対面ルールの特徴を生かした左辺の香はがしが独特。斜めの趣向手順がただの駒交換ではない深みがあり、見どころが多く対面詰の面白さに溢れている。出口信実力発揮の一局だっただけに最後の最後で煙らなかったのは残念なこと。詰将棋って難しい。

8番 対面詰 89手詰、Y-350

(詰バラ 500号、1997-11)

王	香	香	香	王	角	歩	銀
と	桂	角				歩	
香	銀		桂	香		?	
銀			歩	桂	香		香
		歩	香				香
皇	と	歩	香	香	歩	歩	
銀	歩	?					香
?	皇		皇				
							飛

▲ なし

43 桂生、62 玉、61 桂成、イ同玉、
71 角成、同玉、81 桂成、口同飛、
同と、八同玉、A91 飛、同玉、
92 銀成、同玉、93 銀成、91 玉、
92 全、同玉、93 歩、同玉、
94 歩、同玉、95 と、93 玉、
94 と、92 玉、93 と、91 玉、
92 と、同玉、93 歩、同玉、
94 歩、同玉、95 歩、同玉、
96 銀、同玉、97 香、同と

変化：イで 73 玉は 74 銀生、84 玉、75 角成、
94 玉、85 と、同香、同馬迄。

口で 61 玉は 51 桂成、同玉、52 と、同玉、
53 歩生迄。

口で同玉は 91 と、同玉(71 玉は 53 角成、52 桂、
61 飛迄) 92 銀成、同玉、93 銀成、91 玉、61 飛、
81 桂 (81 歩や 81 銀は 64 角成で 63 対駒は
同飛があって詰む。)、同飛、同玉、82 全、同
玉、83 桂、94 玉、95 と、93 玉、94 と、92 玉、
93 と、同玉、94 歩、同玉、95 歩、同玉、96 銀、
同玉、97 歩、同と、同角成、同玉、98 歩、同
玉、99 香迄。

八で 61 玉は 71 飛、62 玉、72 飛成、71 桂、
同と迄。

八で 62 玉は 72 飛、71 桂、同と、63 玉、64
歩迄。

紛れ：A で 82 飛は同歩

序盤が対面特有の珍手筋の応酬で中々頭に入
ってこない。左上隅の応酬はここでは書きき

れない難しい変化が色々あり大変だ。

中間 1 図、40 手経過。

					角	歩	銀
					歩		
				桂		?	
			歩	香		香	
		歩	香			香	
王	歩	香	香	歩			
?	歩	?					香
	皇		皇				
							飛

▲ なし

中間 1 図より、

97 角生、二 87 玉、88 角、76 玉、
77 歩、同と、同角、ホ 65 玉、
66 歩、同金、同角、ヘ 54 玉、
55 金、同金、同角、ト 43 玉、
44 金、同金、同角、チ 32 玉、
33 金、同と、同角生、21 玉

変化：二で 41 玉は 31 角成、52 玉、53 歩成(生)
迄。

ホで 67 玉は 68 歩、同杏、同角、94 玉、95 香迄。

ヘで 56 玉は 57 金以下。

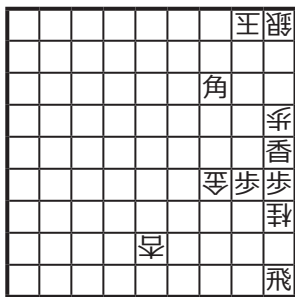
トで 45 玉は 46 金、同金、同角、67 玉、68
金以下

チで 34 玉は 35 金、同金、同角、56 玉、57 金、
同杏、同角、67 玉、68 金迄。

チで 16 玉は 17 飛、同玉、18 香、同玉、19 桂迄。

97 角生から生角の威力で、玉に取られるこ
となく追い落とす斜趣向に入る。金で金をはが
しつつ持駒香の威力で右上隅に追い込んでい
く。

中間 2 図、64 手経過。

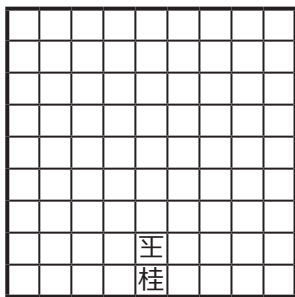


▲ 香歩

中間 2 図より、

11 角成、同玉、12 銀、同玉、
13 香、同玉、14 香、同玉、
15 歩、同玉、16 歩、同玉、
17 飛、26 玉、27 歩、同金、
同飛、56 玉、57 金、同杏、
同飛、同玉、58 香、同玉、
59 桂迄

詰上り



今まで変化手順を一手に抑えていた 19 飛を 17 飛と活用し、最後は中央 5 筋で詰上げる鮮やかさ。作者の執念が実った。素晴らしい。本作は詰バラ 500 号記念の FL で出題された。

Definition

(Continued from p.87)

Neutral : 白および黒のどちらからも動かせる駒。取ったり取られたりすることもできる。n の記号で表し、nQ という風に表記する。nP は成ると Neutral 駒に成る。ただし、普通の P が Neutral 駒に成ることはできない。フェアリー駒が盤上に現れている場合は、nP はその Neutral フェアリー駒に成れる。

Nightrider : (1,2)-Rider.

Pao : Chinese piece の一つ。R のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

Rider : R や B など一定の方向にどこまでも進めるが駒にぶつくとその先には進めない駒の総称。(x,y)-Rider は進める方向が (x,y)-Leaper の延長となる。例えば R は (0,1)-Rider。

Rook-Hopper : R の筋の線上で、一つ駒を跳び越して、その直後の地点に着地する駒。着地地点に敵の駒があれば取れる。

Saltador : Argentinian Chess において S の代わりをする駒。経路の 2 箇所がブロックされている場合には、駒取りなしで跳べる。経路の 2 箇所がブロックされていない場合には、跳んで駒を取れる。

Senora : Argentinian Chess において Q の代わりをする駒。動くときには Leo のように何か駒をひとつ飛び越え、駒を取るときには通常の Q。

Vao : Chinese piece の一つ。B のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

Total Invisible : 駒種と位置のみならず、色もわからない透明駒。細則は Invisible の項に従う。

Yggdrasil piece : この駒は、同じ側の駒にしから取れない。

Definitions

<一般的通則>

: 最終目的がメイトであることを表示する。

= : 最終目的がスタイルメイトであることを表示する。

= = : 最終目的が双方スタイルメイトであることを表示する。

v : 紛れ (try) を表す。個数は、テーマとなる紛れの数を表す。

* : Set Play を表す。オーソドックスやセルフメイトの場合は黒から指し始め、ヘルプメイトの場合は白から指し始める。作意手数から 0.5 手を引いた手数になる。

sols : solutions すなわち「解」のこと。指定された数だけ解があり、これは余詰ではなく、作意設定のうちに入っている。

b) c) ... : 問題図を a) とし、指定のように配置を変えた図を b) c) ... として、いずれも a) と同じ条件で解くこと。

Zeroposition : ツイン設定のために便宜上使われる図。この指定があるときには、問題図そのものを解く必要はなく、そこから配置を変えた図 a) b) ... のみを解くこと。

◆盤上にフェアリー駒がある場合、P はそのフェアリー駒にも成れる。

◆キャスリング可能な位置にある K と R は、それが不可能であるという証明ができないかぎりキャスリング可能とみなされる。逆にアンパッサン可能な位置にある P は、直前の手が取られる P が動いたものと証明ができない限りアンパッサン不可能とする。

<問題設定>

Direct (記号無し) : #n では、白から指し始め、n 手で黒をメイトにする手順を求める。黒はそれに抵抗する。

Duplex : H#n(=n) において黒から指し始めて黒をメイトにする手順と、白から指し始

めて白をメイトにする手順の双方を求めるもの。

Help (H) : H#n では、黒が白に協力し、n 手で黒をメイトにするような手順を求める。通常黒から指し始める。白から指し始める場合は、0.5 手分を引いた形で表記する。

Helpself (HS) : HS#n では、ヘルプで (n-1) 手指して、そこから S#1 になるような手順を求める。通常白から指し始める。

Klan Retractor : 逆算の際、駒の起点をその駒の持ち主が決定し、駒取りの有無と種類は白が決定する。黒は抵抗する。

No Forward Defense : Proca-Retractor などで Forward Defense を禁じたもの。

Proca-Retractor -n : 白から戻し始めて、n 手以内で、白が黒を 1 手でメイトにできるような局面を作るのが目的。黒は抵抗する。なお、黒にも白と同様、逆算してから 1 手詰にする権利がある。これを Forward Defense という。

Proof Game (PG) : 実戦初形から始めて、指定された手数で問題図に至るような手順を求める。

Self (S) : S#n では、白から指し始め、白が自分を n 手でメイトにさせるよう黒に強制する手順を求める。

Series-help (SH) : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が 1 手でメイトなどの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

Series-self (SS) : 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にするよう強制される手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

<フェアリールール>

Alphabetical Chess (ABC) : 盤面の枱目に a1, a2, ... a8, b1, b2, ... h8 という

order が付いているとしたとき、すべての着手は、この order でいちばん a1 の近くにある柁目の自駒を動かさなくてはならない。

Andernach : K 以外の駒は、駒を取ると色が変わって相手の駒になる。新しく発生した R はキャスリング可能。

Annan Chess : 俗に言う「安南」ルール。縦の筋に同じ色の駒が重なっているとき、上の駒は下の駒の働きになる。ただし、1 段目に P が移動するのは禁手。3 段目の駒が P の働きをすることによるダブルステップはできない。3 段目の駒が P の働きをすることによるアンパサンは可。

Anti-Andernach : Andernach とは逆に、駒取りではない手を指したときに相手の駒になる。細則は Andernach に準ずる。

Anticipés : 1 手で K を取れるか、2 手連続指せば K を取れるとき、その K にはチェックがかかっているとす。

AntiCirce: 駒を取るとき、取る駒 (K を含む) は初形位置に戻り、取られた駒は盤上から消える。取る駒の初形位置が何らかの駒 (取る駒と取られる駒を除く) によって占領されているときは、駒が取れない。細則は Circe に準じる。

AntiCirce Cheylan : 取る駒がその原形位置に着地するような取りは禁手とした Anticirce。

Black Monochromatic : Monochrome chess のルールを黒にのみ適用したもの。

Black plays only to give double check : 黒の着手は double check に限る。そのような手が無い場合、白は連続して指せる。

Breton Adverse : 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取られた側から消える。その駒が 1 つ以上ある場合は、取った側が選択できる。

Breton Chromatique Adverse : 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が取られた

側にある場合は、そのうちの 1 つが色を変える。どの駒にするかは取った側が選択できる。

Circe : K 以外の取られた駒は初形位置に再生する。R および S の初形位置は取られた場所の色によって決まる。P の初形位置は取られた筋の 2 段目。フェアリー駒の初形位置は取られた筋の 8 段目。取られた駒の初形位置が何らかの駒によって占領されているときはその駒は通常通り盤上から消える。初形位置に戻った R はキャスリング可能。初形位置に戻った P は 2 歩進むことが可能。

Circe Malefique : K 以外の取られた駒は相手側の同種駒の初形位置に再生する。細則は Circe に準じる。

Diagram Anticirce : 取った駒は問題図の初形位置に再生する。細則は Anticirce に準じる。

Einstein Chess : K 以外の駒は、駒を取ると、その駒は $P \rightarrow S \rightarrow B \rightarrow R \rightarrow Q$ の順で種類が 1 ランク上がる (Q はそのまま)。逆に、駒を取らないで移動すると、その駒は $Q \rightarrow R \rightarrow B \rightarrow S \rightarrow P$ の順で種類が 1 ランク下がる (P はそのまま)。P は 8 段目に到達しても成れない。1 段目に発生した P は double step および triple step ができ、そのとき 5、6 段目にいる敵の P はそれをアンパサンで取ることができる。

Equipollents Circe : 取られた駒は、取られた位置から取った駒の取りの動きのベクトルだけずれた地点に復活する。最上段に復活した P は成り駒として復活する。

Maximummer : 黒は可能な手の中で移動距離 (升目の中心から、中心までの距離) が最大の手を指すとす条件 (複数存在するときには、黒はその中から選択できる)。キャスリングの移動距離は K,R の移動距離を足したもの (0-0 は $2+2=4$ 、0-0-0 は $2+3=5$)。チェックおよびメイトの概念はオーソドックスと同じ。

Messigny : 自分の駒を相手の同種の駒と場

所を入れ換えることができる。ただし、双方が連続して入れ換えることは不可。(これを本誌では欧州ルールと呼び、「2度連続して入れ換えて元の局面に戻すことはできない」と制限を付けたものを日本ルールと呼ぶことにする。)

Monochrome Chess : すべての駒は、その駒がいる同色のマス目にしか動かせないとこの条件。従ってSは最初から動けない。キャスリングは0-0のみ可能。

Relegation : 2列め(黒なら7列め)に戻った駒はPになる。

Rifle : 駒を取るとき、取った駒はその原位置を動かない。取られた駒は消える。

Take&Make : 駒を取ったとき、その駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動する手は、取られた駒の動き(取られた側から見た動き)になる。Pは1段目に移動できない。

Vertical Millor Circe : Circe Inverseと同じ。K以外の取られた駒は、d/e筋の境界線を軸にして、Circeで発生する位置と対称の位置に再生する。細則はCirceに準じる。

<フェアリー駒>

Argentinian Piece : Argentinian Chessで使用される駒。動きはChinese Piece、駒取りはorthodox pieceで定義される(たとえばQの代わりをするSenoraは、動くときにはLeo、駒を取るときには通常のQ)。

Astrolog piece : 盤の縁に行くとき色を変える駒。

Berolina Pawn : 進むときは斜めに1マス、駒を取るときは直前にいる敵駒を取る、としたP。

Contra Grasshopper : Grasshopperのように1枚駒を跳び越した後、そのまま向きを変えずに、RまたはBのように動く駒。

Equihopper : 任意の方向に駒を1枚飛び越して、その線上で等距離の地点に着地する

駒。線上に余計な駒が挟まっている場合、跳べないとした駒を単にEquihopperと呼び、跳べるとした駒をNon-Stop Equihopperという。

Faro : 動くときはPaoのように何か駒をひとつ飛び越え、駒取りのときはRと同じ駒。

Grasshopper : Qの筋で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

Hunter : Hunter X/Yは、前進する場合はXで、後退する場合はYという駒。横には動けない。

Imitator : 着手と同じ距離・方向に動き、空いているマスに着地する駒。盤上の駒を飛び越すことはできない。Imitatorの着地点が塞がっていたり、盤上に出てしまうような着手は禁手。

Invisible : 盤上に存在するが、見えない駒。駒種と位置の両方が確定した瞬間に、その透明駒は透明性を失い普通駒となる。駒取りやメイトは、証明なしには主張できない。メイトとは、解答手順を成り立たせるようななどのようなInvisibleの代入に対しても、最終局面が通常のメイトになっていることを指す。

Leaper : Sの様な動きの駒の総称。(x,y)-Leaperは駒の居る位置から縦横に(x,y)または(y,x)だけ離れた地点に着地する。間に駒があっても飛越えられる。例えばSは(1,2)-Leaper。

Leo : Chinese pieceの一つ。Qのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ飛び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

Loco : 動くときはVaoのように何か駒をひとつ飛び越え、駒取りのときはBと同じ駒。

Nao : Nightriderのように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ飛び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

(Continued on page 84)

第 96 号解答成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	75	60	100	25	140	25	20	445
井上徹也	70		48	10			10	138
内田 昭	55		75		20			150
及川弘典	55		100	15	50		10	230
小畑 勉	45		17.5					62.5
九尾	55		5				5	65
黒川智記	55		77.5	10			20	162.5
齋藤光平			55					55
塩見 亮	60	18	86.5		30			194.5
須川卓二	66		88	15	50		20	239
則内誠一郎	65	24	100	15	123		15	342
太刀岡甫	70		98	10	108	5	20	311
中嶋正和	64	8	72.5	5	40		5	194.5
原岡 望	20						5	25
藤原俊雅	70			5			10	85
真鍋 浩	75		87.5	15				177.5
水野勝久	60		25		10		5	100
宮嶋亮一	5							5
吉田直嗣						5	15	20
Klaus Wenda						10		10

93-96 号通算解答成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	210	150	445	95	515	90	85	1590
井上徹也	70		48	10			10	138
内田 昭	105		262.5	10	☆113		25	515.5
及川弘典	75		330	15	50		45	515
小畑 勉	85		101					186
九尾	119		☆195.5				20	334.5
黒川智記	90	5	155.5	20			40	310.5
高坂 研			90		81		25	196
小林看空			230		95			325
齋藤光平			55					55
塩見 亮	100	☆23	287		60		15	484
須川卓二	66		88	15	50		20	239
則内誠一郎	155	66	440	40	381	20	67.5	☆1165
太刀岡 甫	175		394	45	355	20	☆85	1074
中嶋正和	☆187	34	328.5	45	162		35	791.5
原岡 望	40		1				25	66
藤原俊雅	70			5			10	85
星野健司	108		345	☆47.5			55	555.5
真鍋 浩	75		87.5	15				177.5
水野勝久	100		90.5		60		25	280.5
宮嶋亮一	60							60
泰永泰二朗							5	5
吉田直嗣			125	20		☆13	62.5	220.5
若島 正		22						22
Klaus Wenda					15	15		30

93号から96号までの通算成績は、則内誠一郎さんと太刀岡甫さんが1000点越えの好成績で、則内さんがハナの差で1位。おめでとうございます。プロブレム書籍をお贈りします。

太字は皆勤賞。各セクションで☆印を付けた方には、賞品としてプロブレム雑誌のバックナンバーを1部さしあげます。

Tadashi Wakashima-70 JT Announcement

30th June, 2022

Hiroaki Maeshima and Toshimasa Fujiwara

We are pleased to announce Tadashi Wakashima-70 Jubilee Tournament, celebrating the birthday of our magazine' s chief editor.

Theme: Free, but it must include at least one fairy element (fairy pieces or fairy conditions are accepted, but fairy board (e.g., 9x9 board) is not accepted).

All fairy pieces and conditions are allowed, if the problem is checked by a known solving program.

Stipulation:

Section a): #2-#3.

Section b): H#2-H#3.

Twining and multiple solutions are accepted; Zeroposition is not accepted.

Judges: Vlaicu Crisan and Eric Huber (Romania)

Deadline: 31st October, 2022

Tournament Director: Hiroaki Maeshima (antillas106@gmail.com)

Awards: Awards will be published online by TD.

Please e-mail me the computer-tested problem in a pdf format.

It would be nice if the name of software used and FEN of the diagram (either Popeye or Olive format) are included.

Please reprint!